

業績目録 令和4年度

微生物感染症学分野	2
生体組織再生工学分野	4
予防歯科学分野	6
う蝕学分野	9
小児歯科学分野	11
生体歯科補綴学分野	13
顎顔面口腔外科学分野	16
口腔解剖学分野	21
口腔生理学分野	22
口腔生化学分野	23
歯周診断・再建学分野	25
歯科矯正学分野	28
摂食嚥下リハビリテーション学分野	33
硬組織形態学分野	41
口腔病理学分野	45
歯科薬理学分野	46
包括歯科補綴学分野	48
組織再建口腔外科学分野	52
顎顔面放射線学分野	56
歯科麻酔学分野	59
高度口腔機能教育研究センター・歯学教育開発室	62
口腔生命福祉学科	67
歯科臨床教育学/歯科総合診療科	73
顎口腔インプラント治療部	74
医療連携口腔管理治療部	75

微生物感染症学分野

【著 書】

- 1) 寺尾 豊：編集. 口腔微生物学・免疫学 第5版第2刷(川端重忠, 小松澤均, 大原直也, 寺尾 豊 編), 医歯薬出版, 東京, 2023.
- 2) 寺尾 豊：執筆 ウイルス学. 口腔微生物学・免疫学 第5版第2刷(川端重忠, 小松澤均, 大原直也, 寺尾 豊 編), 184-202, 208-210 頁, 医歯薬出版, 東京, 2023.
- 3) 寺尾 豊：編集・執筆. 歯科国試パーフェクトマスター 口腔微生物学・免疫学 第2版, 医歯薬出版, 東京, 2022.
- 4) 土門久哲・寺尾 豊：執筆 ウイルス学. 口腔微生物学・免疫学 第5版第2刷(川端重忠, 小松澤均, 大原直也, 寺尾 豊 編), 202-208 頁, 医歯薬出版, 東京, 2023.

【論 文】

- 1) Takizawa F, Domon H, Hiyoshi T, Tamura H, Shimizu K, Maekawa T, Tabeta K, Ushida A, Terao Y: Ozone ultrafine bubble water exhibits bactericidal activity against pathogenic bacteria in the oral cavity and upper airway and disinfects contaminated healthcare equipment. PLOS ONE 18(4): e0284115, 2023.
- 2) Tamura H, Maekawa T, Domon H, Sirisereephap K, Isono T, Hirayama S, Hiyoshi T, Sasagawa K, Takizawa F, Maeda T, Terao Y, Tabeta K: Erythromycin restores osteoblast differentiation and osteogenesis suppressed by *Porphyromonas gingivalis* lipopolysaccharide. Pharmaceuticals, 16(2): 303, 2023.
- 3) Hirayama S, Yasui Y, Sasagawa K, Domon H, Terao Y: Pneumococcal proteins ClpC and UvrC as novel host plasminogen binding factors. Microbiology and Immunology 67(2): 99-104, 2023.
- 4) Nakao R, Kobayashi H, Iwabuchi Y, Kawahara K, Hirayama S, Ramstedt M, Sasaki Y, Kataoka M, Akeda Y, Ohnishi M: A highly immunogenic vaccine platform against encapsulated pathogens using chimeric probiotic *Escherichia coli* membrane vesicles. NPJ Vaccines 7(1): 153, 2022.
- 5) Ibano N, Inada E, Otake S, Kiyokawa Y, Sakata K, Sato M, Kubota N, Noguchi H, Iwase Y, Murakami T, Sawami T, Kakihara Y, Maeda T, Terunuma M, Terao Y, Saitoh S: The role of genetically modified human feeder cells in maintaining the integrity of primary cultured human deciduous dental pulp cells. Journal of Clinical Medicine 11(20): 6087, 2022.
- 6) Mizuno K, Maree M, Nagamura T, Koga A, Hirayama S,

Furukawa S, Tanaka K, Morikawa K: Novel multicellular prokaryote discovered next to an underground stream. eLife 11: e71920, 2022.

- 7) Lwin HY, Aoki-Nonaka Y, Matsugishi A, Takahashi N, Hiyoshi T, Tabeta K: Soybean peptide inhibits the biofilm of periodontopathic bacteria via bactericidal activity. Archives of Oral Biology 142:105497, 2022.
- 8) Hiyoshi T, Domon H, Maekawa T, Tamura H, Isono T, Hirayama S, Sasagawa K, Takizawa F, Tabeta K, Terao Y: Neutrophil elastase aggravates periodontitis by disrupting gingival epithelial barrier via cleaving cell adhesion molecules, Scientific Reports 12(1): 8159, 2022.
- 9) Sirisereephap K, Maekawa T, Tamura H, Hiyoshi T, Domon H, Isono T, Terao Y, Maeda T, Tabeta K: Osteoimmunology in periodontitis: Local proteins and compounds to alleviate periodontitis. International Journal of Molecular Sciences 23(10): 5540, 2022.

【研究費獲得】

- 1) 寺尾 豊(代表)：薬剤耐性肺炎球菌の *in vivo* MS 解析とキューブ型 DNA 抗菌薬の開発研究. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 継続.
- 2) 寺尾 豊(代表)：ナノバブル化ネオマクロライドを用いたワクチン副反応の予防薬の開発研究. 日本学術振興会研究費基金 挑戦的研究(萌芽), 新規.
- 3) 寺尾 豊(代表)：食の安全と安心に向けた消毒用ナノ・オゾン水の開発研究. テルモ生命科学振興財団 III 研究助成金(予防医療), 新規.
- 4) 寺尾 豊(分担)：AI 技術を用いた膜透過性アプタマーの機能最適化と網羅的薬効評価法の確立. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 新規.
- 5) 寺尾 豊(分担)：細菌の潜在的病原性をつかさどる分子基盤の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 新規.
- 6) 寺尾 豊(分担)：DEL-1 による口腔組織修復および再生機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 新規.
- 7) 寺尾 豊(分担)：フレイルと AMR の課題に対応する食品由来機能ペプチドを素材とした歯周病医薬開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 継続.
- 8) 土門久哲(代表)：肺炎重症化因子のプロテオーム解析を基盤とする創薬研究への展開. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究(C), 継続.
- 9) 土門久哲(分担)：リスクアセスメントとオーラルリテラシーを向上する誤嚥性肺炎の危険予知システ

ム開発。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 継続。

- 10) 土門久哲(代表): グラム陽性菌感染症に対するユニバーサルワクチンの開発研究。新潟大学 U-go グラント, 新規。
- 11) 前川知樹(代表): DEL-1 による口腔組織修復および再生機構の解明。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 新規。
- 12) 前川知樹(代表): DEL-1 による口腔の組織修復と再生機構解明。内藤記念科学振興財団 次世代育成支援研究助成金, 新規。
- 13) 平山 悟(代表): iTRAQ-MS/MS 解析を基盤とする新規肺炎球菌ワクチンの開発研究。日本学術振興会 研究費基金 基盤研究(C), 新規。
- 14) 平山 悟(代表): 細菌膜小胞による新規肺炎球菌ワクチンの開発に向けた基盤研究。新潟大学 U-go グラント, 新規。
- 15) 日吉 巧(代表): プロテオーム解析法を用いたエラスターゼによる歯周炎重症化メカニズムの網羅的解析。日本学術振興会研究費基金 若手研究, 新規。
- 16) 日吉 巧(代表): エラスターゼを標的とした歯周炎重症化機序の探索とその分子メカニズムの解明。日本学術振興会研究費基金 研究活動スタート支援, 継続。
- 17) 日吉 巧(代表): イオン液体を用いた経口腔粘膜局所薬物投与法の開発。新潟大学国際共同研究加速グラント, 新規。
- 18) 田村 光: 非抗菌性マクロライド誘導体を用いた新たなサイトカインストーム制御法の開発。日本学術振興会 海外特別研究員研究費, 継続。
- 19) 磯野俊仁: 組織修復の遅延を仮説とする肺炎/誤嚥性肺炎の重症化因子の検索。日本学術振興会 特別研究員 DC2 研究費, 継続。
- 20) 笹川花梨: 肺炎球菌感染症による肺組織傷害機構の分子解析と新規治療法の探索。新潟大学フェローシップ第 1 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)研究費, 継続。
- 21) 滝澤史雄: オゾンウルトラファインバブル水の臨床応用に向けた基盤研究。新潟大学フェローシップ第 2 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)研究費, 継続。
- 22) 齋藤瑠郁: エコ・リサイクルな創薬イノベーション研究 - 新発想の感染症治療薬の開発研究 -, 新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンタランナー育成プロジェクト第 2 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)研究費, 継続。
- 23) 齋藤瑠郁(代表): エコな創薬イノベーション研究 - 新発想の感染症治療薬の開発研究 -, 新潟大学 U-

go グラント(次世代枠), 新規。

【学会発表】

- 1) 磯野俊仁, 肺炎球菌性肺炎の新たな治療法と治療標的の探索研究。令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日。
- 2) 滝澤史雄, 土門久哲, 前川知樹, 牛田晃臣, 平山 悟, 日吉 巧, 田村 光, 磯野俊仁, 笹川花梨, 樋渡 忠, 瀬戸光一, 寺尾 豊, 多部田康一: オゾンウルトラファインバブル水による口腔細菌に対する殺菌作用。第 65 回春季歯周病学会学術大会, 新宿, 2022 年 6 月 3-4 日。

【研究会発表】

- 1) 滝澤史雄: オゾンウルトラファインバブル水の殺菌作用の探索。これからの博士～その意義と重要性～: 博士学生支援プログラムシンポジウム兼フェローシップ/次世代事業報告会, 新潟, 2023 年 3 月 13 日。
- 2) 笹川花梨: 令和 4 年度 これからの博士～その意義と重要性～: 博士学生支援プログラムシンポジウム兼フェローシップ/次世代事業報告会, 新潟, 2023 年 3 月 13 日。
- 3) 齋藤瑠郁: 新発想の感染症治療薬の開発研究。令和 4 年度フェローシップ支援事業&次世代プロジェクト採択者合同定例シンポジウム, 新潟, 2023 年 3 月 3-13 日。
- 4) 日吉 巧: 好中球エラスターゼによる歯周炎重症化機序と新規治療法の探索。第 4 回オーラルサイエンス研究会, 2022 年 11 月 13 日。
- 5) 滝澤史雄: 薬剤耐性菌感染症に対する新たな感染予防法の探索。第 5 回 PhD リクルートフォーラム, 新潟, 2022 年 9 月 20 日。

【受賞】

- 1) 土門久哲: Clarithromycin inhibits pneumolysin production via downregulation of *ply* gene transcription despite autolysis activation. 令和 4 年度新潟大学優秀論文表彰, 2022 年 11 月 2 日。
- 2) 日吉 巧: 好中球エラスターゼの歯内上皮バリア傷害作用による歯周炎重症化メカニズム解析, 日本歯周病学会 Young Investigator Award, 2022 年 6 月 3 日。
- 3) 日吉 巧: 好中球エラスターゼによる歯周炎重症化機序と新規治療法の探索。第 4 回オーラルサイエンス研究会優秀発表賞, 2022 年 11 月 13 日。

【奨学金等】

- 1) 田村 光：非抗菌性マクロライド誘導体を用いた新たなサイトカインストーム制御法の開発。日本学術振興会 海外特別研究員，継続。
- 2) 磯野俊仁：組織修復の遅延を仮説とする肺炎/誤嚥性肺炎の重症化因子の検索。日本学術振興会 特別研究員 DC2，継続。
- 3) 笹川花梨：肺炎球菌感染症による肺組織傷害機構の分子解析と新規治療法の探索。新潟大学フェローシップ第 1 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)，継続。
- 4) 滝澤史雄：オゾンウルトラファインバブル水の臨床応用に向けた基盤研究。新潟大学フェローシップ第 2 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)，継続。
- 5) 齋藤瑠郁：エコ・リサイクルな創薬イノベーション研究 - 新発想の感染症治療薬の開発研究 - ，新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンティア育成プロジェクト第 2 期生(未来健康科学高度人材育成フェローシップ)，継続。

【公的研究費の審査員（省庁公開済みのみ記載）】

- 1) 寺尾 豊：日本医療研究開発機構 AMED プログラムオフィサーおよび課題審査委員。
- 2) 寺尾 豊：科学技術振興機構 JST 創発的研究支援事業 審査委員。

生体組織再生工学分野

【著 書】

- 1) 金谷 貢：医療材料の開発史。医学史事典（日本医学史学会編），620-621 頁，丸善出版，東京，2022。

【論 文】

- 1) Chan NN, Yamazaki M, Maruyama S, Abé T, Haga K, Kawaharada M, Izumi K, Kobayashi T, Tanuma J. Cholesterol Is a Regulator of CAV1 Localization and Cell Migration in Oral Squamous Cell Carcinoma. *Int J Mol Sci*, 24(7):6035, 2023.
- 2) Suebsamarn O, Kamimura Y, Suzuki A, Kodama Y, Mizuno R, Osawa Y, Komatsu T, Sato T, Haga K, Kobayashi R, Naito E, Kida M, Kishimoto K, Mizuno J, Hayasaki H, Izumi K: In-process monitoring of a tissue-engineered oral mucosa fabricated on a micropatterned collagen scaffold: Use of optical coherence tomography for quality control. *Heliyon* 8(11): e11468, 2022.
- 3) Kishimoto K, Miwa K, Suzuki A, Yamaguchi I, Kodama Y, Suebsamarn O, Shoji S, Izumi K, Mizuno J:

Fabrication of Micropatterned Fish Scale Collagen Scaffold Using Microelectromechanical Systems Technologies for Oral Mucosa Tissue Engineering. *Transactions of The Japan Institute of Electronics Packaging*. 15 E21-008, 2022.

- 4) Igawa K, Izumi K, Naito E, Suzuki M, Kondo N, Sakurai Y: Three Dimensional model for pre-clinical assessment in BNCT. *KURNS Progress Report 2021*. R3P6-23, 2022.
- 5) 伊藤圭一，金谷 貢，泉 健次：万能試験機を用いた歯科用石膏の硬化膨張圧の検討。日歯理工誌 41(2)：162-172 頁，2022。

【研究費獲得】

- 1) 泉 健次：細胞を安定培養させる魚うろこコラーゲン足場材製造の PoC 実証。2022 年前期(新規)NEDO「NEP」研究開発型スタートアップ支援事業 研究開発型スタートアップ支援事業 研究開発型スタートアップ支援事業，2022。
- 2) 伊藤 加代子(研究代表者)，泉 健次：エクオールは口腔乾燥症，味覚障害，舌痛症の新たな治療法となりうるか？令和 4 年度(新規)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」，22K10310，2022。
- 3) 齋藤 タ子(原 タ子)(研究代表者)，泉 健次：口腔粘膜上皮細胞と線維芽細胞から成る 2 層性自家培養口腔粘膜の開発。令和 4 年度(新規)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」，22K10016，2022。
- 4) 泉 健次(研究代表者)，鈴木絢子：足場材の硬さの違いを利用した上皮角化・非角化様式解明と培養口腔粘膜作成法への応用。令和 4 年度(継続)日本学術振興会補助金 基盤研究(B)「一般」，20H03870，2022。
- 5) 鈴木絢子(研究代表者)：光干渉式断層撮影を利用した培養口腔粘膜の非侵襲的，定量的品質評価方法の確立。令和 4 年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業 若手，20K18556，2022。
- 6) 金谷 貢(研究代表者)：低エネルギー電子線照射は歯科切削加工(CAD/CAM)用レジンの破折を防止する。令和 4 年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」，18K09657，2022。
- 7) 青柳裕仁(研究代表者)，金谷 貢：メタライズを応用した新規ジルコニア表面改質法の開発。令和 4 年度(継続)日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」，21K09975，2022。
- 8) 佐田亜衣子(研究代表者)，泉 健次：上皮幹細胞コンパートメントを規定する分子機構と生物学的意義の解明。令和 4 年度(継続)日本学術振興会補助

金 基盤研究(B) 20H03266, 2022.

- 9) 秋葉奈美 (研究代表者), 泉 健次: 生理機能亢進細胞混合移植とレドックス制御による長期骨量維持可能な骨増生法開発. 令和 4 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 20K10051, 2022.
- 10) 井川和代 (研究代表者), 泉 健次: 加速器中性子源を用いた BNCT 組織線量分布評価体系の確立. 令和 4 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 20K12714, 2022.
- 11) 秋葉陽介 (研究代表者), 泉 健次: 規格化ナノ構造チタンによる接着蛋白質を介した組織制御可能な生体材料開発. 令和 4 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 21K09976, 2022.
- 12) 山崎 学 (研究代表者), 泉 健次: 死細胞貪食による口腔がん細胞活性化: 脂質クオリティが果たす役割を探索. 令和 4 年度 (継続) 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 21K09856, 2022.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Izumi K: Tissue Engineering of Oral Mucosa. World Prestigious Scholar Lecture Series, Online, 2023 年 2 月 7 日.
- 2) 泉 健次: 異分野連携による口腔粘膜の ティッシュエンジニアリング/再生医療. 令和 4 年度日本歯科理工学会中部地方会セミナー; 日本歯科産業学会第 37 回学術講演会ジョイント開催, 塩尻, 2022 年 7 月 30-31 日.

【学会発表】

- 1) Taka N, Aoyagi Y, Miida K, Kimura T, Kanatani M, Ogawa H. Effect of silanization of durability of experimental SiC-fiber reinforced resin after hot water storage. International Dental Materials Congress 2022, Taipei, Taiwan, 2022 年 11 月 4-5 日, Proceedings of International Dental Materials Congress 2022: 146 頁, 2022.
- 2) Miida K, Kimura T, Aoyagi Y, Taka N, Kanatani M: Evaluation of mineralization on titanium sputtered PEEK surface after immersion in Hank's equilibrium solution. International Dental Materials Congress 2022, Taipei, Taiwan, 2022 年 11 月 5 日, Proceedings of International Dental Materials Congress 2022: 125 頁, 2022.
- 3) Suebsamarn O, Kamimura Y, Suzuki A, Kodama Y, Mizuno R, Komatsu T, Haga K, Kobayashi R, Naito E, Kida M, Kishimoto K, Mizuno J, Hayasaki H, Izumi K: In-process monitoring of epithelial thickness during

manufacturing a tissue-engineered oral mucosa fabricated on micropatterned collagen scaffold. FDCU International Symposium, Online, 2022 年 5 月 18 日, 抄録なし, 2022.

- 4) Kishimoto K, Suebsamarn O, Kodama Y, Komatsu T, Suzuki A, Shoji S, Izumi K, Mizuno J: Fabrication of Micropatterned Fish Scale Collagen Scaffold Using Soft Lithography for Oral Mucosa Tissue Engineering. IEEE EPS Japan Chapter Young Award of ICEP 2021, Boston, USA, 2022 年 5 月 12 日, 抄録は【論文】3) (Kishimoto K, Miwa K, Suzuki A, Yamaguchi I, Kodama Y, Suebsamarn O, Shoji S, Izumi K, Mizuno J: Fabrication of Micropatterned Fish Scale Collagen Scaffold Using Microelectromechanical Systems Technologies for Oral Mucosa Tissue Engineering. Transactions of The Japan Institute of Electronics Packaging. 15 E21-008, 2022.) 2022.
- 5) 内藤絵里子, 高田 翔, 羽賀健太, Orakarn Suebsamarn, Yortchan Witsanu, 小林亮太, 鈴木絢子, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭, 泉 健次: 口腔癌および口腔粘膜 3 次元 in vitro モデルに対する重粒子線照射の影響に関する研究 — 異種放射線治療評価の標準化システムの構築 —. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会誌 52(2): 97-98 頁, 2022.
- 6) 小林亮太, Orakarn Suebsamarn, Yortchan Witsanu, 相澤有香, 内藤絵里子, 干川絵美, 鈴木絢子, 富原 圭, 泉 健次: ヒト培養口腔粘膜上皮角化細胞の運動 / 増殖能を制御 / 調節する分子基盤の解明. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会誌 52(2): 98 頁, 2022.
- 7) 三井田慶斗, 青柳裕仁, 高 昇将, 木村龍弥, 金谷貢, 魚島勝美: 炭化ケイ素繊維強化型新規フェイスクガード材料の開発. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会誌 52(2): 99 頁, 2022.
- 8) 高 昇将, 三井田慶斗, 木村龍弥, 青柳裕仁, 金谷貢, 小川祐司: 試作炭化ケイ素繊維強化型レジンの長期耐久性の評価. 第 37 回日本歯科産業学会学術講演会 (日本歯科理工学会中部地方会ジョイント開催), 塩尻, 2022 年 7 月 31 日, 日本歯科産業学会誌 36(1): 61 頁, 2022.
- 9) 内藤絵里子, 羽賀健太, 齋藤夕子, 小林亮太, 山崎学, 田沼順一, 井川和代, 富原 圭, 泉 健次: 正常口腔粘膜細胞と口腔癌細胞を用いた 3 次元 in vitro モデル作製法とその応用. 第 76 回日本口腔科学会総学術集会. 福岡, 2022 年 4 月 21-23 日, 抄録なし, 2022.

- 10) 高嶋真樹子, 河村篤志, 山崎裕太, 松崎奈々香, 高田翔, 上野山敦士, 池田順行, 荒井良明: 顎関節症共通研修で歯科研修医は何を得られたか: 研修終了後アンケート調査. 第 34 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会, Web 開催, 2021 年 10 月 23 日～11 月 23 日, 抄録なし, 2021.

【研究会発表】

- 1) 内藤絵里子, 高田 翔, 井川和代, 泉 健次: 口腔がん 3 次元 in vitro モデルを用いた放射線感受性評価システムの構築. 2021 年度 HIMAC 共同利用成果発表会, Online, 2022 年 5 月 30 日

【その他-特許出願・特許取得】

- 1) 泉 健次, 鈴木絢子, 水野 潤, 岸本一真: マイクロパターン化転写用鋳型、転写用鋳型の製造方法及び医療基材の製造方法. 国内特許取得出願中 (出願人: 新潟大学, 早稲田大学), 特願 2022-051501. 2022 年 3 月 28 日.
- 2) 泉 健次, 鈴木絢子, 水野 潤, 岸本一真, 小松隆史, 大澤康暁: マイクロパターン化コラーゲンゲル作製用ステンレス製モールド. 国内特許取得出願中 (出願人: 新潟大学, 早稲田大学, 小松精機工作所), 特願 2021-054133. 2021 年 3 月 26 日.
⇒特開 2020-105083
- 3) 泉 健次, 水野 潤, 岸本一真, 小松隆史, 水野綾介: 転写用金型および転写用金型の製造方法. 国内特許取得出願中 (出願人: 新潟大学, 早稲田大学, 小松精機工作所), 特願 2022-151188. 2022 年
- 4) 小林エリ, 中矢恵理子, 成 英次, 泉 健次, 干川絵美, 小林亮太. In vitro 口唇モデル及びその製造方法. 国内特許出願中 (出願人: 株式会社コーセー, 新潟大学), 特願 2023-007663. 2023 年
- 5) 井川和代, 泉 健次, 羽賀健太, 内藤絵里子. がん治療法の有効性を評価するための方法、キット、構造物及び使用. 国内特許取得出願中 (出願人: 岡山大学, 新潟大学), 特願 2022-118584. 2022 年
- 6) 泉 健次, 三輪慶人, 桑江博之, 水野 潤, 兒玉泰洋, 山口 勇: 線維化コラーゲンゲル作製用鋳型材料. 国内特許取得 (出願人: 新潟大学, 早稲田大学, 多木化学株式会社), 特許第 719788 号, 2022 年

予防歯科学分野

【著 書】

- 1) 小川祐司: 第 5 章母子の歯科保健 助産学講座 3.

母子の健康科学, 174-190, 医学書院, 東京, 2023.

- 2) 小川祐司: 保健生態学 9 章国際保健学. 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1, 331-336, 医歯薬出版, 東京, 2023.

【論 文】

- 1) Thwin KM, Lin WT, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: Anti-caries and anti-microbial effects of school-based fluoride programs in Myanmar school children. Oral Health Prev Dent 20(1): 165-172, 2022.
- 2) Thwin KM: Oral health and non-communicable diseases: How to integrate? Medicon Dent Sci 1 (5): 02-03, 2022.
- 3) Yoshihara A, Nakashima K, Suwama K, Odajima A, Yamaga T, Ogawa H: Interaction between serum vitamin C levels and smoking on the periodontal condition in older adults. J Periodontal Res 57(3): 587-593, 2022.
- 4) Ozasa E, Sakuraya A, Sato Y, Takehara S, Kojimahara N: How Doctors in Charge of Medical Education Recognize and Use Clinical Practice Guidelines in Education: A Cross-Sectional Study. TWUMJ 6: 67-71, 2022.
- 5) Mizoguchi N, Nohno K, Yoshihara A, Ito K, Funayama S, Ogawa H: Association of hyper-low-density lipoprotein and hypo-high-density lipoprotein cholesterolemia with low saliva flow rates in Japanese community-dwelling elders. Int Arch Otorhinolaryngol 27(1): e24-e31, 2022.
- 6) Ogawa H, McKenna G, Kettratad-Pruksapong M. Prevention of Oral Functional Decline. Int Dent J 72(4): S21-S26, 2022.
- 7) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Furihata M, Yoshihara A, Shiramizu M, Sta Maria MT, Hori S, Morikawa M, Marito P, Kaneko N, Nohno K, Nose H, Masuki S, Ono T: Effects of Interval Walking Training on Oral Health Status in Middle-Aged and Older Adults: A Case-Control Study. Int J Environ Res Public Health 19(21): 14465, 2022.
- 8) Ito K, Izumi N, Funayama S, Nohno K, Katsura K, Kaneko N, Inoue M: Characteristics of medication-induced xerostomia and effect of treatment. ProS One 18(1): e0280224, 2023.
- 9) Takehara S, Karawekpanyawong R, Okubo H, Tun TZ, Ramadhani A, Chairunisa F, Tanaka A, Wright FAC, Ogawa H: Oral Health Promotion under the 8020 Campaign in Japan - A Systematic Review. Int J Environ Res Public Health 20(3): 1883, 2023.
- 10) Thwin KM, Tun TZ, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: Clinical and Microbial Evaluation of Dental Caries

Status and Associated Factors Among Primary Schoolchildren in Myanmar: A Cross-Sectional Study. Asia Pac J Public Health 35(1): 42-49, 2023.

- 11) Karawekpanyawong R, Nohno K, Kubota Y, Ogawa H: Oral health and nutritional intake in community-dwelling 90-year-old Japanese people: a cross-sectional study. Gerodontology 40(1): 100-111, 2023.
- 12) Miyamoto A, Minagawa K, Nohno K, Kaneko N, Ichikawa Y, Hoshino T, Ito H, Yoshihara A: Prevalence and Cause of Enamel Hypoplasia in Primary Teeth among 1-year-old Japanese Children. Open Dent. J. 17: e187421062303021, 2023.
- 13) 深井 稔博, 大内 章嗣, 福田 英輝, 岡田 寿朗, 佐々木 健, 安藤 雄一, 小川 祐司, 竹内 研時, 山中 史教, 小畑 充彦, 長 優子, 田所 大典, 皆川 久美子, 神原 正樹, 宮崎 秀夫, 嶋崎 義浩, 花田 信弘: 生活習慣病対策における歯科口腔保健のあり方: 特定健診・標準的質問票に咀嚼に関する質問が組み込まれたことを踏まえて. 口腔衛生会誌 72(2): 122-129, 2022.
- 14) 埴岡 隆, 小島美樹, 谷口奈央, 小川祐司, 尾寄哲則, 瀬川 洋, 田野ルミ, 日野出大輔, 細見 環, 山中玲子, 山本龍生, 伊藤博夫, 森田 学, 稲垣幸司, 王 宝禮, 伊藤 弘, 両角俊哉, 竹下 徹, 重石英生, 杉山 勝, 太田耕司, 長尾 徹: タバコ使用と口腔微生物の関係 歯の周囲およびインプラント周囲の細菌. 口腔衛生学会雑誌 72(3): 185-189, 2022.
- 15) 埴岡 隆, 小島美樹, 谷口奈央, 花田信弘, 小川祐司, 尾寄哲則, 瀬川 洋, 田野ルミ, 日野出大輔, 細見 環, 山中玲子, 山本龍生, 伊藤博夫, 重石英生, 杉山 勝, 太田耕司, 長尾 徹, 森田 学, 稲垣幸司, 王 宝禮, 伊藤 弘, 両角俊哉, 竹下 徹: タバコ使用と口腔微生物の関係 う蝕, 口腔粘膜異常, 口腔装置と関連する微生物. 口腔衛生会誌 72: 272-278, 2022.

【商業誌】

- 1) 竹原祥子, 植野正之: 歯科口腔保健の新時代 データからの at a glance (第8回) 歯科保健における疫学研究 オーストラリア地域在住高齢男性研究(CHAMP 研究)の解析事例の紹介. 歯界展望 139(5): 1028-1031, 2022.
- 2) 深井稔博, 小川祐司, 牧野由佳, 原田有理子: 世界が目指す口腔保健のあり方 WHO 総会決議の意義と課題を読み解く. 歯界展望 139(6): 1185-1203.
- 3) 小川祐司: WORLD HEALTH REPORT ロシアのウクライナ侵攻による歯科界への影響. 日本歯科評論 82(6): 146-147, 2022

- 4) 小川祐司: WORLD HEALTH REPORT 世界口腔保健行動計画(アクションプラン)構築への協力. 日本歯科評論 82(10): 148-149, 2022
- 5) 小川祐司: WORLD HEALTH REPORT 2022 年 FDI 世界歯科会議報告. 日本歯科評論 82(12): 154-155, 2022.
- 6) 小川祐司: 歯科口腔保健の新時代 データからの at a glance (第17回) 国際口腔保健のこれからを考える. 歯界展望 141(2): 382-385, 2023.
- 7) 小川祐司: 2022 年度 FDI 年次会議. 日本歯科医師会雑誌 75(5): 52-54, 2022.
- 8) 小川祐司: WHO 口腔保健の世界戦略. 日本歯科医師会雑誌 75(7): 56-57, 2022.

【研究費獲得】

- 1) Hanindriyo L, Ogawa H (分担) 他: A Pilot Project for Health Promoting School Initiative in Indonesia using a Multidimensional Approach. THE BORROW FOUNDATION GRANT, United Kingdom, 2022.
- 2) Ogawa H 他: Oral function survey among older adults in Philippines, Malaysia and Vietnam and policy analysis on the implementation status of oral health policy in Japan. WHO Western Pacific Regional Office, 2022.
- 3) 金子 昇, 濃野 要: 口腔細菌叢のメタゲノム解析によるドライマウスの病態解明. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 19K10421, 2022.
- 4) Thwin KM: Effects of school-based fluoride programs in Myanmar children. 日本学術振興会研究活動スタート支援, 19K24162, 2022.
- 5) 山賀孝之, 金子 昇 (分担) 他: 歯周病進行予知のための口腔内 VSC 濃度測定による基準値の確立. 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 20K10283, 2022.
- 6) 小川祐司, 山田貴穂, 濃野 要, 皆川久美子: 糖尿病患者の脳梗塞リスクに対する抗菌的歯周治療の有用性に関するランダム化比較試験. 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 20K10291, 2022.
- 7) 金子 昇, 濃野 要: 口腔細菌叢のメタゲノム解析による口臭症の病態解明. 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究(C), 22K10338, 2022.
- 8) 星野剛志: 血漿中抗 *Porphyromonas gingivalis* 抗体価は高血圧症の予測因子となりうるか? 日本学術振興会研究活動スタート支援, 22K21009, 2022.
- 9) Thwin KM: Effects of psychosocial factors related to oral health impact in Myanmar. 国際共同研究加速グラント (研推/研究推進経費), 544280, 2022.
- 10) 竹原祥子 (主任), 小川祐司 (分担), F. A. Clive Wright (分担): 保健政策概念モデル Health Policy Triangle

による 8020 運動の政策分析. 令和 4 年度 8020 研究事業, 22-6-16, 2022.

- 11) 竹原祥子 (主任), 笠巻 純一(分担), 小川祐司 (分担), 葭原明弘 (分担), 竹林正樹 (分担), Lisdrianto Hanindriyo (分担), Fania Chairunisa (分担): 日本とインドネシアの学び合いによる地域づくりと住民エンパワメント. アジア連携研究センター共同プロジェクト支援, 2022.
- 12) 大久保光: 2022 年度研究者研究助成金, 公益財団法人 富徳会, 2022.
- 13) Tin Zar Tun: 2022 年度研究者研究助成金, 公益財団法人 富徳会, 2022.
- 14) 田中 梓: 令和 3 年度新潟大学フェローシップ研究費, 文部科学省 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業, 2022.
- 15) 大久保光: 令和 4 年度新潟大学フェローシップ研究費, 文部科学省 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業, 2022.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Ogawa H: Importance of infection control to COVID-19 infection in dental care. IADR: online conference, June, 2022.
- 2) Thwin KM: Dental caries status in Myanmar: Current challenges and future perspectives. Pierre Fauchard Academy (Myanmar Section) Continue Education Program Webinar, online conference, January 22, 2023.
- 3) Hoshino T: Oral function, frailty, and nutritional status: Current status among older adults in Malaysia, the Philippines, and Vietnam from cross-sectional online questionnaire survey. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2023, online conference, February 11, 2023.
- 4) Ogawa H: Older adults and Healthy Aging in hyper aging society. Integrating Health Systems: Policies and Programs that Work, Harvard University, March, 2023.
- 5) 小川祐司: ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ達成のためにアジア諸国での高齢者口腔保健をどう推進するか? ~日本の経験をアジア諸国へ~. 第 71 回日本口腔衛生学会総会, web 開催, 2022 年 5 月 13 日-27 日.
- 6) 小川祐司: 「新型タバコ, 特に加熱式タバコに関する注意喚起」を考える. 第 71 回日本口腔衛生学会総会, web 開催, 2022 年 5 月 13 日-27 日.

【学会発表】

- 1) Taka N, Aoyagi Y, Miida K, Kimura T, Kanatani M,

Ogawa H: Effect of silanization of durability of experimental SiC-fiber reinforced resin after hot water storage. Proceedings of International Dental Materials Congress 2022, Taipei, Taiwan, November 4-5, 2022.

- 2) Miida K, Kimura T, Aoyagi Y, Taka N, Kanatani M: Evaluation of mineralization ability by titanium sputtering treatment on PEEK surface. Proceedings of International Dental Materials Congress 2022, Taipei, Taiwan, November 4-5, 2022.
- 3) 黒川 亮, 新美奏恵, 曾我麻里恵, 佐久間英伸, 富原 圭, 佐藤由美子, 田中恵子, 石山茉祐佳, 植木麻有子, 小林正治: 新潟大学医歯学総合病院における免疫チェックポイント阻害薬の使用と免疫関連有害事象の口腔領域への発症状況について. 第 19 回日本口腔ケア学会総会・学術大会, ハイブリッド開催 (大阪・Web 開催), 2022 年 4 月 23 日-24 日, 日本口腔ケア学会雑誌, 16(3): 195, 2022.
- 4) 田村浩平, 濃野 要, 小川祐司: 地域在住後期高齢者の臼歯部咬合支持喪失と 10 年間の生命予後. 令和 4 年度第 71 回日本口腔衛生学会・総会, Web 開催, 2022 年 5 月 13 日-27 日, 口腔衛生学会雑誌, 72(Suppl): 95, 2022.
- 5) 田中 梓, 皆川久美子, 濃野 要, 小川祐司: 2 型糖尿病患者における脳梗塞発症リスクと歯周炎との関連. 令和 4 年度第 71 回日本口腔衛生学会・総会, Web 開催, 2022 年 5 月 13 日-27 日, 口腔衛生学会雑誌, 72(Suppl): 99, 2022.
- 6) 伊藤加代子, 泉 直子, 濃野 要, 船山さおり, 金子 昇, 井上 誠: 薬剤性口腔乾燥症患者の特性および治療による自覚症状改善に関する検討. 令和 4 年度老年歯科医学会第 33 回学術大会, 新潟市, 2022 年 6 月 10 日-12 日, 老年歯科医学, 37(2): 175-176, 2022.
- 7) 高 昇将, 三井田慶斗, 木村龍弥, 青柳裕仁, 金谷貢, 小川祐司: 試作炭化ケイ素繊維強化型レジンの長期耐久性の評価. 第 37 回日本歯科産業学会 (日本歯科理工学会中部地方会ジョイント開催), 長野, 2022 年 7 月 30 日-31 日, 日本歯科産業学会誌, 36(1): 61, 2022.
- 8) 埴岡 隆, 谷口奈央, 矢田部尚子, 小島美樹, 細見環, 尾崎哲則, 小川祐司, 瀬川 洋, 田野ルミ, 花田信弘, 日野出大輔, 山中玲子: 卒前教育 歯科医師・歯科衛生士の卒前臨床教育における禁煙指導・支援の実態および意識に関するフォローアップ調査研究-2020 年調査結果. 第 16 回日本禁煙学会学術総会, Web 開催, 2022 年 10 月 29 日-30 日.
- 9) 三井田慶斗, 青柳裕仁, 高 昇将, 木村龍弥, 金谷貢, 魚島勝美: 炭化ケイ素繊維強化型新規フェイス

ガード材料の開発. 令和4年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2022年11月12日, 新潟歯学会誌, 52(2): 99, 2022.

- 10) 田村浩平, 濃野 要, 小川祐司: 地域在住80歳健康高齢者における咬合支持が10年間の生命予後に与える影響. 令和4年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2022年11月12日, 新潟歯学会誌, 52(2): 101-102, 2022.
- 11) 高 昇将, 米澤大輔, 渡辺真光, 濃野 要, 小川祐司: 地域在住の部分床義歯装着高齢者の食習慣に関する質的検討. 令和4年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2022年11月12日, 新潟歯学会誌, 52(2): 102, 2022.
- 12) 植木麻有子, 田村浩平, 木村大地, 木村美樹, 曾根博仁, 小川祐司: オンライン予防歯科教育動画による企業従業員のヘルスリテラシー向上と行動変容における有効性の検証. 第33回甲信越北陸口腔保健研究会総会・学術大会, 塩尻市, 2022年11月19日, 口腔衛生会誌, 73(1): 64, 2023.

【受賞】

- 1) 植木麻有子: オンライン予防歯科教育動画による企業従業員のヘルスリテラシー向上と行動変容における有効性の検証. 発表奨励賞, 令和4年度甲信越北陸口腔保健研究会学術大会.

【その他】

- 1) Ogawa H: Fluoride mouth rinse programme to promote school oral health. Academic Lecture at Universitas Airlangga, online lecture, May 21, 2022.
- 2) Ogawa H: Primary oral health care delivery (lesson learned from countries best practices-Japan). UGM Global Oral Health Lecture Series, online lecture, May 25, 2022.
- 3) Ogawa H, Karawekpanyawong R, Hoshino T, Tun TZ, Hikaru O: Fact sheet "Evidence-based use of teledentistry in oral health services". World Dental Federation, 2021 (published in November 2022) <https://fdiworlddental.org/evidence-based-use-teledentistry-oral-health-services>
- 4) 小川祐司: パンデミックがもたらした口腔健康への影響とその対応. 第4回WHO協力センター国内連携会議, web開催, 2022年4月26日.
- 5) 小川祐司: 2030年に向けての口腔保健オーラルヘルスプロモーション. 第97回北海道子供の歯を守る会, 札幌市, 2022年11月12日.
- 6) 小川祐司: 口腔保健とSDGs. 東京医科歯科大学大学院特別講義, オンライン講義, 2023年1月25日.

- 7) 小川祐司: オーラルフレイルとその予防. 兵庫県立大学地域ケア開発研究所フレイルフォーラム. 明石市, 2023年2月9日.
- 8) 小川祐司: 糖尿病患者への歯周治療アプローチ. SillHa web セミナー 2023. 2023年3月5日.

う蝕学分野

【著書】

- 1) 保存修復学専門用語集 共同執筆: 吉羽邦彦, 野村由一郎他多数 医歯薬出版 2023.03.25 3版
- 2) 歯内療法学専門用語集 共同執筆: 吉羽永子, 野村由一郎他多数 医歯薬出版 2023.03.25 2版
- 3) 歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学 共同執筆: 枝並直樹, 野村由一郎他多数 医歯薬出版 2023.01.20 初版
- 4) よくわかる口腔バイオフィルムと歯科治療 編・著: 野村由一郎, 共同執筆 ヒョーロン 2022.06.08 初版
- 5) エンドドンティクス第6版 共同執筆: 枝並直樹, 野村由一郎 他多数 永末書店 2022.03.01.6 版

【研究費獲得】

- 1) 野村由一郎 研究代表者 科学的根拠に基づいた永久歯の歯髄復元療法・"歯の不死化"の確立をめざす包括的研究. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (B), 21H03117, 2022
- 2) 前歯葉月(研究代表者), 野村由一郎 (研究分担者): 新規触媒技術を応用した難治性根尖性歯周炎関連バイオフィルムコントロール法の開発 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 22K09998, 2022
- 3) 八幡祥生 (研究代表者), 野村由一郎 (研究分担者): 炎症性腸疾患併発下で難治化する根尖性歯周炎の分子病態解析と新規治療標的の検索 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C), 20K09970, 2022
- 4) 吉羽邦彦 (研究代表者), 吉羽永子 (研究分担者), 枝並直樹 (研究分担者): 歯髄の創傷治癒・再生過程における Gli1 陽性幹細胞の動態と分化誘導機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 21K09914, 2022
- 5) 細矢明宏 (研究代表者), 吉羽邦彦 (研究分担者): 株化歯根膜幹細胞の樹立と骨芽細胞分化メカニズムの解明 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究, 22K10019, 2022
- 6) 竹中彰治(研究代表者), 野村由一郎 (研究分担者): リ

スクアセスメントとオーラルリテラシーを向上する誤嚥性肺炎の危険予知システム開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 19H03958, 2022

- 7) 竹中彰治 (研究代表者), 清水詩子, 茂呂寛, 野杵由一郎 (研究分担者): 認知症に対応し在宅医療を支援する血中抗体価を指標とした誤嚥性肺炎診断キットの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究 萌芽), 22K19667, 2022
- 8) 吉羽永子 (研究代表者), 吉羽邦彦 (研究分担者): マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 B), 22H03259, 2022
- 9) 大倉直人(研究代表者), 吉羽永子, 吉羽邦彦 (研究分担者): アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10147, 2022
- 10) 枝並直樹: 歯内療法用生体活性材料が持つアパタイト形成能の生体内評価と新規生体外試験法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K16966, 2022
- 11) 外園真規: in situ モデルを用いたデンタルバイオフィルムと歯肉上皮の共生機構の解明 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究 21K16990, 2022
- 12) 井田貴子 (研究代表者), 枝並直樹, 外園真規, 竹中彰治, 野杵由一郎: 緑茶由来成分を用いた炎症制御と口腔バイオフィルム接着阻害によるう蝕進行制御の検索 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K09997, 2022
- 13) 永田量子: 口腔ピロリ菌は胃がんの原因となるか? 磁気ビーズを用いた DNA 解析による検索 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援 21K21081, 2022
- 14) 齋藤瑠郁: 新発想の感染症治療薬の開発研究. 新潟大学 U-go グラント (次世代枠), 新規.
- 15) 齋藤瑠郁: エコ・リサイクルな創薬イノベーション研究 —新発想の感染症治療薬の開発研究—, 新潟大学未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト第2期生, 新規.

【論文】

- 1) Takenaka S, Sotozono M, Yashiro A, Saito R, Kornsbult N, Naksagoon T, Nagata R, Ida T, Edanami N, Noiri Y. Efficacy of Combining an Extraoral High-Volume Evacuator with Preprocedural Mouth Rinsing in Reducing Aerosol Contamination Produced by Ultrasonic Scaling. *Int. J. Environ. Res. Public Health* 2022, 19(10),

6048; 16 May 2022

- 2) Shalehin N, Seki Y, Takebe H, Fujii S, Mizoguchi T, Nakamura H, Yoshida N, Yoshida K, Iijima M, Shimo T, Irie K, Hosoya A: Gli1+-PDL Cells Contribute to Alveolar Bone Homeostasis and Regeneration. *J Dent Res.* 101(12):1537-1543, 2022.
- 3) Nagata R, Sato H, Takenaka S, Yokoyama J, Terai S, Mimuro H, Noiri Y: Analysis of Genetic Relatedness between Gastric and Oral *Helicobacter pylori* in Patients with Early Gastric Cancer Using Multilocus Sequence Typing. *Int J Mol Sci* 24(3):2211, 2023.
- 4) Edanami N, Belal RSI, Takenaka S, Yoshida K, Gutierrez REB, Takahara S, Yoshida N, Ohkura N, Noiri Y: In vivo assessment of the calcium salt-forming ability of a new calcium silicate-based intracanal medicament: Bio-C Temp. *Dent J* 11(4): 91, 2023.
- 5) Ohkura N, Yoshida K, Yoshida N, Edanami N, Ohshima H, Takenaka S, Noiri Y: SVCT-GLUT-mediated ascorbic acid transport pathway in rat dental pulp and its effects during wound healing. *Sci Rep* 23;12(1): 1251, 2023.
- 6) Ohkura N, Yoshida K, Yoshida N, Oda Y, Edanami N, Ohshima H, Takenaka S, Okiji T, Noiri Y: Prostaglandin E2-transporting pathway and its roles via EP2/EP4 in cultured human dental pulp. *J Endod* 49(4): 410-418, 2023.
- 7) Noiri Y, Nagata R: Current status of gastric and oral infection/diseases caused by *Helicobacter pylori*. *Oral Sci Int* 1-8, 2023.
- 8) 外園真規, 井田貴子, 枝並直樹, 永田量子, 竹中彰治, 柴田 源, 横山裕也, 石井裕之, 野杵由一郎. 試作全自動歯ブラシによるデンタルバイオフィルム除去効果. *J Health Care Dent.* 2022; 23: 47-56

【学会発表】

- 1) 齋藤瑠郁: 新発想の感染症治療薬の開発研究. 令和4年度フェローシップ支援事業&次世代プロジェクト採択者合同定例シンポジウム, 新潟およびWEBハイブリッド開催, 2023年3月3日~3月13日
- 2) 浅見栄里, 北見恩美, 井田貴子, 小林正治, 佐伯万騎男. 2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する. 令和4年度新潟歯学会第2回例会, 新潟, 2022年11月12日.
- 3) 枝並直樹, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 大倉直人, 吉羽永子, 高原信太郎, 野杵由一郎: ケイ酸カルシウム系貼薬剤と水酸化カルシウム系貼薬剤の Biomineralization Ability の比較. 第157回日本歯科

保存学会学術大会, 岡山, 2022 年 11 月 10 日, プログラムおよび講演抄録集 126 頁, 2022

- 4) 高原信太郎, 枝並直樹, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 大倉直人, 吉羽永子, 野杻由一郎. 根尖孔外に漏出したバイオセラミック系シーラーと歯周組織の相互作用. 第 157 回日本歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022 年 11 月 10 日, プログラムおよび講演抄録集 125 頁, 2022.
- 5) 井田貴子, 竹中彰治, 枝並直樹, 野杻由一郎. 歯根膜の 5 型コラーゲンが細胞外基質および幹細胞分化に与える影響. 日本歯科保存学会 2022 年度秋季大会 (第 157 回), 岡山, 2022 年 11 月 10 日-11 月 11 日. 第 157 回日本歯科保存学会学術大会, 岡山, 2022 年 11 月 10 日, プログラムおよび講演抄録集 152 頁, 2022.
- 6) Niraya Kornsombut, Shoji Takenaka, Jutharat Manuschai, Maki Sotozono, Ryoko Nagata, Takako Ida, Yuichiro Noiri. Anticariogenic biofilm activity of dental material to reduce and prevent dentin hypersensitivity. 第 36 回日本バイオフィルム学会学術集会, 横浜, 2022 年 9 月 24 日-25 日.
- 7) 浅見栄里, 北見恩美, 井田貴子, 小林正治. 2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する. 第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022 年 9 月 17 日-18 日.
- 8) 大倉直人: 歯根形成時におけるピロリン酸および無機リン酸の影響. 第 43 回日本市内療法学会学術大会, Web 開催, 2022 年 7 月 9-25 日, 日本歯内療法学会学術大会プログラム 43, 67 頁, 2022.
- 9) 枝並 直樹, 竹中 彰治, 吉羽 邦彦, 大倉 直人, 吉羽永子, 高原 信太郎, 野杻 由一郎: 生体活性はケイ酸カルシウム系セメントに普遍的な特性か? 18 種のケイ酸カルシウム系セメントの生体内評価. 第 156 回日本歯科保存学会学術大会, Web 開催, 2022 年 6 月 16 日, プログラムおよび講演抄録集 24 頁, 2022.

【機関誌等】

- 1) 口腔ピロリ菌の闇に迫る—くちのピロリよ何処に向う? 陽光 34 2-4, 2022. 2022.12.20 発刊
- 2) 口腔ピロリ菌の闇に迫る—万病の始まりはくちからか? 陽光 32 2-3, 2022. 2022.04.20 発刊

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 吉羽永子, 令和 4 年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業 新潟大学ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ (先端型) シンポジウム「高志の女性研究者開花システム構築 開花プラン取組」9 月 30 日 シンポジスト

【受賞】

- 1) 吉羽永子 令和 4 年度新潟大学研究推進機構研究准教授

【メディア報道】

- 1) ラジオ番組出演: テーマ「う蝕 (むし歯) 予防管理システムについて」、放送日令和 5 年 3 月 13 日 (月) ~ 3 月 16 日 (木), 15:45-16:00, 「工藤淳之介の 3 時のカルテット」内、出演者 野杻由一郎

【その他】

- 1) 奨学寄附金: う蝕学分野における研究助成、クラレ・ノリタケ社 300 千円 x 2 回

小児歯科学分野

【著書】

- 1) 早崎治明, 中村由紀: 小児歯科学 第 6 版 (白川哲夫他編), 56-58, 185-193 頁, 医歯薬出版, 東京, 2023.
- 2) 大島邦子 他: Down 症候群の歯科診療における診断と処置方法ガイドライン 2022 (日本障害者歯科学会監修), 47-56 頁, 2022.

【論文】

- 1) Sano H, Nakakura-Ohshima K, Okada Y, Sato T, Ohshima H: The Effect of Intentionally Perforating the Floor of Pulp Chamber on Pulpal Healing after Tooth Replantation in Mice. J Oral Biosci 65(1): 31-39, 2023.
- 2) Ibano N, Inada E, Otake S, Kiyokawa Y, Sakata K, Sato M, Kubota N, Noguchi H, Iwase Y, Murakami T, Sawami T, Kakiyama Y, Maeda T, Terunuma M, Terao Y, Saitoh I: The Role of Genetically Modified Human Feeder Cells in Maintaining the Integrity of Primary Cultured Human Deciduous Dental Pulp Cells. J.Clin.Med 11(20): 6087, 2022.
- 3) Sato M, Saitoh I, Kiyokawa Y, Akasaka E, Nakamura S, Watanabe S, Inada E: Electroporation-Based Non-Viral Gene Delivery to Adipose Tissue in Mice. OBM Genetics 6(2): 151, 2022.
- 4) Suebsamarn O, Kamimura Y, Suzuki A, Kodama Y, Mizuno R, Osawa Y, Komatsu T, Sato T, Haga K, Kobayashi R, Naito E, Kida M, Kishimoto K, Mizuno J, Hayasaka H, Izumi K: In-process monitoring of a tissue-engineered oral mucosa fabricated on a micropatterned collagen scaffold. Use of optical coherence tomography for quality control. Heliyon 8(11): e11468, 2022.
- 5) 野上有紀子, 中村由紀, 五月女哲也, 清川裕貴, 朴沢

美生, 築野沙絵子, 笹川祐輝, 鈴木絢子, 花崎美華, 中島 努, 大島邦子, 齊藤一誠, 岩瀬陽子, 早崎治明: 一時保護所に保護中の被虐待児童の歯種別う蝕罹患状況に関する報告. 障歯誌 44(1): 10-18, 2023.

【商業誌】

- 1) 中村由紀: 口唇と関連運動器官の機能変化からみる摂食スキルの発達. 小児歯科臨床 27(10): 32-39, 2022.

【研究費獲得】

- 1) 大島邦子, 早崎治明, 大島勇人: 外傷歯における神経伝達シグナルと人為的血流調節による歯髄静的幹細胞賦活化の試み. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10224, 2020-2022.
- 2) 中村由紀, 早崎治明, 今村 孝, 松原まなみ: 離乳期以降の摂食機能発達プロセスを口腔の圧形成メカニズムの変移から解明する. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10267, 2022.
- 3) 松原まなみ, 中村由紀, 早崎治明: 早産児の口腔発達支援プログラムの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K109013, 2022.
- 4) 中島 努: 食具を使用した捕食動作における口腔機能の発達過程を探る. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K17156, 2022.
- 5) 笹川祐輝: 摂食指導・支援の客観的指標確立に向けた小児捕食機能の特徴解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 22K17226, 2022.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 中村由紀: 受賞記念講演 学術賞(LION AWARD)口唇と関連運動器官の機能変化からみる摂食スキルの発達. 第 60 回日本小児歯科学会大会, 幕張, 2022 年 5 月 19-20 日, 小児歯誌 60(大会抄録号): 64-65 頁, 2022.
- 2) 中村由紀: 教育講演 未来の小児歯科医療に向けてー研究の最前線からの提言ー. 第 41 回日本小児歯科学会中部地方会大会, 富山, 2022 年 10 月 9 日, 同大会プログラム・抄録集: 10 頁, 2022.
- 3) 早崎治明: 子どもの歯科・口腔に関する話題. 第 61 回新潟県小児保健研究会, 新潟, 2022 年 10 月 21 日, 同大会プログラム: 1 頁, 2022.

【学会発表】

- 1) 朴沢美生, 中村由紀, 中島 努, 花崎美華, 笹川祐輝, 築野沙絵子, 五月女哲也, 早崎治明: 複合センサーで評価する小児口腔機能の特徴. 第 55 回新潟歯学会総会, 新潟, 2022 年 4 月 16 日, 新潟歯学会誌

52(1): 37 頁, 2022.

- 2) 吉田歩未, 中村由紀, 中島 努, 笹川祐輝, 大島邦子, 早崎治明: 知的障害者福祉施設における障害支援区分に基づく口腔保健支援システムに向けた検討ー障害支援区分と口腔保健支援および歯科疾患実態との関連性ー. 第 55 回新潟歯学会総会, 新潟, 2022 年 4 月 16 日, 新潟歯学会誌 52(1): 38-39 頁, 2022.
- 3) 笹川祐輝, 中村由紀, 中島 努, 花崎美華, 築野沙絵子, 朴沢美生, 五月女哲也, 齊藤一誠, 早崎治明: スプーンを用いた捕食における口腔と上肢の協調運動の発達変化. 第 60 回日本小児歯科学会大会, 幕張, 2022 年 5 月 19-20 日, 小児歯誌 60(大会抄録号): 137 頁, 2022.
- 4) 清川裕貴, 稲田絵美, 井葉野夏実, 安村真一, 岡野哲, 岩瀬陽子, 早崎治明, 齊藤一誠: 糖尿病患児由来乳歯歯髄細胞を用いた膵臓特異的幹細胞(T1D-iTSC-P)の樹立. 第 60 回日本小児歯科学会大会, 幕張, 2022 年 5 月 19-20 日, 小児歯誌 60(大会抄録号): 224 頁, 2022.
- 5) 佐野拓人, 大島邦子, 岡田康男, 佐藤拓一, 大島勇人: 髄床底部への意図的穿孔形成がマウス歯の再植後の歯髄静的幹細胞動態に及ぼす影響. 第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022 年 9 月 17-19 日, J. Oral Biosci. Suppl 2022: 239 頁, 2022.
- 6) 中島 努, 花崎美華, 中村由紀, 五月女哲也, 米本裕貴, 笹川祐輝, 築野沙絵子, 朴沢美生, 吉田歩未, 早崎治明: 摂食先行期に関する研究-食具と手-. 第 41 回日本小児歯科学会中部地方会大会, 富山, 2022 年 10 月 9 日, 小児歯科学雑誌 61(地方会抄録号): 29 頁, 2023.
- 7) 花崎美華, 中島 努, 中村由紀, 五月女哲也, 米本裕貴, 笹川祐輝, 築野沙絵子, 朴沢美生, 吉田歩未, 早崎治明: 摂食運動先行期に関する研究-食具の入出-. 第 41 回日本小児歯科学会中部地方会大会, 富山, 2022 年 10 月 9 日, 小児歯科学雑誌 61(地方会抄録号): 29 頁, 2023.
- 8) 田中れいら, 清川裕貴, 坂田健輔, 越智鈴子, 梶本京子, 澤味規, 鈴木あゆみ, 津金裕子, 飯沼光生, 齊藤一誠: 先天性心疾患を有する患児の異所萌出を改善した 1 例. 第 41 回日本小児歯科学会中部地方会大会, 富山, 2022 年 10 月 9 日, 小児歯科学雑誌 61(地方会抄録号): 33 頁, 2023.
- 9) 大島邦子, 坂本裕里子, 筒井亜香里, 近藤淳子, 早崎治明: 長期的口腔管理を行った遺伝性感覚・自律神経ニューロパチー(HSAN)5 型患者の一例. 第 39 回日本障害者歯科学会学術大会, 倉敷, 2022 年 11 月 4-6 日, 第 39 回日本障害者歯科学会学術大会プログラム: 149 頁, 2022.

- 10) 吉田歩未, 中村由紀, 大島邦子, 中島 努, 笹川祐輝, 早崎治明: 知的障害者福祉施設における支援者の口腔保健支援の負担感に関する調査. 第 39 回日本障害者歯科学会学術大会, 倉敷, 2022 年 11 月 4-6 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 196 頁, 2022.
- 11) 清川裕貴, 齊藤一誠, 中村由紀, 大島邦子, 早崎治明: 乳歯歯髄細胞由来 iPS 細胞からの人工的腭幹細胞の樹立. 第 55 回新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会誌 52(2): 95 頁, 2022.
- 12) 内藤絵里子, 高田 翔, 羽賀健太, Orakarn Suebsamarn, Yortchan Witsanu, 小林亮太, 鈴木絢子, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭, 泉 健次: 口腔癌および口腔粘膜 3 次元 in vitro モデルに対する重粒子線照射の影響に関する研究-異種放射線治療評価の標準化システムの構築-. 第 55 回新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会誌 52(2): 97-98 頁, 2022.
- 13) 小林亮太, Orakarn Suebsamarn, Yortchan Witsanu, 相澤有香, 内藤絵里子, 干川絵美, 鈴木絢子, 富原 圭, 泉 健次: ヒト培養口腔粘膜上皮角化細胞の運動 / 増殖能を制御 / 調節する分子基盤の解明. 第 55 回新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会誌 52(2): 98 頁, 2022.
- 14) 五月女哲也, 中島 努, 中村由紀, 花崎美華, 笹川祐輝, 築野沙絵子, 朴沢美生, 米本裕貴, 早崎治明: 食具の違いに着目した捕食動作の三次元動作解析. 第 55 回新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会誌 52(2): 100 頁, 2022.
- 15) 築野沙絵子, 中村由紀, 中島 努, 花崎美華, 笹川祐輝, 朴沢美生, 五月女哲也, 米本裕貴, 早崎治明: 食品やその摂取方法の違いによる捕食時呼吸運動の変化. 第 55 回新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会誌 52(2): 100 頁, 2022.
- 16) 稲川拓真, 今村 孝, 中島 努: モーションキャプチャを用いた箸の使用技能の可視化に向けた 先端位置推定手法の検討. 第 65 回自動制御連合講演会, 栃木, 2022 年 11 月 12-13 日, 自動制御連合講演会講演論文集: 1000-1003 頁, 2022.
- 17) 米本裕貴, 中島 努, 中村由紀, 花崎美華, 笹川祐輝, 五月女哲也, 築野沙絵子, 朴沢美生, 早崎治明: 茶碗の中における食具の動きは異なる. 第 40 回日本小児歯科学会北日本地方会, 札幌, 2022 年 11 月 26-27 日, 小児歯科学雑誌 61(地方会抄録号): 10 頁, 2023.

【受賞】

- 1) 中村由紀: 口唇と関連運動器官の機能変化からみる摂食スキルの発達. 日本小児歯科学会学術賞(LION

AWARD), 日本小児歯科学会, 2022.

- 2) 清川裕貴: 糖尿病患児由来乳歯歯髄細胞を用いた腭臓特異的幹細胞(T1D-iTSC-P)の樹立. 第 60 回日本小児歯科学会大会 優秀発表賞, 2022 年 5 月 20 日.

生体歯科補綴学分野

【論文】

- 1) Thant L, Kakihara Y, Kaku M, Kitami M, Kitami K, Mizukoshi M, Maeda T, Saito I, Saeki M: Involvement of Rab11 in osteoblastic differentiation: Its up-regulation during the differentiation and by tensile stress. *Biochem Biophys Res Commun*. 2022 Oct 8;624:16-22, 2022.
- 2) Thant L, Kaku M, Kakihara Y, Mizukoshi M, Kitami M, Arai M, Kitami K, Kobayashi D, Yoshida Y, Maeda T, Saito I, Uoshima K, Saeki M: Extracellular Matrix-Oriented Proteomic Analysis of Periodontal Ligament Under Mechanical Stress. *Front Physiol*. 2022 May 20;13:899699, 2022.
- 3) 秋葉陽介, 高岡由梨那: イブニングセッション報告 歯科金属アレルギー患者への対応: 検査, 診断, 治療方針と他科連携-Treatment for dental metal allergy patient: Examinations, Diagnosis, Treatment Plan and Cooperation. *日本補綴歯科学会誌* 14(3):250-258, 2022.

【商業誌】

- 1) 秋葉陽介: 掌蹠膿疱症性骨関節炎診療の手引き 2022, 日本脊椎関節炎学会, 文光堂 東京. 124-129, 2022.

【研究費獲得】

- 1) 魚島勝美, 加来賢, 秋葉陽介, 長澤麻沙子: 骨の骨細胞ネットワーク再構築と骨質に着目した自家骨移植の至適条件探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 20H03876A, 2022.
- 2) 加来賢, 魚島勝美, 北見公平, 柿原嘉人, 松本雅記: 定量プロテオミクスによる歯根膜マトリックスの網羅的解析と再生基材の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 21H03127, 2022.
- 3) 加来賢, 奥田修二郎: 細胞追跡法と遺伝子ネットワーク解析による幹細胞の分化制御メカニズムの解明, 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 21K19895, 2022.

- 4) 加来賢, 柿原嘉人, 松本雅記: 細胞外マトリックスに特化したプロテオーム解析基盤の構築. 令和4年度 新潟大学 U-go グラント, 2022.
- 5) 秋葉陽介: 規格化ナノ構造チタンによる接着蛋白質を介した組織形成制御可能な生体材料開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09976, 2022.
- 6) 秋葉陽介: 表面粗さと結晶構造制御による生体活性インプラントの開発. 新潟大学令和4年度国際共同研究加速グラント, 183746-544280, 2022.
- 7) 秋葉奈美: 生理機能亢進細胞混合移植とレドックス制御による長期骨量維持可能な骨増生法開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10051, 2022.
- 8) 秋葉奈美(分担者): 歯学教育及び歯科医師臨床研修において一貫して利用できるオンライン評価システムの開発に関する研究. 厚生労働省科学研究費補助金, 22AC1001, 2022-2024.
- 9) 青柳裕仁, 金谷貢: メタライズを応用した新規ジルコニア表面改質法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09975, 2022.
- 10) 長澤麻沙子, 魚島勝美: 歯根膜の完全な再生を目指した意図的再移植法の新規開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10032, 2022.
- 11) JM Rosales Marcelo, 加来賢, 魚島勝美: Trans-omics analysis of the difference between Cortical and Trabecular bone. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09998, 2022.
- 12) 江口香里: 免疫寛容破綻を起点とした歯科金属アレルギー発症機序の可能性探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 20K18627, 2022.
- 13) 高岡由梨那: 歯科金属アレルギーと乾癬の免疫学的共通因子の探索. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K17061, 2022.
- 14) 浜谷桂佑: 表面での歯根膜再生を可能とする歯根破折歯修復用接着材料の新規適用法開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21006, 2022.
- 15) 工藤莉奈: 移植環境制御と細胞移植による予知性の高い骨増生法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21007, 2022.
- 16) 土橋梓: マルチオミックス解析による咬合性外傷発症メカニズムの解明. 新潟大学フェローシップ, J22F0036, 2022.
- 17) 泉健次, 芳賀永, 石原誠一郎, 加来賢, 佐藤大祐, 鈴木絢子: 足場材の硬さの違いを利用した上皮角化・化様式解明と培養口腔粘膜作成法への応用. 日

本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 21H03870, 2022.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Yosuke Akiba : Possibility of Biological Function Control Using Nanostructure Titanium Implant. INTERNATIONAL SYMPOSIUM ON DEVELOPMENT OF HUMAN RESOURCES IN PRACTICAL ORAL HEALTH AND TREATMENT, Virtual, February 11, 2023.
- 2) 秋葉奈美: 新たな歯科医師臨床研修制度における評価方法の構築に向けた基盤研究. 令和3年度厚生労働科学研究費補助金地域医療基盤開発推進研究事業新たな歯科医師臨床研修制度における評価方法の構築に向けた基盤研究シンポジウム, Web 開催, 2022年12月18日, 2022.

【学会発表】

- 1) Nagasawa M, Akiba N, Eguchi K, Taka N, Uoshima K. Educational effects on technical skills of crown preparation using virtual reality and augmented reality devices. The 33rd South-East Asian Association of Dental Education's Annual Scientific Conference. Siem Reap, Cambodia, Nov 24-26, Abstract & Program book Page 112, 2022.
- 2) Miida K, Kimura T, Aoyagi Y, Taka N, Kanatani M: Evaluation of mineralization on titanium sputtered PEEK surface after immersion in Hank's equilibrium solution. International Dental Materials Congress 2022, Taipei, Taiwan, November 4-5, Proceedings of International Dental Materials Congress 2022:125, 2022.
- 3) Taka N, Aoyagi Y, Miida K, Kimura T, Kanatani M, Ogawa H. Effect of silanization of durability of experimental SiC-fiber reinforced resin after hot water storage. International Dental Materials Congress 2022, Taipei, Taiwan, November 4-5, Proceedings of International Dental Materials Congress 2022:146, 2022.
- 4) Nagasawa M, Ohyama H, Akiba N, Akiba Y, Uoshima K. Dental student's self-assessment ability of single crown preparation in a class of fixed partial denture in Niigata University, Japan. ADEE Palma Annual Meeting 2022, Palma, Spain, Aug 24-26, 2022.
- 5) 小野喜樹, 加来賢, 土橋梓, 小林水輝, 魚島勝美: Wnt/ β -catenin シグナルの亢進は歯根膜細胞によるセメント質の形成を促進する. 第22回日本再生医療学会総会, 京都, 2023年3月23-25日, 同学術大会プログラム抄録集:103頁, 2023.
- 6) 土橋梓, 加来賢, Thant Lay, 小林水輝, 小野喜樹, 魚

- 島勝美: 培養歯根膜細胞における細胞外マトリックスの定量プロテオーム解析. 第 22 回日本再生医療学会総会, 京都, 2023 年 3 月 23-25 日, 同学術大会プログラム抄録集:103 頁, 2023.
- 7) 小林水輝, 加来賢, 土橋梓, Lay Thant, 小野喜樹, 魚島勝美: 脱細胞化歯根膜細胞シートにおける Laminin isoform が細胞接着能に及ぼす影響の解析. 第 22 回日本再生医療学会総会, 京都, 2023 年 3 月 23-25 日, 同学術大会プログラム抄録集:103 頁, 2023.
 - 8) Lay Thant, Masaru Kaku, Azusa Dobashi, Yoshito Kakihara, Isao Saito, Katsumi Uoshima: Extracellular matrix profiling of cultured PDL cells by chemical digestion-assisted proteomics. 第 22 回日本再生医療学会総会, 京都, 2023 年 3 月 23-25 日, 同学術大会プログラム抄録集: 101 頁, 2023.
 - 9) 秋葉陽介, 江口香里, 秋葉奈美, 高岡由梨那, 水野潤, 魚島勝美: 規格化ナノ構造チタンにおける骨髓由来細胞の増殖と動体. 第 44 回日本バイオマテリアル学会大会 東京 2022 年 11 月 21-22 日, 同学術大会プログラム・抄録集:4 頁, 2022.
 - 10) 秋葉 奈美, 長澤 麻沙子, 魚島 勝美. 臨床系実習科目における視覚素材の質が学生に与える影響に関する検討. 令和 4 年度公益社団法人 日本補綴歯科学会 関越支部学術大会 Web 開催 令和 4 年 11 月 13 日, 同学術大会プログラム・抄録集:16 頁, 2022.
 - 11) 山本悠, 長澤麻沙子, 張桐桐, 魚島勝美: 骨増成におけるコラーゲンクロスリンク阻害の影響に関する組織学的観察. 令和 4 年度公益社団法人日本補綴歯科学会関越支部学術大会, Web 開催, 2022 年 11 月 13 日, 同学術大会プログラム・抄録集:12 頁, 2022.
 - 12) 高岡由梨那, 秋葉陽介, 江口香里, 秋葉奈美, 長澤麻沙子, 魚島勝美: 金属アレルギーによる乾癬病態継続機構の探索. 令和 4 年度公益社団法人日本補綴歯科学会関越支部学術大会, Web 開催, 2022 年 11 月 13 日, 同学術大会プログラム・抄録集:13 頁, 2022.
 - 13) 江口香里: 嘔吐反射を有する上顎両側臼歯部欠損患者に対して大連結子の位置に配慮して部分床義歯を適用した症例. 令和 4 年度公益社団法人日本補綴歯科学会関越支部学術大会, Web 開催, 2022 年 11 月 13 日, 同学術大会プログラム・抄録集:21 頁, 2022.
 - 14) 小野喜樹, 加来賢, 土橋梓, 魚島勝美: 歯周組織再生過程における Wnt/ β -catenin シグナルの亢進はセメント質の形成を促進する. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2022 年 11 月 12 日, 同学術大会プログラム抄録集: 11 頁, 2022.
 - 15) 三井田慶斗, 青柳裕仁, 高昇将, 木村龍弥, 金谷貢, 魚島勝美: 炭化ケイ素繊維強化型新規フェイスガード材料の開発. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会誌 52(2):99 頁, 2022.
 - 16) 山本悠, 長澤麻沙子, 張桐桐, 魚島勝美: アバットメント締め付けトルク値が動的荷重付与後のインプラント周囲骨組織に与える影響. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 同学術大会プログラム・抄録集:16 頁, 2022.
 - 17) 新井萌生, 加来賢, Lay Thant, 土橋梓, 岩間基, 水越優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤功: SPARC の欠失が歯根膜細胞の線維形成に及ぼす影響のプロテオーム解析. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2022 年 11 月 12 日, 同学術大会プログラム抄録集:14 頁, 2022.
 - 18) 新井萌生, 加来賢, Lay Thant, 岩間基, 水越優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤功: 培養歯根膜細胞から分泌された細胞外マトリックスのプロテオーム解析. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会, 大阪, 2022 年 10 月 5-7 日, 同学術大会プログラム抄録集:163 頁, 2022.
 - 19) 岩間基, 加来賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤功: 加齢によりマウス臼歯の根尖側セメント質表層に生じる無細胞セメント質様組織の解析. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会, 大阪, 2022 年 10 月 5-7 日, 同学術大会プログラム抄録集: 167 頁, 2022.
 - 20) 高昇将, 三井田慶斗, 木村龍弥, 青柳裕仁, 金谷貢, 小川祐司: 試作炭化ケイ素繊維強化型レジンの長期耐久性の評価. 第 37 回日本歯科産業学会学術講演会(日本歯科理工学会中部地方会ジョイント開催), 塩尻, 2022 年 7 月 31 日, 日本歯科産業学会誌 36(1):61 頁, 2022.
 - 21) 秋葉奈美: 歯科医師臨床研修制度における臨床能力評価法の基盤構築. 第 41 回日本歯科医学教育学会総会 および 学術大会 2022 年 7 月 23 日-8 月 20 日, 同学術大会プログラム・抄録集:14 頁, 2022.
 - 22) 小野喜樹, 加来賢, 土橋梓, 魚島勝美: Wnt シグナルが歯周組織再生におけるセメント質形成に及ぼす影響. 第 131 回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2022 年 7 月 15-17 日, 同学術大会プログラム抄録集:62 頁, 2022.
 - 23) 土橋梓, 加来賢, 小野喜樹, 魚島勝美: Periostin knockout 歯根膜細胞のマルチオミックス解析. 第 131 回日本補綴歯科学会学術大会, 大阪, 2022 年 7 月 15-17 日, 同学術大会プログラム抄録集:48 頁, 2022.
 - 24) 秋葉奈美: 鉤状咬合を伴う過蓋咬合に対して可撤性義歯により咬合再構成を行った症例. 日本補綴歯

科学会第131回学術大会 大阪 2022年7月16日,
同学術大会プログラム・抄録集:69頁, 2022.

- 25) 小野喜樹, 加来賢, 土橋梓, 魚島勝美: Wnt/ β -catenin シグナルの亢進が歯周組織再生に及ぼす影響. 第54回日本結合組織学会学術大会, 大阪, 2022年6月25-26日, 同学術大会プログラム抄録集:128頁, 2022.
- 26) 土橋梓, 加来賢, Lay Thant, 小野喜樹, 魚島勝美: Periostin knockout 歯根膜細胞における細胞外基質のオミックス解析. 第54回日本結合組織学会学術大会, 大阪, 2022年6月25-26日, 同学術大会プログラム抄録集:120頁, 2022.
- 27) Lay Thant, Masaru Kaku, Yoshito Kakihara, Masaru Mizukoshi, Megumi Kitami, Kohei Kitami, Daiki Kobayashi, Yutaka Yoshida, Takeyasu Maeda, Katsumi Uoshima, Isao Saito, Makio Saeki: Alteration of the ECM composition and fiber organization in periodontal ligament under mechanical loading. 第54回日本結合組織学会学術大会, 大阪, 2022年6月25-26日, 同学術大会プログラム抄録集:110頁, 2022.

【受賞】

- 1) 高岡由梨那: 日本補綴歯科学会優秀論文賞, 2022年
- 2) 小野喜樹: 歯周組織再生過程における Wnt/ β -catenin シグナルの亢進はセメント質の形成を促進する. 第17回先端歯学スクール 2022, 優秀賞, 2022年8月27日.
- 3) 土橋梓: 歯根膜細胞のマルチオミックス解析. 第131回日本補綴歯科学会学術大会, 課題口演賞, 2022年7月17日.
- 4) 土橋梓: Periostin knockout 歯根膜細胞における細胞外基質のオミックス解析. 第54回日本結合組織学会学術大会, Young Investigator Award, 2022年6月26日.
- 5) 青森裕大 (指導教員: 魚島勝美・江口香里): (公社)日本補綴歯科学会主催 第4回 JPS student clinical skills competition, 最終選考最優秀賞1位, 2022年6月26日.
- 6) 青森裕大 (指導教員: 魚島勝美): 令和4年度新潟大学学生表彰, 2023年3月22日.

【その他】

- 1) 土橋梓: マルチオミックス解析による咬合性外傷発症メカニズムの解明, 令和4年度新潟大学フェローシップ定例シンポジウム(年度末報告会), 新潟, 2023年3月13日.
- 2) 青柳裕仁, 木村龍弥, 金野晴男: 化学変性セルロースナノファイバーを含有するアルジネート印象材.

国内特許取得出願中(出願人: 新潟大学, 日本製紙株式会社), 特願 2022-203359. 2022年12月20日.

- 3) 土橋梓: マルチオミックス解析による咬合性外傷発症メカニズムの解明, 令和4年度新潟大学フェローシップ2分野合同メンター学生交流会, 新潟, 2022年12月6日.
- 4) 小野喜樹, 加来賢, 土橋梓, 魚島勝美: 歯周組織再生過程における Wnt/ β -catenin シグナルの亢進はセメント質の形成を促進する. 第17回先端歯学スクール 2022, 徳島, 2022年8月26-27日.

顎顔面口腔外科学分野

【著書】

- 1) 富原 圭: 初メス体験記「反省からの学び」. 口腔外科ハンドマニュアル 22, 83-84, クインテッセンス出版株式会社, 東京, 2022, 07, 10.

【論文】

- 1) Nagai T, Yamazaki M, Nishikawa A, Kodama Y, Nishiyama H, Hayashi T, Tanuma J, Takagi R, Tomihara K: Rosai-Dorfman disease of the Maxilla: A rare case report and literature review. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. March 2022
doi.org/10.1016/j.ajoms.2022.02.007
- 2) Kiyomi A, Yoshida K, Ara C, Usuki R, Yamazaki K, Hoshino N, Kurokawa A, Imai S, Suzuki N, Toyama A, Sugiura M: Salivary inflammatory mediators as biomarkers for oral mucositis and oral mucosal dryness in cancer patients: a pilot study. PLOS ONE 17(4): e0267092 2022.
- 3) 大湊 麗, 小野和宏, 児玉泰光, 結城龍太郎, 永井孝宏, 小林亮太, 小林孝憲, 飯田明彦, 濃野 要, 宮田昌幸, 小林正治, 齋藤 功, 高木律男, 富原圭: 二段階口蓋形成手術法における幼児期前期の言語管理に関する検討—口蓋化構音と硬口蓋残遺裂の関連性にもとづいて—. 日口蓋誌. 47(1): 20-29, 2022.
Ominato R, Ono K, Kodama Y, Yuki R, Nagai T, Kobayashi R, Kobayashi T, Iida A, Nohno K, Miyata M, Kobayashi T, Saito I, Takagi R, Tomihara K: Speech management in early childhood for cleft patients in two-stage palatoplasty: based on backed articulation and maxillary morphology including the residual cleft after the soft palate surgery. 47(1): 20-29, 2022.

- 4) Yonehara K, Yokoyama S, Tomihara K, Noguchi M, Sakurai H. RSK-mediated Non-canonical Activation of EphA2 by Tamoxifen. *Biological and Pharmaceutical Bulletin*. 2021. *Biol Pharm Bull*. 2022;45(2):162-168. doi: 10.1248/bpb.b21-00567.
- 5) Fujiwara K, Tsuno H, Okabe M, Yoshida T, Imaue S, Tomihara K, Arai N, Noguchi M. Clinical Application of Hyperdry Amniotic Membrane in Cleft Palate Repair. *Cleft Palate Craniofac J*. 2022 Feb 28;10556656221075937. doi: 10.1177/10556656221075937.
- 6) Saito T, Nishikawa A, Hara-Saito Y, Salazar ARE, Kurokawa A, Iida A, Yamaga M, Kano H, Kato Y, Takata Y, Nishiyama H, Kitamura N, Tanaka T, Takagi R: Risk factors of medication-related osteonecrosis of the jaw in preventive tooth extraction before bone resorption inhibitor administration: A multicenter nested case-control study. *Oral Sci Int* 19(2): 79-87, 2022.
- 7) Salazar ARE, Kodama Y, Yuki R, Ominato R, Nagai T, Watanabe M, Yamada A, Kobayashi, Ichikawa K, Nihara, Iida A, Ono K, Saito I, Takagi R: Occlusal evaluation using Modified Huddart and Bodenham scoring system following two-stage palatoplasty with Hotz plate: A comparison between three different surgical protocol. *Cleft Palate Craniofac J*. *Cleft Palate Craniofac J*. 2022 Apr 25;10556656221093293. doi: 10.1177/10556656221093293.
- 8) Kato H, Ling Y, Hoshikawa E, Suzuki A, Haga K, Naito E, Uenoyama A, Okuda S, Izumi K. Detection of Potential Markers for Lip Vermilion Epithelium in Japanese Macaques Based on the Results of Gene Expression Profile. *Anatomia* 2022, 1, 3–13. doi: 10.3390/anatomia1010002
- 9) Takatsuka D, Tachinami H, Tomihara K, Amirreza YJ, Ikeda A, Imaue S, Fujiwara K, Sonoda T, Nakamori K, Noguchi M. Novel strategy to predict high risk of inferior alveolar nerve injury during extraction of lower third molars based on assessment of computed tomographic images of multiple anatomical features. *Br J Oral Maxillofac Surg*. 2022 Jun;60(5):570-576. doi: 10.1016/j.bjoms.2021.09.014.
- 10) 栗田浩, 梅田正博, 上野高章, 鶴澤成一, 渋谷恭之, 中村典史, 長塚仁, 林孝文, 溝口到, 富原圭, 池上由美子, 野口一馬, 滝口裕一, 山本信之: がん治療患者の口腔機能管理における菌性感染病巣(菌の齶蝕, 歯周病, 菌性感染症)管理: システマティックレビューに基づいた指針(完全再掲載版). *日本口腔ケア学会誌*. 16(2): 9-19. 2022.
- 11) 高木律男, 田邊嘉也, 須藤弘二, 山田瑛子, 加藤眞吾: SARS-CoV-2 感染診断のための PCR 検体採取法および診断精度—口腔からの検体採取法の検討—. *環境感染誌* 37 (4): 139-142, 2022.
- 12) 上野山敦士, 児玉泰光, 大貫尚志, 新國 農, 西山秀昌, 高木律男: 顎関節強直症を呈した SAPHO 症候群の 1 例. *日口外誌* 68(9): 370-377, 2022.
- 13) 高木律男, 児玉泰光, 飯田征二, 井上直子, 小林眞司, 阪井丘芳, 須佐美隆史, 須田直人, 中村典史, 宮脇剛司, 古郷幹彦: 口唇裂・口蓋裂児に関する臨床統計的検討 (2019) . *日口蓋誌*, 47(3);210-219, 2022.
- 14) 結城龍太郎, 児玉泰光, Andrea Rei Estacio Salazar, 大湊 麗, 永井孝宏, 山田 茜, 小林亮太, 市川佳弥, 丹原惇, 加藤純也, 朝日藤寿一, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤功, 高木律男: 片側性唇顎口蓋裂児の二段階口蓋形成手術後の 5-Year-Olds' Index での評価—軟口蓋形成法および硬口蓋閉鎖時期の影響—. *日口蓋誌* 47(3); 200-209, 2022.
- 15) Yoshida K, Kodama Y, Saito C, Tomihara K, Toyama A. Comparison between Single and Three times pre-operative administration of Amoxicillin in the Prophylactic Effects for Surgical Site Infections in Japanese Patients with Mandibular Third Molars Extraction. *YAKUGAKU ZASSHI* 2022;142(12):1391-1398. doi: 10.1248/yakushi.22-00163.
- 16) Abé T, Yamazaki M, Maruyama S, Ikeda N, Sumita Y, Tomihara K, Tanuma JI. Adenosquamous Carcinoma with the Acantholytic Feature in the Oral Cavity: A Case Report and Comprehensive Literature Review. *Diagnostics (Basel)*. 2022 Oct 2;12(10):2398. doi: 10.3390/diagnostics12102398.
- 17) Kawaharada M, Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Chan NN, Funayama A, Uenoyama A, Akimori T, Tomihara K, Tanuma JI. Clinicopathologic factors influencing the screening accuracy of oral cytology: A retrospective cohort study. *Oncol Lett*. 2022 Sep 15;24(5):385. doi: 10.3892/ol.2022.13505.
- 18) Akyu-Takei R, Tomihara K, Yamazaki M Y, Moniruzzaman R, Heshiki W, Sekido K, Tachinami H, Sakurai K, Yonesi A, Imaue S, Fujiwara K, Noguchi M. Corrigendum to 'Protumor role of estrogen receptor expression in oral squamous cell carcinoma cells.' *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol* 2022 Aug;134(2):271-272. doi: 10.1016/j.oooo.2022.04.046.
- 19) Akbar M, Ruslin M, Yusuf ASH, Boffano P, Tomihara K, Forouzanfar T. Unusual generalized tetanus evolving from odontogenic infection: A case report and review of

recent literature. Heliyon. 2022 Sep 28;8(9) : e 10810. doi: 10.1016/j.heliyon. 2022.e10810.

- 20) Kajihara R, Yamada S, Hasegawa T, Yoshimura H, Tachinami H, Tomihara K, Hasegawa O, Sumiyo H, Ueda N, Okamoto K, Soutome S, Denda Y, Miyakoshi M, Matsuzawa K, Kondo E, Kitagawa Y, Chikazu D, Ota Y, Shibuya Y, Akashi M, Matsumura T, Umeda M, Kirita T, Noguchi M, Kurita H. Perioperative bridging anticoagulation in patients with oral cancer surgery: a multicenter retrospective study. J Oral Maxillofac Surg Med Pathol. 2022 Nov 34(6):734-739.
- 21) 鶴巻 浩, 木口哲郎, 池田由香, 松本友恵, 竹田彩加, 本間心海: 人工関節置換術患者における周術期口腔機能管理についての実態調査. 日本口腔ケア学会誌 17 (1): 40-45, 2022.
- 22) Yamakawa N, Umeda M, Yoshii Y, Mitsudo K, Noguchi M, Kusakawa J, Katakura A, Nakayama H, Sasaki M, Noguchi T, Ueda M, Bukawa H, Yagihara K, Horie A, Miyazaki A, Chikazu D, Tomihara K, Mishima K, Otsuru M, Asoda S, Fujiwara S, Ohyama Y, Kurita H, Kawamata H, Fukuda M, Shintani Y, Kobayashi T, Kanno T, Oh-Iwa I, Kawano K, Yamashita Y, Kobayashi W, Ohiro Y, Uzawa K, Ota Y, Kirita T. Multicenter retrospective study of nivolumab for recurrent/metastatic oral squamous cell carcinoma. Oral Dis. 2022 Dec 15. doi: 10.1111/odi.14471.
- 23) Hirai H, Kayamori K, Noji R, Kuroshima T, Ikeda T, Harada H : A rare case of solitary intraoral superficial angiomyxoma arising in the soft palate. J Oral Sci 65:69-71, 2023 doi : <https://doi.org/10.2334/josnusd.22-0334>
- 24) Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Kato Y, Kano H, Sumita Y, Tomihara K, Tanuma JI. Liquid-based cytology for differentiating two cases of pemphigus vulgaris from oral squamous cell carcinoma. Diagnostic Cytopathology 2023 Feb 10. doi: 10.1002/dc.25117.

【研究費獲得】

(継続)

- 1) 新垣元基: 超音波エラストグラフィとドプラ画像による舌癌進展範囲の評価法の確立. 令和 3-6 年度 日本科学振興会科学研究費補助金, 若手研究, 計 2,600 千円. 21K17110.
- 2) 平井秀明: ゲノム検査を用いた口腔多発癌症例の特異的遺伝子変異の解析. 令和 3-5 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 計 3,900 千円, 21K10134.
- 3) 永井孝宏: 顔面形成における細胞増殖活性の制御

機構の解明. 令和 4-5 年度 日本科学振興会科学研究費補助金, 若手研究, 計 3,600 千円. 22K17153.

- 4) 齋藤夕子: 口腔粘膜上皮細胞と線維芽細胞から成る 2 層性自家培養口腔粘膜の開発. 令和 4-6 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 計 3,200 千円. 22K10016
- 5) 上野山敦士: 角膜疾患治療に用いる口腔粘膜上皮細胞シートの特性解析と品質評価への応用展開. 令和 4-5 年度 日本学術振興会科学研究補助金. 若手研究, 計 3,500 千円.
- 6) 富原 圭: 腫瘍関連免疫抑制性細胞を標的とした口腔癌に対する新たな免疫学的アプローチの研究. 令和 4-6 年度 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 計 4,950 千円.
- 7) 永田昌毅: 培養骨膜細胞の機能性移植基材としての RGD ペプチドおよび DBM の有効性解析. 令和 4-6 年度 日本学術振興会科学研究補助金. 基盤研究(C), 計 4,160 千円 22K10033

(新規)

- 1) 隅田賢正: 若年性口腔扁平上皮癌組織の mRNA シーケンシングによるドライバー遺伝子の探索. 令和 5-7 年度 日本学術振興会科学研究補助金. 若手, 計 3,500 千円.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 黒川 亮: 癌化学療法患者の口腔粘膜炎予防対策-病院・アカデミア連携で取り組む口腔支持療法-, 第 15 回日本緩和医療薬学会年会 シンポジウム, 口腔粘膜炎対策における現状—免疫チェックポイント阻害薬を中心に—Web 2022 年 5 月 13 日
- 2) 永田昌毅: 培養自家骨膜細胞による顎骨再生 —歯科再生医療実用化の取り組み— 第 66 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会 シンポジウム 11 「再生医療実用化の最新動向」 2022 年 11 月 14 日 千葉市
- 3) 吉田謙介: マウスモニタリングを始めよう〜がん患者に必要な口腔ケア〜, 日本臨床腫瘍薬学会学術大会 2023 シンポジウム, ハイブリッド 2023 年 3 月 4-5 日, 名古屋
- 4) 吉田謙介: 多施設共同で取り組むがん化学療法患者の口腔粘膜炎対策〜TAKT 研究の成果〜(仮), 関東ブロック学術大会 2023 シンポジウム, ハイブリッド 2023 年 8 月 26-27 日, 新潟
- 5) Tomihara K. Immunotherapy in oral cancer: Current state and future perspective of checkpoint inhibitors. International Collaborative Symposium on Development

of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2023. Web, February 11, 2023.

- 6) Tomihara K. Immunotherapy in oral cancer. Current state and future perspective of checkpoint inhibitors. The 12th International Scientific Meeting in Dentistry (TIKKG) in conjunction with the 8th International Conference on Biophysical Technology in Dentistry (ICoBTD). Makassar, Indonesia, March 17, 2023.

【学会発表】

- 1) 笠原 映, 永田昌毅, 小林太一, 山田 葵, 小川 信, 勝見祐二, 永井孝宏, 富原 圭: 培養自家骨膜細胞移植を用いた上顎洞挙上術における歯槽骨再生の評価法としての三次元 CT 画像解析システムの有用性. 第 76 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, ハイブリッド(福岡), 2022 年 4 月 22-23 日
- 2) 内藤絵里子, 小林亮太, 羽賀健太, 齋藤夕子, 山崎 学, 田沼順一, 井川和代, 富原 圭, 泉 健次: 正常口腔粘膜細胞と口腔癌細胞を用いた 3 次元 in vitro モデル作製法とその応用. 第 76 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, ハイブリッド(福岡), 2022 年 4 月 22-23 日
- 3) Yonese Amirmoezz, 富原 圭, 高塚団貴, 立浪秀剛, 高市真由, 櫻井航太郎, Younesi Jadidi Amirreza, 野口 誠. Rapamycin induces phenotypic alternations of oral cancer cells that facilitate antitumor T cell response. 第 76 回日本口腔科学会学術集塊; 2022 年 4 月 21-23 日: 福岡 (オンライン)
- 4) 高塚団貴, 立浪秀剛, 大内 峻, 藤原久美子, 富原圭, 野口 誠. AI を用いた下顎第三大臼歯抜歯に伴うオトガイ神経障害のハイリスク CT 所見の解析. 76 回日本口腔科学会学術集会; 2022 年 4 月 21-23 日; 福岡(オンライン).
- 5) 黒川 亮, 新美奏恵, 曾我麻里恵, 佐久間英伸, 富原 圭, 佐藤由美子, 田中恵子, 石山菜祐佳, 植木麻有子, 小林正治: 新潟大学医歯学総合病院における免疫チェックポイント阻害薬の使用と免疫関連有害事象の口腔領域への発症状況について. 第 19 回日本口腔ケア学会総会・学術大会, ハイブリット(大阪), 2022 年 4 月 23-24 日
- 6) Kurokawa A, Niimi K, Soga M, Sakuma H, Tomihara K, Sato Y, Tanaka K, Ishiyama M, Ueki M, Kobayashi T: Usages of immune checkpoint inhibitors and the onset of oral irAE at the Niigata University Medical and Dental Hospital. The 2nd Annual Meeting of the International Society of Oral Care. Osaka, April 23-24, 2022.
- 7) 高木律男: スペシャリストに聞く口腔ケア; 衛生士、看護師が知っておくこと: 口唇口蓋裂患者の口腔管理. 第 19 回日本口腔ケア学会、大阪、2022 年 4 月 24 日.
- 8) 曾我麻里恵, 新美奏恵, 黒川 亮, 田中恵子, 石山菜祐佳, 小林正治: 周術期口腔機能管理に伴う口腔衛生状態の変化と術後合併症の発生状況. 第 31 回日本有病者歯科医療学会学術大会, ハイブリッド(沖縄), 2022 年 4 月 30 日-5 月 1 日
- 9) 児玉泰光, 結城龍太郎, 小林亮太, 山田茜, 永井孝宏, 大湊麗, 池田順行, 市川佳弥, 丹原惇, 齋藤功, 富原圭: 三次元デジタル画像を用いた片側性唇顎口蓋裂患児の咬合評価に関する予備的研究. 第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市, 2022 年 5 月 26-27 日.
- 10) 若槻華子, 宮田昌幸, 児玉泰光, 小林正治: 紹介患者の口唇裂二次修正手術. 第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市, 2022 年 5 月 26-27 日.
- 11) 宮田昌幸, 若槻華子, 親松宏, 児玉泰光, 小林正治: 唇裂外鼻修正に用いる肋軟骨の彎曲変形をいかに防ぐか. 第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市, 2022 年 5 月 26-27 日.
- 12) 大湊 麗, 小野和宏, 児玉泰光, 濃野要, 飯田明彦, 高木律男, 富原圭: 二段階口蓋形成手術法における軟口蓋形成術後の後方裂幅と幼児期前期の言語機能の関連. 第 46 回日本口蓋裂学会総会学術集会, WEB 開催, 2022 年 5 月 26-27 日. 第 46 回日本口蓋裂学会総会学術集会
- 13) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原惇, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤功: 新潟大学医歯学総合病院において PNAM 治療を行った片側性口唇口蓋裂児における外鼻形態変化の長期的評価. 第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市, 2022 年 5 月 26-27 日.
- 14) 祁君容, 児玉泰光, 池田順行, 永井孝宏, 小林亮太, 富原圭: 下顎頭過形成による顎変形と咬合不全に対し下顎頭切除術と sliding vertical-ramus osteotomy を行った 1 例. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会. 新潟市. 2022 年 6 月 9-10 日
- 15) Ominato R, Ono K, Nohno K, Kodama Y, Iida A, Takagi R, Tomihara K: The relationship between backed articulation and posterior edge of the residual cleft in two-stage palatoplasty. 14th International congress of cleft lip, palate and related craniofacial anomalies. Edinburgh, Scotland, UK (virtual event), July 11-15, 2022.
- 16) Takagi R, Kodama Y, Iida S, Inoue N, Kobayashi S, Sakai T, Susami T, Suda N, Nakamura N, Miyawaki T, Kogo M: Clinical characteristics of the patients with

- cleft lip and/or palate in Japanese Cleft Palate Association. 14th International Congress on Cleft Palate and Related Craniofacial Anomalies. Edinburgh, Scotland, UK (virtual event). July 11-15, 2022.
- 17) 隅田賢正, 勝見祐二, 富原 圭: 腺扁平上皮癌として再発した下顎歯肉原発扁平上皮癌の1例. 第46回頭頸部癌学会, 奈良市, 2022年6月17-18日. 第46回頭頸部癌学会抄録集 225頁, 2022.
 - 18) 勝良剛詞, 山崎恵介, 吉田謙介, 曾我麻里恵, 田中雄介, 植木雄志, 正道隆介, 高橋剛史, 小林太一, 高村真貴, 林孝文: 頭頸部化学放射線治療におけるエピシル口腔用液の予防的使用の有効性に関する前向き観察研究. 第46回日本頭頸部癌学会Web, 2022年6月17-18日
 - 19) 池田順行, 上野山敦士, 高嶋真樹子, 山崎裕太, 松崎奈々香, 高田 翔, 荒井良明, 西山秀昌, 高木律男, 富原 圭. 外耳道内にも腫脹を伴った非感染性顎関節炎の1例. 第35回日本顎関節学会総会学術大会, 札幌市, 2022年7月2-3日. 日本顎関節学会雑誌第34巻 第35回大会特別号 148頁, 2022.
 - 20) 齋藤夕子, 池田順行, 大石章寛, 隅田賢正, 永井孝宏, 上野山敦士, 児玉泰光, 富原 圭: 口腔内腫瘍からの出血を契機に汎血球減少症と診断された1例. 第60回特定非営利活動法人日本口腔科学会北日本地方部会・第48回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 札幌市, 2022年7月9-10日. 第60回特定非営利活動法人日本口腔科学会北日本地方部会・第48回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会抄録集 69頁, 2022.
 - 21) 山田 茜, 飯田明彦, 小林孝憲, 成松花弥: 関節突起を含む小児下顎骨多発骨折の2例. 第60回特定非営利活動法人日本口腔科学会北日本地方部会・第48回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 札幌市, 2022年7月9-10日.
 - 22) 園辺 悠, 隅田賢正, 池田順行, 林 孝文, 富原 圭. 歯性炎症が重症化し, 側頭筋の壊死性筋膜炎を呈した一例. 第60回特定非営利活動法人日本口腔科学会北日本地方部会・第48回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 札幌市, 2022年7月9-10日. 第60回特定非営利活動法人日本口腔科学会北日本地方部会・第48回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会抄録集 65頁, 2022.
 - 23) Tomihara K. Peripheral blood neutrophil count predicts the efficacy of immunotherapy in oral cancer. 12th Annual Conference and Joint Scientific Meeting of NAOMS and JCOMS. Kathmandu, Nepal, (hybrid). July 16, 2022.
 - 24) 園辺 悠, 伊藤元貴, 照沼美穂 口腔扁平上皮癌における TOFA による細胞接着阻害のメカニズム. 第62回新潟生化学懇話会, 新潟, 2022年7月16日 第62回新潟生化学懇話会要旨集 24頁, 2022.
 - 25) 山田 葵, 永田昌毅, 永井孝宏, 都野隆博, 中田光, 富原 圭: 培養自家骨膜細胞移植を用いた顎口腔領域における再生医療. 関東形成外科学会・第112回新潟地方会, 新潟. 2022年7月22日.
 - 26) 齋藤千愛, 吉田謙介, 児玉泰光, 富原 圭, 外山聡: 下顎埋伏智歯抜歯の術前単回投与群と3回投与群の比較による感染予防効果に関する検討. 第32回日本医療薬学会年会. 高崎. 2022年9月25日.
 - 27) 立浪秀剛, 富原 圭, 山田慎一, 宮崎晃亘, 林龍二, 野口 誠. 口腔扁平上皮癌に対するニボルマブの効果予測における好中球・リンパ球数比(NLR)の有用性に関する検討. 第81回日本癌学会学術総会; 神奈川. 2022年9月29日~10月1日.
 - 28) 高市真由, 櫻井航太郎, 立浪秀剛, 高塚団貴, 富原圭, 高塚団貴, 山田慎一, 野口 誠. 口腔がんにおける脂質代謝を介した免疫抑制機能の解析. 第67回日本口腔科学会学術集会; 千葉. 2022年11月4-6日.
 - 29) 高塚団貴, 立浪秀剛, 富原 圭, 池田篤司, 今上修一, 藤原久美子, 山田慎一, 野口 誠. ニボルマブ投与後に救済化学療法が奏功した舌癌の2例. 第67回日本口腔科学会学術集会; 千葉. 2022年11月4-6日.
 - 30) 上野山敦士, 児玉泰光, 池田順行, 永井孝宏, 隅田賢正, 山田 茜, 富原 圭: 当科における小児顎顔面口腔外傷の臨床的検討. 第34回日本小児口腔外科学会総会・学術大会, 港区, 2022年10月22-23日.
 - 31) 齋藤夕子, 黒川 亮, 大石章寛, 富原 圭: 口腔内多発血腫を契機に *Helicobacter pylori* 菌感染による急性ITPと診断された1例. 第67回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉市, 2022年11月4-6日. 第67回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会抄録集 59頁, 2022.
 - 32) 木口哲郎, 児玉泰光, 曾東洋平, 新垣元基, 隅田賢正, 富原 圭: 内側腓腹動脈穿通枝皮弁(MSAP flap)による舌口底再建術を行った舌癌の1例. 第67回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉市, 2022年11月4-6日.
 - 33) 内藤絵里子, 高田 翔, 羽賀健太, Orakarn Suebsamarn, 小林亮太, 鈴木絢子, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭, 泉 健次: 口腔癌および口腔粘膜3次元in vitro モデルに対する重粒子線照射の影響に関する研究—異種放射線治療評価の標準化システムの

構築一，令和4年度新潟歯学会第2回例会，新潟市，2022年11月12日。

- 34) 小林亮太，佐藤大祐，Orakarn Suebsamarn，内藤絵里子，干川絵美，鈴木絢子，富原 圭，泉 健次：ヒト培養口腔粘膜上皮角化細胞の運動/増殖能を制御/調節する分子基盤の解明，令和4年度新潟歯学会第2回例会，新潟。2022年11月12日。
- 35) 成松花弥，飯田明彦，小林孝憲，上野山敦士，永井孝宏，隅田賢正，木口哲郎，結城龍太郎，山田 茜，笠原 映：最近10年間における長岡赤十字病院歯科口腔外科新患患者の臨床統計的検討。令和4年度新潟歯学会第2回例会，新潟市，2022年11月12日。
- 36) 永井孝宏，笠原 映，山田 葵，永田昌毅，富原 圭：当科における培養自家骨膜細胞移植を用いた上顎洞定挙手術，第26回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会，ハイブリッド(東京)，2022年11月26-27日。第26回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会プログラム・抄録集241頁，2022。
- 37) 木口哲郎，隅田賢正，阿部達也，林 孝文，田沼順一，富原 圭：頸部再発に対してニボルマブを使用した若年者舌癌の1例。第41回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会，Web開催，2023年1月26日～2月28日。
- 38) 勝見祐二，星名秀行，鶴巻 浩，富原 圭：口蓋正中粘膜を用いた顎堤形成術の臨床的検討。第26回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会，ハイブリッド(東京)，2022年11月26-27日。
- 39) 鶴巻 浩，児玉泰光，勝見祐二：後期高齢者におけるインプラント埋入手術の実態調査。第26回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会，ハイブリッド(東京)，2022年11月26-27日。
- 40) Tomihara K, Imaue S, Tachinami H, Noguchi M. Salvage therapy for immunotherapy-refractory oral cancer with combination chemotherapy. 13th Joint Scientific Meeting of Nepal Association of Oral and Maxillofacial Surgeons (NAOMS) and Japanese Society of Oral and Maxillofacial Surgeons (JSOMS) and PG Convention. Dharan, Nepal. February 4, 2023.

【研究会発表】

- 1) 木口哲郎：若年者に認めた再発・頸部転移を繰り返した舌癌の1例，第88回新潟口腔外科麻酔科集談会，Web。2022年5月19日。
- 2) 隅田賢正：糖尿病と適応障害により周術期管理に難渋した若年者舌癌の1例，第89回新潟口腔外科麻酔科集談会，Web。2022年11月17日。

【その他】

- 1) 高木律男：2022新潟県歯科医師会歯科助手講習会「特殊歯科（障がい者・高齢者・有病者）」2022年5月22日、新潟市（Web）。
- 2) 高木律男：医療安全セミナー(WEB) 歯科診療における院内感染防止対策の推進：令和4年度診療報酬改定を受けて。エビデンスに基づく一般診療における院内感染対策。新潟市、2022年6月26日。新潟県歯科医師会館より。
- 3) 高木律男：令和4年度 北関東甲信越ブロック HIV感染者の歯科医療情報交換会「HIV感染症の医療体制整備に向けて—口腔環境の見直しと開業歯科医院での対応—」（企画），「北関東甲信越ブロック情報交換会10年間の歩みと今後に向けて」（講演），新潟市（Web）。2022年10月30日（11/6までWeb配信）。
- 4) 高木律男：顎関節症への初期対応。北2班講習会、新潟市。2022年12月7日。
- 5) 富原 圭：こんな症状も口腔がんです。新潟県歯科医師会 口腔がん（口腔粘膜疾患）研修会 WEB。2022年3月 web配信
- 6) 富原 圭：障害のある患者さんの口腔外科。公益社団法人日本小児歯科学会2022年度専門医セミナー。富山市。2022年10月10日
- 7) 富原 圭：（教育講演）がん治療における口腔機能管理の現状と展望。第17回 新潟口腔ケア研究会 オンデマンド配信：2022年11月20日～12月10日

口腔解剖学分野

【論文】

- 1) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A: Ift88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. *Oral Dis* In Press.
- 2) Kantaputra P, Jatooatthawichot P, Adisornkanj P, Kitsadayurach P, Kaewgahya M, Olsen B, Ohazama A, Ngamphiw C, Tongsimas S, Cox TC, Cairns JRK. Rare variants in LRP4 are associated with mesiodens, root maldevelopment, and oral exostoses in humans. *Biology* (Basel). In Press.
- 3) Kantaputra P, Butali A, Eliason S, Chalkley C, Nakornchai S, Bongkochwilawan C, Kawasaki K, Kumchiang A, Ngamphiw C, Tongsimas S, Ketudat Cairns JR, Olsen B, Intachai W, Ohazama A, Tucker AS, Amendt BA.

CACNA1S mutation-associated dental anomalies: A calcium channelopathy. *Oral Dis.* In Press.

- 4) Kantaputra P, Niramol Leelaadisorn, Athiwat Hatsadaloi, Natalina Quarto, Worrachet Intachai, Sissades Tongsimma, Katsushige Kawasaki, Atsushi Ohazama, Chumpol Ngamphiw, Paswach Wiriyakijja. A mutation in CACNA1S results in impaired calcium homeostasis and dental anomalies. *Diagnostics.* In Press.

【研究費獲得】

- 1) 大峽 淳, 前田健康, 川崎真依子: 代生歯の形成・維持メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的研究(萌芽), 21K19591, 2022.
- 2) 大峽 淳, 川崎真依子: 皮膚の付属器官発生における老化活性の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B), 課題番号 21H03122, 2022.
- 3) 川崎 真依子, 大峽 淳, 川崎勝盛: 顎顔面領域におけるシグナル経路のクロストークと一次線毛との関わりについて. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 17K11829, 2022.
- 4) 川崎勝盛, 大峽 淳: 上顎正中過剰歯の発生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10182, 2022.
- 5) 石田陽子, 川崎勝盛, 大峽 淳: 下顎骨形成メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 21K10088, 2022.
- 6) 丹原 惇, 大峽 淳, 川崎真依子, 川崎勝盛: 舌誘導メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(C), 20K10156, 2022.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 大峽 淳: 形作りの原理を紐解く〜形や数の異常の理解〜/新潟大学歯学部同窓会, Zoom, 2022 年 4 月 23 日
- 2) 川崎勝盛: 顎顔面の発生過程における一次線毛の機能解明, 新潟, 第 5 回共用設備基盤センターシンポジウム, 2022 年 10 月 18 日
- 3) 大峽 淳: 胎生期の器官形成におけるストレスの解明, 第 11 回知の広場サイエンスセミナー, Zoom, 2023 年 1 月 19 日

【学会発表】

- 1) 工藤武久, 丹原惇, 北村円, 大峽淳, 齋藤功: Ifit8 は Shh シグナル経路を介してエナメル形成を調節する, 第 37 回 甲北信越矯正歯科学会学術大会 2022 年 6 月 26 日, 新潟

口腔生理学分野

【著 書】

- 1) 山村健介 咀嚼の本 3 噛むことの大切さを再認識しよう p41, 82. 口腔保健協会, 東京, 2022.
- 2) 岡本圭一郎 令和 4 年度版出題基準 歯科衛生士国家試験ポイントチェック 1 p14-69, p103-112. 医歯薬出版, 東京, 2022.

【論 文】

- 1) Mana Hasegawa, Kajita Piriyaprasath, Masanori Otake, Rantaro Kamimura, Isao Saito, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto. Effect of daily treadmill running exercise on masseter muscle nociception associated with social defeat stress in mice European J Oral Sciences 130(4) e12882 2022.
- 2) 計良倫子, 堀 一浩, 小野高裕, 江川広子, 山村健介: 日常的なガム咀嚼トレーニングが若年者の咀嚼機能および咀嚼行動に及ぼす影響. 日本咀嚼学会雑誌 32 (2): 1-10, 2022.

【商業誌】

- 1) 長谷川真奈, 岡本圭一郎, Kajita Piriyaprasath, 藤井規孝, 山村健介: エクササイズは顎顔面部の慢性痛を軽減する? 歯界展望 140(2): 217-220, 医歯薬出版, 東京, 2022.

【研究費獲得】

- 1) 山村健介, 黒瀬雅之, 内山美枝子, 佐藤大祐, 岡本圭一郎, 新井映子, 小林琢也: 認知症高齢者の包括的な食支援モデルの構築. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 22H03375, 2022-2025.

【学会発表】

- 1) Kajita Piriyaprasath, Mana Hasegawa, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto ストレス伝染はマウスの咬筋侵害応答を増大する. 第 100 回日本生理学会 (京都) 2023 年 3 月 15 日.
- 2) Jorge Saez Chandia, Keiichiro Okamoto, Mayumi Taiyoji, Kotaro Aihara, Atsushi Kurahashi, Kazuya Kodaira, Kensuke Yamamura, Takafumi Hayashi, Yoshito kakahara Effect of Sake lees (sake-kasu) on osteoblastic differentiation and bone metabolism. 日本農芸化学会 2023 (Web) 2023 年 3 月 14 日.
- 3) Yuhei Tsutsui, Takanori Tsujimura, Kajita Piriyaprasath, Titi Chotirungsan, Jin Magara, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura, Takeyasu Maeda, Makoto Inoue

Activation of posterior belly of digastric muscle during swallowing. 31st Dysphagia Research Society Annual Meeting. (San Francisco, USA) 2023 年 3 月 15 日.

- 4) Yuhei Tsutsui, Titi Chotirungsan, Satomi Kawada, Kajita Piriyaprasath, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura, Makoto Inoue. Functional role of posterior belly of digastric muscle in swallowing in the rat. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市) 2022 年 9 月 23 日
- 5) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 嶋田総太郎, 長谷川陽子, 吉村 将悟, サンタマリア マリアテリース, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 意図的に嚥むことの習慣化による、咀嚼に関連する前頭前野の活動の促進. NEURO2022 (沖縄コンベンションセンター), 沖縄 2022 年 6 月 30 日.
- 6) 吉岡望, 黒瀬雅之, 佐野裕美, 知見聡美, 山村健介, 南部篤, 竹林浩秀: dystonia musculorum マウスの運動異常における感覚運動回路の役割. NEURO2022 (宜野湾市民体育館), 沖縄 2022 年 7 月 1 日.
- 7) 山村健介: 生理学からみた咀嚼. 日本咀嚼学会学術講演会 2022 (日本歯科大学), 東京, 2022 年 12 月 3 日.
- 8) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 嶋田総太郎, 長谷川陽子, 吉村 将悟, サンタマリア マリアテリース, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 咀嚼行動の習慣化が若年者の認知課題関連脳活動に与える効果の検討. 生体医工学シンポジウム 2022 (オンライン) 2022 年 9 月 10 日.
- 9) Tatsuya Suzuki, Yukina Miyazaki, Ryo Takehara, Sotaro Shimada, Yoko Hasegawa, Syogo Yoshimura, Ma Therese Sta. Maria, Kensuke Yamamura, Takahiro Ono, Yumie Ono: Evaluation of systemic artifact removal methods for functional near-infrared spectroscopy signals. 生体医工学シンポジウム 2022 (オンライン) 2022 年 9 月 10 日.
- 10) 新沼小百合, 森川和政, 熊谷美保, 山村健介, 黒瀬雅之: 在宅での使用を念頭においた多軸触圧センサを活用した小型粘度計開発, 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 第 33 回学術大会, 徳島, 2022 年 10 月 1 日.
- 11) 長谷川陽子, 吉村将悟, 鈴木達也, 白水雅子, サンタマリアマリアテリース, 山村健介, 小野弓絵, 小野高裕: 摂取食品に対する情動変化が脳神経活動に与える影響. 日本顎口腔機能学会 第 68 回学術大会, 新潟, 2022 年 12 月 17 日.
- 12) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 嶋田総太郎, 長谷川陽子, 吉村将悟, サンタマリア マリアテリース,

堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 咀嚼機能の変容による認知機能と脳活動パターンの変化. 日本顎口腔機能学会 第 68 回学術大会, 新潟, 2022 年 12 月 17 日.

- 13) 鈴木達也, 宮崎透奈, 長谷川陽子, 吉村将悟, サンタマリア マリアテリース, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 近赤外分光法を用いたガム咀嚼課題中の脳血流計測および皮膚血流ノイズ除去手法の評価. 日本顎口腔機能学会 第 68 回学術大会, 新潟, 2022 年 12 月 17 日.

【その他】

- 1) 山村健介: 咀嚼をつかさどる脳と身体のしくみ. 日本咀嚼学会 第 22 回健康咀嚼指導士認定研修会 (オンライン) 2022 年 7 月 13 日~7 月 27 日.
- 2) 岡本圭一郎: 新潟発・生活習慣の工夫による健康増進法. 大阪大学・歯学部大学院特別講義 大阪 2023 年 2 月 3 日.
- 3) 岡本圭一郎: 米由来食品でストレスを解消する令和 4 年度後期 新潟大学公開講座 新潟市 2022 年 11 月 12 日.
- 4) 岡本圭一郎: 百薬の長「日本酒」のヒミツ. 令和 4 年度「そのき市民学級 人生百年時代 賢く生きる」新潟市 2022 年 10 月 5 日.

口腔生化学分野

【論文】

- 1) Komatsu A, Iida I, Nasu Y, Ito G, Harada F, Kishikawa S, Moss SJ, Maeda T, Terunuma M. Ammonia induces amyloidogenesis in astrocytes by promoting amyloid precursor protein translocation into the endoplasmic reticulum. *J. Biol. Chem.* 2022 May; 298(5):101933.
- 2) Chen X, Ravindra Kumar S, Adams CD, Yang D, Wang T, Wolfe DA, Arokiaraj CM, Ngo V, Campos LJ, Griffiths JA, Ichiki T, Mazmanian SK, Osborne PB, Keast JR, Miller CT, Fox AS, Chiu IM, Gradinaru V: Engineered AAVs for non-invasive gene delivery to rodent and non-human primate nervous systems. *Neuron.* 2022 Jul; 110(14): 2242-2257.
- 3) Ibano N, Inada E, Otake S, Kiyokawa Y, Sakata K, Sato M, Kubota N, Noguchi H, Iwase Y, Murakami T, Sawami T, Kakiyama Y, Maeda T, Terunuma M, Terao Y, Saitoh I. The Role of Genetically Modified Human Feeder Cells in Maintaining the Integrity of Primary Cultured Human Deciduous Dental Pulp Cells. *J. Clin. Med.* 2022 Oct;

11(20):6087.

- 4) 堀岡伸彦、關奈央子、河野文昭、照沼美穂、平田創一郎、長谷川篤司、田口則宏：モデル・コア・カリキュラム改訂。日本歯科医学教育学会雑誌，第38巻第3号，2022.

【商業誌】

- 1) 市木貴子，岡勇輝：消化管における飲水感知メカニズムの解明。実験医学，40(9) 6月号，1436-1439頁，羊土社，2022.

【研究費獲得】

- 1) 照沼美穂：歯周病原細菌としての精神疾患発症機構の解明。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B)，21H03109.
- 2) 照沼美穂：新たな不安発症の分子基盤解明のための日丁共同研究。日本学術振興会科学研究費基金国際共同研究強化(B)，22KK0140.
- 3) 市木貴子：神経系による飲水抑制機構の解明。日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援，21K20685.
- 4) 市木貴子：迷走神経による低浸透圧感知メカニズムの解明。日本学術振興会科学研究費基金 若手研究，22K15223.
- 5) 那須優介：歯周病原細菌感染症による脳内・脳機能変化の解析。新潟大学 未来のライフ・イノベーションを創出するフロンティア育成プロジェクト。J21H0032.
- 6) 那須優介：歯周病原細菌感染症による脳内・脳機能変化の解析。新潟大学令和4年度Ugo Grant支援研究費。J21H0032.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 照沼美穂：海外と日本で研究室を主催して見えてきたもの。Neuro2022（日本神経化学会、日本神経科学会、日本神経回路学会合同大会）若手育成セミナー，沖縄県那覇市，2022年6月29日-30日.
- 2) 照沼美穂：歯学教育モデル・コア・カリキュラム 基礎系領域の改訂のポイント，第41回日本歯科医学教育学会学術大会（オンライン形式），2022年7月23日.
- 3) Miho Terunuma: New era of basic science in Dentistry - Importance of nutrition research-, 5th DENTISPHERE, Indonesia Surabaya, 2022.9.3-9.4.
- 4) 照沼美穂：歯学モデル・コア・カリキュラム改訂における基礎系の変更点。第64回歯科基礎医学会学術大会，徳島県徳島市，2022年9月17日-19日.
- 5) 照沼美穂：神経伝達物質の制御から精神・神経疾患

を読み解く。第8回沖縄県パーキンソン病講演会，沖縄県那覇市，2022年10月21日.

- 6) 照沼美穂：栄養と脳。第4回オーラルサイエンス研究会，長野県松本市，2022年11月13日.
- 7) 市木貴子：消化管における低浸透圧感知メカニズム。第6回感覚フロンティア研究会シンポジウム，大阪（ハイブリット開催），2022年10月8日.
- 8) 市木貴子：迷走神経による消化管内の浸透圧感知メカニズム Sensing mechanisms of gut osmolality in the vagus nerve. 日本生理学会 第100回記念大会，京都，2023年3月16日.

【学会発表】

- 1) 那須優介、今井真実子、横山望実、照沼美穂：アストロサイトにおけるグルタミン合成酵素の発現はHippo-YAP シグナル伝達経路によって制御される。NEURO2022（第45回日本神経科学大会／第65回日本神経化学会大会／第32回日本神経回路学会大会），沖縄，2022年6月30日-7月3日，プログラムおよび講演抄録集：1090頁，2022.
- 2) 那須優介、多部田康一、照沼美穂：マウスを用いた歯周病原細菌性菌血症がもたらす脳内変化の解析。第62回新潟生化学懇話会，新潟，2022年7月16日.
- 3) 那須優介、照沼美穂：アストロサイトのグルタミン合成酵素の発現制御システムの解析。第95回日本生化学会大会，名古屋，2022年11月9日-11日.
- 4) 天谷 吉宏、中井 俊樹：HeLa細胞で安定発現する副甲状腺ホルモン関連ペプチド-EGFP融合タンパク質が有糸分裂停止による細胞死に及ぼす影響。第95回日本生化学会大会，名古屋，2022年11月9日-11日.
- 5) 今井真実子、横山望実、那須優介、飯田和泉、照沼美穂：NH₄Cl 摂取マウスの脳高次機能の解析～アンモニア蓄積がもたらす脳への影響～，第62回新潟生化学懇話会，新潟，2022年7月16日.
- 6) 園辺 悠、伊藤元貴、照沼美穂：口腔扁平上皮癌におけるTOFAによる細胞接着阻害のメカニズム，第62回新潟生化学懇話会，新潟，2022年7月16日.

【セミナー等】

- 1) 照沼美穂：Ammonia induces amyloidogenesis in astrocytes by promoting amyloid precursor protein translocation into the endoplasmic reticulum. オルガネラ研究会，新潟（オンライン形式）2022年05月27日.
- 2) 照沼美穂：脳の健康と食生活。新潟大学公開講座 人生100年時代に考える「食べることは元気のもと」。2022年10月22日.

【論文】

- 1) Inagaki K, Kikuchi T, Noguchi T, Mitani A, Naruse K, Matsubara T, Kawanami M, Negishi J, Furuichi Y, Nemoto E, Yamada S, Yoshie H, Tabeta K, Tomita S, Saito A, Katagiri S, Izumi Y, Nitta H, Iwata T, Numabe Y, Yamamoto M, Yoshinari N, Fujita T, Kurihara H, Nishimura F, Nagata T, Yumoto H, Naito T, Noguchi K, Ito K, Murakami S, Nishimura R, Tajima N: A large-scale observational study to investigate the current status of diabetic complications and their prevention in Japan (JDCP study 6): baseline dental and oral findings. *Diabetol Int* 12(1): 52-61, 2021.
- 2) Kaneko C, Kobayashi T, Ito S, Sugita N, Murasawa A, Ishikawa H, Tabeta K: Association among periodontitis severity, anti-agalactosyl immunoglobulin G titer, and the disease activity of rheumatoid arthritis. *J Periodontal Res* 56(4):702-709, 2021.
- 3) Tamura H, Maekawa T, Domon H, Hiyoshi T, Hirayama S, Isono T, Sasagawa K, Yonezawa D, Takahashi N, Oda M, Maeda T, Tabeta K, Terao Y: Effects of erythromycin on osteoclasts and bone resorption via DEL-1 induction in mice. *Antibiotics* 10(3): 312, 2021.
- 4) Hoshikawa E, Sato T, Haga K, Suzuki A, Kobayashi R, Tabeta K, Izumi K: Cells/colony motion of oral keratinocytes determined by non-invasive and quantitative measurement using optical flow predicts epithelial regenerative capacity. *Sci Rep* 11(1): 10403, 2021.
- 5) Sato K, Yamazaki K, Kato T, Nakanishi Y, Tsuzuno T, Yokoji-Takeuchi M, Yamada-Hara M, Miura N, Okuda S, Ohno H, Yamazaki K: Obesity-related gut microbiota aggravates alveolar bone destruction in experimental periodontitis through elevation of uric acid. *mBio* 12(3): e0077121, 2021.
- 6) Mineo S, Takahashi N, Yamada-Hara M, Tsuzuno T, Aoki-Nonaka Y, Tabeta K: Rice bran-derived protein fractions enhance sulforaphane-induced anti-oxidative activity in gingival epithelial cells. *Arch Oral Biol* 129: 105215, 2021.
- 7) Domon H, Isono T, Hiyoshi T, Tamura H, Sasagawa K, Maekawa T, Hirayama S, Yanagihara K, Terao Y: Clarithromycin inhibits pneumolysin production via downregulation of *ply* gene transcription despite autolysis activation. *Microbiol Spectr* 9(2): e00318-21, 2021.
- 8) Yamazaki K, Kato T, Tsuboi Y, Miyauchi E, Suda W, Sato K, Nakajima M, Yokoji-Takeuchi M, Yamada-Hara M, Tsuzuno T, Matsugishi A, Takahashi N, Tabeta K, Miura N, Okuda S, Kikuchi J, Ohno H, Yamazaki K: Oral pathobiont-induced changes in gut microbiota aggravate the pathology of nonalcoholic fatty liver disease in mice. *Front Immunol* 12: 766170, 2021.
- 9) Takenaka S, Edanami N, Komatsu Y, Nagata R, Naksagoon T, Sotozono M, Ida T, Noiri Y: Periodontal pathogens inhabit root caries lesions extending beyond the gingival margin: a next-generation sequencing analysis. *Microorganisms* 9(11), 2349, 2021.
- 10) Haga K, Yamazaki M, Maruyama S, Kawaharada M, Suzuki A, Hoshikawa E, Chan NN, Funayama A, Mikami T, Kobayashi T, Izumi K, Tanuma JJ: Crosstalk between oral squamous cell carcinoma cells and cancer-associated fibroblasts via the TGF- β /SOX9 axis in cancer progression. *Transl Oncol* 14(12): 101236, 2021.
- 11) Sasagawa K, Domon H, Sakagami R, Hirayama S, Maekawa T, Isono T, Hiyoshi T, Tamura H, Takizawa F, Fukushima Y, Tabeta K, Terao Y: Matcha green tea exhibits bactericidal activity against *Streptococcus pneumoniae* and inhibits functional pneumolysin. *Antibiotics(Basel)* 10(12): 1550, 2021.
- 12) Yoshida N, Edanami N, Ohkura N, Maekawa T, Takahashi N, Tsuzuno T, Maeda T, Tabeta K, Izumi K, Noiri Y, Yoshida K: Laminin isoforms in human dental pulp: lymphatic vessels express laminin-332, and schwann cell-associated laminin-211 modulates CD163 expression of M2-like macrophages. *Immunohorizons* 5(12): 1008-1020, 2021.
- 13) Kato H, Ling Y, Hoshikawa E, Suzuki A, Haga K, Naito E, Uenoyama A, Okuda S, Izumi K: Detection of potential markers for lip vermilion epithelium in Japanese macaques based on the results of gene expression profile. *Anatomia* 1(1): 3-13, 2022.
- 14) 多部田康一, 野中由香莉: 歯周病の新分類から考える歯周病の検査・診断—動向と展望—. *新潟歯学会雑誌* 51(2), 1-8, 2021.

【商業誌】

- 1) 山崎恭子, 山崎和久: 特集 口腔環境と腸内環境の相互作用と健康への影響. *実験医学* 39(16): 2521-2526, 2021.

【研究費獲得】

- 1) 多部田康一(研究代表者): 口腸連関における大腸がんリスクとなる潜在的粘膜親和性 Pathobiont 検索. 日本学術振興会科学研究費基金 挑戦的萌芽研究,

21K19592, 2021.

- 2) 多部田康一 (研究代表者): フレイルと AMR の課題に対応する食品由来機能ペプチドを素材とした歯周病医薬開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 19H03829, 2021.
- 3) 多部田康一 (研究分担者): 歯周病原細菌感染症としての精神疾患発症機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 照沼美穂, 21H03109, 2021.
- 4) 多部田康一 (研究分担者): ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 堀 一浩, 21H03129, 2021.
- 5) 高橋直紀 (研究代表者): TRP チャネルタンパクによる自然免疫チューニング機構の解明と歯周炎治療への応用. 日本学術振興会科学研究費基金 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A)), 18KK0434, 2021.
- 6) 高橋直紀 (研究代表者): 口腔-腸管連関の新展開: 嚥下された歯周病原細菌は腸炎を悪化させるか?. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究(C), 19K10126, 2021.
- 7) 高橋直紀 (研究分担者): ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 研究代表者: 堀 一浩, 21H03129, 2021.
- 8) 小林哲夫 (研究代表者): 歯周炎による関節リウマチ発症・悪化機序の解明—自己抗体の機能的糖鎖修飾の関与—. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09891, 2021.
- 9) 杉田典子 (研究代表者): エネルギー代謝調節遺伝子 UCP は握力と歯周炎および全身疾患の関連性に関与する. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09871, 2021.
- 10) 野中由香莉 (研究代表者): ジペプチジルペプチダーゼを標的とした新規歯周病医薬開発. 日本学術振興会科学研究費基金 基盤研究(C), 21K09913, 2021.
- 11) 佐藤圭祐 (研究代表者): 長期徐放型 LDDS 製剤としての抗菌ペプチド含有ナノメディシンの機能評価. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 20K18502, 2021.
- 12) 原 実生 (研究代表者): ANGPTL4 による歯肉上皮系バリアシステム制御と創傷治癒に対する効果. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 20K18503, 2021.
- 13) 日吉 巧 (研究代表者): エラスターゼを標的とした歯周炎重症化機序の探索とその分子メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動ス

タート支援, 21K21058, 2021.

- 14) 日吉 巧 (研究代表者): オゾンナノ水を用いた医療と食の安全研究. 新潟大学 U-go グラント, 2021.
- 15) 都野隆博 (研究代表者): 歯周炎病態形成における上皮 TRP チャネルタンパクによるレドックス制御機構の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援, 21K21005, 2021.
- 16) 保苅崇大 (研究代表者): 高齢者における光治療応用はスクレーピング後菌血症による生体応答変化を防げるか?. 日本学術振興会科学研究費基金 若手研究, 19K19021, 2021.
- 17) 干川絵美 (研究代表者): 細胞品質が担保された再生医療に用いる口腔粘膜上皮細胞の効率的増殖法の確立. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援, 21K21080, 2021.
- 18) 山崎恭子 (研究代表者): 唾液細菌腸管移入モデルを用いたペリオドンタルメディスン病因機序の解明. 日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援, 21K21035, 2021.
- 19) 高見澤圭 (研究代表者): 骨格筋におけるエネルギー代謝調節分子を介した歯周炎抑制機能. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21059, 2021.
- 20) Hnin Yu Lwin (研究代表者): 大豆由来ペプチドのバイオフィルム制御能の解析. 公益財団法人 富徳会, 2021.

【講演・シンポジウム】

- 1) Takahashi N: Experimental animal model in periodontal research. 15th International Dental Collaboration of the Mekong River Region (IDCMR) Pre-conference workshops, Depok, Indonesia, Virtual meeting, August 19, 2021.
- 2) 多部田康一: 歯周病学・歯周治療学の現在と展望. 令和3年度 新潟歯学会 教授就任講演, 新潟, 2021年7月10日.
- 3) 多部田康一: 歯周病と歯周治療における近年の理解. 特別講演/学術研修会: 現代の歯科教育「保存学・補綴学 up-to-date」日本口腔科学会中部地方部会, web開催, 2021年10月31日~11月14日.
- 4) 多部田康一: 歯周病と歯周治療における近年の理解. 令和3年度学術講演会 (新潟県歯科医師会阿賀北地区学会), 新潟, 2021年12月11日.

【学会発表】

- 1) Mineo S, Takahashi N, Tsuzuno T, Aoki-Nonaka Y, Tabeta K: Antioxidant effect of food-derived peptide in human gingival epithelial cells. 99th General Session of

- the IADR, Virtual meeting, July 21-24, 2021.
- 2) Hnin Yu Lwin, Aoki-Nonaka Y, Matsugishi A, Tabeta K: Soybean peptide inhibits biofilm of periodontopathic bacteria via bactericidal activity. 99th General Session of the IADR. Virtual meeting, July 21-24, 2021.
 - 3) Nasu Y, Tabeta K, Terunuma M: Regulation of astrocytic glutamine synthetase expression through extracellular glutamine. Society for Neuroscience 2021 Annual Meeting, Virtual meeting, November 8-11, 2021.
 - 4) 磯野俊仁, 土門久哲, 前川知樹, 田村 光, 日吉 巧, 柳原克紀, 國友栄治, 寺尾 豊: 肺炎球菌性モデルマウスにおけるヒノキチオール気管内投与の効果. 第 94 回日本細菌学会総会, 岡山, 2021 年 3 月 23 ~25 日, プログラムおよび講演抄録集: 115 頁, 2021.
 - 5) 小林哲夫, 伊藤 聡, 村澤 章, 石川 肇: 関節リウマチ患者における歯周炎症表面積と好中球細胞外トラップ血清濃度および疾患活動度との関連. 第 65 回日本リウマチ学会総会・学術集会, web 開催, 神戸, 2021 年 4 月 26~28 日.
 - 6) 峯尾修平, 高橋直紀, 都野隆博, 野中由香莉, 多部田康一: ヒト歯肉上皮細胞における米糠由来ペプチドによる抗酸化作用の検証. 第 64 回春季日本歯周病学会学術大会, web 開催, 2021 年 5 月 21 日~6 月 22 日, プログラムおよび講演抄録集: 90 頁, 2021.
 - 7) 松岸 葵, 野中由香莉, Hnin Yu Lwin, 多部田康一: 大豆ペプチドは *Fusobacterium nucleatum* のバイオフィルム形成を阻害する. 第 64 回春季日本歯周病学会学術大会, web 開催, 2021 年 5 月 21 日~6 月 22 日, プログラムおよび講演抄録集: 105 頁, 2021.
 - 8) 両角俊哉, 野村義明, 福田光男, 花田信弘, 角田衣理加, 小林宏明, 三邊正人, 中村利明, 中山洋平, 西村英紀, 野口和行, 沼部幸博, 小方頼昌, 齋藤 淳, 佐藤 聡, 関野 愉, 菅野直之, 菅谷 勉, 鈴木史彦, 多部田康一, 高橋慶壮, 高井英樹, 高柴正悟, 梅田 誠, 吉江弘正, 吉村篤利, 吉成伸夫, 中川種昭: 歯周病評価における最適検査部位の選定ー項目反応理論 Graded response model の応用ー. 第 64 回春季日本歯周病学会学術大会, web 開催, 2021 年 5 月 21 日~6 月 22 日, プログラムおよび講演抄録集: 106 頁, 2021.
 - 9) 小松康高, 奥田一博, 多部田康一: Miller3 級歯肉退縮に対して結合組織移植術に Modified Coronally Advanced Tunnel Technique を併用した症例. 第 64 回春季日本歯周病学会学術大会, web 開催, 2021 年 5 月 21 日~6 月 22 日, プログラムおよび講演抄録集: 121 頁, 2021.
 - 10) 中島麻由佳, Samir Mitragotri1, 多部田康一: イオンジェルを用いた局所歯周治療法の開発研究. 第 154 回日本歯科保存学会 2021 年度春季学術大会, web 開催, 2021 年 6 月 10 日~23 日, プログラムおよび講演抄録集: 78 頁, 2021.
 - 11) Hnin Yu Lwin, 野中由香莉, 松岸 葵, 多部田康一: 大豆ペプチドは *Porphyromonas gingivalis* および *Fusobacterium nucleatum* のバイオフィルム形成を阻害する. 第 154 回日本歯科保存学会 2021 年度春季学術大会, web 開催, 2021 年 6 月 10 日~23 日, プログラムおよび講演抄録集: 149 頁, 2021.
 - 12) 田村 光, 土門久哲, 日吉 巧, 前田健康, 多部田康一, 寺尾 豊, 前川知樹: エリスロマイシンの Del-1 誘導による骨免疫制御作用の解析. 第 6 回日本骨免疫学会, web 開催, 2021 年 7 月 2 日, 2021.
 - 13) 両角俊哉, 高柴正悟, 三邊正人, 野村義明, 福田光男, 花田信弘, 角田衣理加, 小林宏明, 中村利明, 中山洋平, 西村英紀, 野口和行, 沼部幸博, 小方頼昌, 齋藤 淳, 佐藤 聡, 関野 愉, 菅野直之, 菅谷 勉, 鈴木史彦, 多部田康一, 高橋慶壮, 高井英樹, 梅田 誠, 吉村篤利, 吉成伸夫, 中川種昭: 歯周病のポケット検査における代表歯・部位の選定. 第 14 回日本口腔検査学会総会, web 開催, 2021 年 8 月 21 ~22 日, プログラムおよび講演抄録集: 70~71 頁, 2021.
 - 14) 那須優介, 照沼美穂: 細胞外グルタミン濃度によるグルタミン合成酵素の発現変化. 第 64 回日本神経化学学会, web 開催, 2021 年 9 月 30 日~10 月 1 日, プログラムおよび講演抄録集: 87 頁, 2021.
 - 15) 笹川花梨, 土門久哲, 平山 悟, 前川知樹, 磯野俊仁, 日吉 巧, 田村 光, 寺尾 豊: 肺炎球菌に対する抹茶成分の作用解析. 第 63 回歯科基礎医学会学術大会, web 開催, 2021 年 10 月 9~11 日, プログラムおよび講演抄録集: 191 頁, 2021.
 - 16) 日吉 巧: 好中球エラスターゼの歯肉上皮バリア傷害作用による歯周炎重症化メカニズム解析. Sunstar Young Investigator Award 口演, 第 64 回秋季歯周病学会学術大会, 名古屋, 2021 年 10 月 15 日, プログラムおよび講演抄録集: 104 頁, 2021.
 - 17) シリセーリイパップ クリタパット, 田村 光, 前川知樹, 多部田康一: 高齢マウスにおける DEL-1 を介した骨代謝機構の解析. 第 64 回秋季歯周病学会学術大会, 名古屋, 2021 年 10 月 15 日, プログラムおよび講演抄録集: 143 頁, 2021.
 - 18) 峯尾修平, 高橋直紀, 多部田康一: 超音波スケーラーから発生するエアロゾル特性と口腔内外吸引装置による拡散防止効果①ー感水試験紙を用いた飛散方向および距離の検討ー. 第 64 回秋季日本歯周病学会学術大会, 名古屋, 2021 年 10 月 15 日, プログ

ラムおよび講演抄録集：132頁, 2021.

- 19) 高橋直紀, 峯尾修平, 多部田康一: 超音波スケーラーから発生するエアロゾル特性と口腔内外吸引装置の拡散防止効果②—小粒径エアロゾルの粒径分布とその吸引効果の検討—. 第64回秋季日本歯周病学会学術大会, 名古屋, 2021年10月15日, プログラムおよび講演抄録集: 134頁, 2021.
- 20) 高橋直紀, 山縣貴幸, 峯尾修平, 加藤光太, 多部田康一: 超音波スケーラーから発生するエアロゾルに対する吸引装置の飛散防止効果—流体力学および模擬臨床的検討—. 第155回日本歯科保存学会2021年度秋季学術大会, web開催, 2021年10月28日~11月10日, プログラムおよび講演抄録集: 45頁, 2021.
- 21) 日吉 巧, 土門久哲, 前川知樹, 田村 光, 笹川花梨, 多部田康一: エラスターゼの歯肉上皮バリア傷害作用を介した歯周組織破壊機序の解析. 第155回日本歯科保存学会2021年度秋季学術大会, web開催, 2021年10月28日~11月10日, プログラムおよび講演抄録集: 118頁, 2021.
- 22) 田村 光, 前川知樹, 土門久哲, 日吉 巧, 多部田康一: 老齢マウスにおける DEL-1 を介した骨代謝機構の制御. 第155回日本歯科保存学会2021年度秋季学術大会, web開催, 2021年10月28日~11月10日, プログラムおよび講演抄録集: 119頁, 2021.
- 23) 小林亮太, 干川絵美, 佐藤大祐, Orakarn Suebsamarn, 内藤絵里子, 鈴木絢子, 富原 圭, 泉 健次: 細胞品質評価ツールとして口腔粘膜角化細胞に対する非侵襲的運動能測定の有用性に関する検討. 第57回日本口腔組織培養学会学術大会・総会, web開催, 2021年11月6日, プログラムおよび講演抄録集: 3頁, 2021.
- 24) 平山 悟, 土門久哲, 日吉 巧, 磯野俊仁, 田村 光, 笹川花梨, 滝澤史雄, 寺尾 豊: 肺炎球菌トリオースリン酸イソメラーゼは宿主プラスミノーゲンに結合し活性化を促進する. 第95回日本細菌学会総会, web開催, 令和4年3月29~31日, プログラムおよび講演抄録集: 96頁, 2021.
- 25) 土門久哲, 磯野俊仁, 日吉 巧, 田村 光, 笹川花梨, 前川知樹, 平山 悟, 柳原克紀, 寺尾 豊: 肺炎球菌ニューモリシンの発現に対するマクロライドの作用解析. 第95回日本細菌学会総会, web開催, 令和4年3月29~31日, プログラムおよび講演抄録集: 105頁, 2021.

【受賞】

- 1) 日吉 巧: 好中球エラスターゼによる歯周炎重症化メカニズム解析と新規治療法への応用. 新潟歯学会

2020年度新潟歯学会学術賞(歯学会奨励賞), 2021年4月17日.

- 2) 小林哲夫: 関節リウマチ患者における歯周炎症表面積と好中球細胞外トラップ血清濃度および疾患活動度との関連. 第65回日本リウマチ学会総会・学術集会 秀逸ポスター賞, 2021年4月26日.
- 3) 田村 光: エリスロマイシンの DEL-1 誘導による骨免疫制御作用の解析. 日本骨免疫学会 優秀演題賞, 2021年6月30日.

【その他】

- 1) 小林哲夫: 「歯周病と身体の病の関係」. 健康カプセル! ゲンキの時間(TBS系全国ネット・CBC発), 2021年6月20日.
- 2) 高橋直紀: 「知っていますか? 歯周病が全身に及ぼす影響—栄養と歯周病・全身疾患の関わり—」. 株式会社オクタウェル管理栄養士スキルアップセミナー, web開催, 2021年6月26日.
- 3) 小林哲夫: 「関節リウマチと歯周病の関わり」. 第7回若手膠原病セミナー, web開催, 2021年11月30日.

歯科矯正学分野

【著書】

- 1) 齋藤 功, 小林正治: 顎変形症とは. 日本顎変形症学会・編; 顎変形症治療の基礎知識, 東京 2022.5.10, クインテッセンス出版, 8-9頁.
- 2) 齋藤 功: 顎態と機能との関連性の追究—咀嚼能力および嚥下時筋活動と舌圧発現様相—. 『第24回日本歯科医学会学術大会 記録集』, 東京, 2022.5.25, 医歯薬出版株式会社, 111頁.
- 3) 齋藤 功: 「適切な矯正歯科治療の再確認と今後の展望」. 北峯康充編; 臨床家のための矯正 YEAR BOOK 2022, 東京, 2022.10.10, クインテッセンス出版, 192-195頁.

【論文】

- 1) Osawa K, Nihara J, Nishiyama H, Takahashi K, Honda A, Atarashi C, Takagi R, Kobayashi T, Saito I: A three-dimensional investigation of mandibular deviation in patients with mandibular prognathism. Maxillofac Plast Reconstr Surg. 45(1):4, 2023. DOI: 10.1186/s40902-023-00372-y.
- 2) Thant L, Kaku M, Kakihara Y, Mizukoshi M, Kitami M, Arai M, Kitami K, Kobayashi D,

- Yoshida Y, Maeda T, Saito I, Uoshima K, Saeki M. Extracellular Matrix-Oriented Proteomic Analysis of Periodontal Ligament Under Mechanical Stress. *Front Physiol.* 20(13):899699, 2022.
- 3) Salaza EAR, Kodama Y, Yuki R, Ominato R, Nagai T, Watanabe M, Yamada A, Kobayashi R, Ichikawa K, Nihara J, Iida A, Ono K, Saito I, Takagi R: Occlusal evaluation using Modified Huddart and Bodenham scoring system following two-stage palatoplasty with Hotz plate: A comparison among three different surgical protocol. *CPCJ: 2022 (April)*. DOI: 10.1177/10556656221093293
 - 4) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A. Ift88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. *Oral Dis.* 29(4):1622-1631, 2023. DOI: 10.1111/odi.14162.
 - 5) Hasegawa M, Piriyaprasath K, Ohtake M, Kamimura R, Saito I, Fujii N, Ymamura K, Okamoto K: Effect of daily treadmill running exercise on masseter muscle nociception associated with social defeat stress in mice. *Eur J Oral Sci.* e12882, 2022. DOI: 10.1111/eos.12882
 - 6) Thant L, Kakihara Y, Kaku M, Kitami M, Kitami K, Mizukoshi M, Maeda T, Saito I, Saeki M. Involvement of Rab11 in osteoblastic differentiation: Its up-regulation during the differentiation and by tensile stress. *Biochem Biophys Res Commun.* 624:16-22, 2022.
 - 7) Kamimura R, Hossain MZ, Takahashi K, Saito I, Kitagawa J: Attenuation of allodynia and microglial reactivity by inhibiting the degradation of 2-arachidonoylglycerol following injury to the trigeminal nerve in mice. *Heliyon* 30;8(8): e10034. DOI: 10.1016/j.heliyon.2022.e10034. eCollection 2022 Aug.
 - 8) Hara T, Saito D, sakuma H, Niimi K, Nihara J, Saito I, Kobayashi T: Comparison of three-dimensional facial morphologies acquired with digital stereophotogrammetry imaging system and computed tomography. *J Oral Maxillofac Surg Med Path* 34(2): 120-125, 2022. DOI:10.1016/j.ajoms.2021.08.016
 - 9) Kawamura T, Fukui T, Nishiyama H, Kobayashi T, Takagi R, Hayashi T, Saito I: Three-dimensional analysis of the temporal bone and mandibular morphology in mandibular prognathism with facial asymmetry. *Oral Sci Int* 19(1): 44-51, 2022. DOI: 10.1002/osi2.1111
 - 10) Endo S, Niimi K, Kato Y, Nohono K, Hasebe D, Hayashi T, Saito I, Kobayashi T: Examination of factors affecting condylar bone changes following surgical-orthodontic treatment, *CRANIO*, 2022. DOI: 10.1080/08869634.2022.2118263
 - 11) Kasahara M, Sakuma H, Hasebe D, Saito D, Kato Y, Osawa K, Saito I, Kobayashi T: Surgical orthodontic treatment of a patient with trichorhinophalangeal syndrome: A case report. *J Oral Maxillofac Surg Med Path* 35(2): 153-157, 2022. accepted on 080822
 - 12) 新美奏恵, 竹内涼子, 船山昭典, 丹原 惇, 齋藤 功, 小林正治: Orthognathic Quality of Life Questionnaire 日本語版の信頼性と妥当性の検討. *日顎変形誌* 32(1): 15-22, 2022.
 - 13) 大湊 麗, 小野和宏, 児玉泰光, 結城龍太郎, 永井孝宏, 小林亮太, 小林孝憲, 飯田明彦, 濃野要, 宮田昌幸, 小林正治, 齋藤 功, 高木律男, 富原 圭: 二段階口蓋形成手術法における幼児期前期の言語管理に関する検討—口蓋化構音と硬口蓋残遺裂の関連性にもとづいて. *日口蓋誌* 47(1): 20-29, 2022.
 - 14) 結城龍太郎, 児玉泰光, Andrea Rei Estacio Salazar, 大湊 麗, 永井孝宏, 山田 茜, 小林亮太, 市川佳弥, 丹原 惇, 加藤純也, 朝日藤寿一, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤 功, 高木律男: 片側性唇顎口蓋裂児の二段階口蓋形成手術後の 5-Year-Olds' Index での評価—軟口蓋形成法および硬口蓋閉鎖時期の影響. *日口蓋誌* 47(3): 200-209, 2022.
- 【研究費獲得】**
- 1) 齋藤 功, 丹原 惇, 藤田 瑛: 生体力学的観点から顎変形症の治療基準を探る. 科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金), 基盤研究(C) (一般): 22K10266, 2022.
 - 2) 高橋功次朗: 口腔機能発達不全の"定量化": エラストグラフィによる咀嚼機能評価法の確立. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17180, 2022
 - 3) (延長分) 大森裕子: 安全な歯科治療のためのレオロジー-超音波で硬化を操る印象方法の開発-. 平成 30 年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 若手研究, 18k17279, 2018.
 - 4) 北見公平: 力学的刺激による歯根膜の階層的細胞応答メカニズムの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17179, 2022.

- 5) (延長分) 北見公平：矯正力に対する歯根膜の部位特異的な組織応答メカニズムの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 19K19288, 2022.
- 6) 市川佳弥：鼻部-口蓋発生間の関連性の検索. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 22K17248, 2022.
- 7) 栗原加奈子：舌圧と口唇・頬圧の同時測定による骨格性開咬症の新たな機能的解析法の確立. 学術研究助成基金助成金 若手研究, 20K18662, 2020. (延長)
- 8) 水越 優：矯正力に誘導される破歯細胞の供給ならびに分化成熟動態の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17155, 2021.
- 9) 大澤知朗：中顔面形成における microRNA の機能解析. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 21K17157, 2021.
- 10) Lay Thant：Characterization of ROCK inhibitor-treated extracellular vesicles and analysis of their effect on osteogenesis. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 22K17135, 2022.
- 11) 工藤武久：エナメル形成におけるライオニゼーションの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 若手研究, 22K17249, 2022.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 高橋 哲, 齋藤 功：シンポジウム・外科矯正「口唇口蓋裂の外科的矯正治療を再考する」コーディネーター. 第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2022 年 5 月 26 日～27 日, 鹿児島市.
- 2) 齋藤 功, 上木耕一郎：シンポジウム「顎変形症患者の顎口腔機能と口腔リハビリテーション」座長. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 2022 年 6 月 9 日～10 日, 新潟市.
- 3) 深町直哉：「骨格性下顎前突症における顎矯正手術前後の咀嚼能力と顎顔面形態の関連」. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 新潟市, 2022 年 6 月 9～6 月 10 日, (日顎変形誌 32(2)112-113, 2022).
- 4) 齋藤 功：矯正歯科治療における形態と機能の関わりー開咬症を含む顎変形症を中心にー. 第 63 回北海道矯正歯科学会総会・学術大会 特別講演, 2022 年 6 月 20 日, 札幌市, 北海道矯歯誌 50 : 33 頁, 2022 (抄録集 p.10-11, 2022).
- 5) 北見公平, 齋藤 功：永久歯先天性欠如に関する知見と補綴併用の考察. 第 37 回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022 年 6 月 26 日, Web 開催, 2022 (抄録集 : 22 頁).
- 6) 齋藤 功：新潟大学医歯学総合病院矯正歯科における連携医療の実践と臨床研究. 創立 90 周年記念記念講演 I 第 81 回東京矯正歯科学会学術大会, 2022 年 7 月 6 日～7 日, 東京 (抄録集 p.18-19).
- 7) 齋藤 功：教育講演『矯正歯科治療における歯根吸収 (最新版)』, 座長 (コーディネーター), 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム, 2022 年 10 月 5 日～10 月 7 日, 大阪市 (抄録集 p.79-81).
- 8) 齋藤 功, Back Seung-Hak：日韓ジョイントシンポジウム『矯正歯科治療による顎口腔領域における機能の改善と健康の増進』, 座長 (コーディネーター), 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会&第 9 回日韓ジョイントシンポジウム, 2022 年 10 月 5 日～10 月 7 日, 大阪市 (抄録集 p.69-78).

【学会発表】

- 1) Sakamoto T, Okayasu M, Sasaki Au, Tsuchimochi T, Nagahama R, Kondo S, Yamamoto Y, Mori H, Morishita T, Takahashi I, Ishii T, Miyazaki H, Suda N, Susami T, Saito I : Survey of orthodontic and surgical treatment in team care for patients with hemifacial microsomia. 14TH International Cleft Congress, July 11th -15th, 2022, Edinburgh, Scotland, UK.
- 2) Zhenga Z, Hasebe D, Kasahara M, Saito N, Saito D, Sakuma H, Nihara J, Saito I, Kobayashi T: Surgical orthodontic treatment indicators in combination with Index of Orthognathic Functional Treatment Need (IOFTN) and maxillofacial morphometric analysis. 61st Annual Meeting of Korean Association of Maxillofacial, Plastic and Reconstructive Surgery, October 28th ~October 29th, 2022, Seoul, Korea.
- 3) Takeuchi R, Ominato R, Niimi K, Nihara J, Takeyama M, Saito I, Kobayashi T: Impact of orthognathic surgery on velopharyngeal function in cleft palate patients. 61st Annual Meeting of Korean Association of Maxillofacial, Plastic and Reconstructive Surgery, October 28th ~October 29th, 2022, Seoul, Korea.
- 4) 笠原公輝, 佐久間英伸, 加藤祐介, 長谷部大地, 大澤知朗, 齋藤 功, 小林正治: 外科的矯正治療を施行した Tricho-rhino-phalangeal syndrome の 1 例. 第 76 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 福岡市, 2022 年 4 月 21 日～23 日.

- 5) 飯田明彦, 隅田賢正, 高木律男, 富原 圭, 村上智子, 齋藤 功, 阿部達也, 丸山智史, 田沼順一: 難治性急性リンパ性白血病を発症した唇顎裂児への顎裂部腸骨移植経験. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2022年5月26日~27日, 鹿児島市(日口蓋誌47(2):148頁, 2022).
- 6) 児玉泰光, 結城龍太郎, 小林亮太, 山田 茜, 永井孝宏, 大湊 麗, 池田順行, 市川佳弥, 丹原 惇, 齋藤 功, 富原 圭: 三次元デジタル画像を用いた片側性唇顎口蓋裂患児の咬合評価に関する予備的研究. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2022年5月26日~27日, 鹿児島市(日口蓋誌47(2):157頁, 2022).
- 7) 寺田愛希, 市川佳弥, 丹原 惇, 宮田昌幸, 若槻華子, 児玉泰光, 小林正治, 齋藤 功: 新潟大学医歯学総合病院においてPNAM治療を行った片側性唇顎口蓋裂児における外鼻形態変化の長期的評価. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市, 2022年5月26日~27日, (日口蓋誌;47(2):179頁, 2022).
- 8) 竹内涼子, 大湊 麗, 新美奏恵, 丹原 惇, 竹山雅規, 宮田昌幸, 齋藤 功, 小林正治: 顎矯正手術が口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能と言語機能に及ぼす影響の検討. 第46回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 2022年5月26日~27日, 鹿児島市(日口蓋誌47(2):130頁, 2022).
- 9) 深町直哉, 栗原加奈子, 阿部 遼, 長崎 司, 三村俊平, 小野高裕, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における外科的矯正治療前後の咀嚼能力の縦断的評価. 第32回日本顎変形症学会総会・学術大会(ハイブリッド開催), 新潟市, 2022年6月9~6月10日, (日顎変形誌32(2):186頁, 2022).
- 10) 丹原 惇, 高橋功次郎, 小林正治, 齋藤 功: 外科的矯正治療を適用した脊髄小脳変性症を伴う骨格性下顎前突症の1例. 第32回日本顎変形症学会総会・学術大会(ハイブリッド開催), 2022年6月9日~10日, 新潟市(日顎変形誌32(2):218頁, 2022).
- 11) 工藤武久, 丹原 惇, 北村 円, 大峽 淳, 齋藤功: Ifit88はShhシグナル経路を介してエナメル形成を調節する. 第37回甲北信越矯正歯科学会大会, 新潟, 2022年6月26日, 2022(抄録集:39頁,).
- 12) 新ちひろ, 丹原 惇, 西山秀昌, 児玉泰光, 大澤知朗, 小林正治, 齋藤 功: クラスター分析を用いた骨格性下顎前突症患者における上顎骨形態の3次元解析. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, (抄録集:40頁).
- 13) 栗原加奈子, 齋藤 功: 下顎骨軽度左方偏位, 過蓋咬合および叢生を伴う Angle Class I 骨格性Ⅱ級上顎前突症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, 新潟市, (抄録集46頁).
- 14) 市川佳弥, 丹原 惇, 大竹正紀, 齋藤 功: 上顎右側中切歯の過度な唇側傾斜および叢生を伴う Angle Class II subdivision 歯性上顎前突症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, Web開催(抄録集53頁).
- 15) 網谷季莉子, 齋藤 功: 下顎の右方偏位および叢生を伴う Angle Class III subdivision 歯性上下顎前突症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, Web開催(抄録集47頁).
- 16) 大澤知朗, 高橋功次郎, 齋藤 功: 上下顎歯列正中線の右側への偏位および右側第二小臼歯の鉤状咬合を伴う Angle Class I 叢生症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, Web開催(抄録集48頁).
- 17) 深町直哉, 齋藤 功: 叢生を伴う Angle Class II 開咬症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, Web開催(抄録集50頁).
- 18) 水越 優, 齋藤 功: 下顎骨の軽度右方偏位を伴う Angle Class II 叢生症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, Web開催(抄録集54頁).
- 19) 長崎 司, 齋藤 功: 下顎骨の左方偏位を伴う Angle Class II subdivision 叢生症例. 第37回甲北信越矯正歯科学会学術大会, 2022年6月26日, Web開催(抄録集52頁).
- 20) Lay Thant, Masaru Kaku, Yoshito Kakihara, Masaru Mizukoshi, Megumi Kitami, Kohei Kitami, Daiki Kobayashi, Yutaka Yoshida, Takeyasu Maeda, Katsumi Uoshima, Isao Saito, Makio Saeki: Alteration of the ECM composition and fiber organization in periodontal ligament under mechanical loading. 第54回日本結合組織学会学術大会, 大阪, 2022.6.25, (抄録集:110頁).
- 21) 土橋 梓, 加来 賢, Lay Thant, 小野喜樹, 魚島勝美. Periostin knockout 歯根膜細胞における細胞外基質のオミックス解析. 第54回日本結合組織学会学術大会, 大阪, 2022.6.25, (抄録集:120頁).
- 22) 吉田智美, 竹山雅規, 網谷季莉子, 長谷部大地, 小林正治, 齋藤 功: 口腔内装置(OA)を用いた閉塞性睡眠時無呼吸(OSA)患者における顎顔面構造の長期変化. 令和4年度第1回新潟歯学会例会, 新潟市, 2022年7月9日, 新潟歯学会雑誌52(2):43頁, 2022.

- 23) 笠原公輝, 長谷部大地, 原 太一, 須田大亮, 佐久間英伸, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 齋藤 功, 小林正治: 多分割 LeFort I 型骨切り術の術後安定性の検討. 第 60 回日本口腔科学会 北日本地方部会, 2022 年 7 月 9 日~10 日, 札幌市.
- 24) 笠原公輝, 長谷部大地, 齋藤大輔, 齋藤 功, 小林正治: 多分割 LeFortI型骨切り術の術後安定性の検討. 関東形成外科学会第 112 回新潟地方会, 2022 年 7 月 22 日, 新潟市.
- 25) 鄭 琢揚, 長谷部大地, 笠原公輝, 須田大輔, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 丹原 惇, 齋藤功, 小林正治: IOFTN と顎顔面形態分析を併用した外科的矯正治療の適応指標. 第 67 回 (公社) 日本口腔外科学会総会・学術大会, 2022 年 11 月 4 日~6 日 (現地・ライブ配信), 千葉市 (日本口腔外科学会雑誌 68;総会特別号 p.75).
- 26) 上村藍太郎, Mohammad Zakir Hossain, 高橋功次朗, 北川純一, 齋藤 功: 内因性カンナビノイド分解酵素阻害剤による口腔顔面領域の神経障害性疼痛に対する鎮痛メカニズムの検討. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会, 2022 年 10 月 5 日~10 月 7 日, 同学術大会プログラム・抄録集: 149 頁, 2022.
- 27) 三村俊平, 栗原加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀一浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼行動の臨床的検討. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会, 2022 年 10 月 5 日~10 月 7 日, (抄録集: 132 頁).
- 28) 新井萌生, 加来 賢, Lay Thant, 岩間 基, 水越優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: 培養歯根膜細胞が分泌する細胞外マトリックスのプロテオーム解析. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会, 2022 年 10 月 5 日~10 月 7 日, (抄録集: 163 頁).
- 29) 岩間 基, 加来 賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: 加齢によりマウス臼歯の有細胞セメント質表層に生じる無細胞セメント質様組織の解析. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会, 2022 年 10 月 5 日~10 月 7 日, (抄録集: 167 頁).
- 30) 山田貴大, 丹原 惇, 西山秀昌, 小林正治, 齋藤功: 下顎の偏位を伴う骨格性下顎前突症の顎矯正手術後における顎関節形態の変化: 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会, 2021 年 10 月 5 日~10 月 7 日, (抄録集:201 頁).
- 31) 新井萌生, 加来 賢, Lay Thant, 土橋 梓, 岩間基, 水越 優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: SPARC の欠失が歯根膜細胞の線維形成に及ぼす影響のプロテオーム解析. 令和 4 年度第 2 回新潟歯学会例会, 新潟市, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会雑誌 52(2): 45 頁, 2022.
- 32) 三村俊平, 栗原加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀一浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼行動の臨床的検討. 令和 4 年度第 2 回新潟歯学会例会, 新潟市, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会雑誌 52(2): 46 頁, 2022.
- 33) 長谷部大地, 須田大亮, 齋藤大輔, 竹山雅規, 齋藤 功, 小林正治: 顎矯正手術を施行した重度閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA) を伴う顎変形症患者 2 例の検討. 第 21 回 日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 2022 年 11 月 19 日~20 日, 名護市.
- 34) 竹元 涼, 高橋功次朗, 小林潤矢, 川合巳佳, 大森裕子, 齋藤 功, 三俣 哲: 口唇周囲の皮膚組織の弾性率測定に特化した測定装置の開発. 第 32 回日本 MRS 年次大会, 2022 年 12 月 5 日~7 日, 横浜市.
- 35) Oomori Y, Takahashi K, Takemoto R, Kawai M, Saito I, Mitsumata T: Development of Elasticity Measurement for Perioral Soft Tissues. International conference on research in science, engineering and technology, Singapore, March 1-2, 2023.
- 36) Takahashi K, Oomori Y, Kawai M, Saito I, Mitsumata T: Gelation Behavior of Polysaccharide/Diatomite Composite Gel and Its Application to Dental Impression Materials. International conference on research in science, engineering and technology, Singapore, March 1-2, 2023.
- 37) Oomori Y, Takahashi K, Kawai M, Saito I, Mitsumata T: Accelerated Release Behavior of Ions Loaded in Diatomite by Ultrasound. International Conference on Recent Advances in Engineering, Technology and Science, Singapore, March 4-5, 2023.
- 38) Takahashi K, Oomori Y, Takemoto R, Kawai M, Saito I, Mitsumata T: Facial Measurement of Elasticity for Soft Material Mimetic to Lip. International Conference on Recent Advances in Engineering, Technology and Science, Singapore, March 4-5, 2023.

【受賞】

- 1) Mizukoshi M., Kaku M., Thant L., Kitami K., Arai M., Saito I., Uoshima K: In vivo cell proliferation analysis and cell-tracing reveal the global cellular dynamics of periodontal ligament cells under mechanical-loading. *Sci Rep* 11, 9813, 2021. <https://doi.org/10.1038/s41598-021-89156-w>
2022 年度日本矯正歯科学会学術奨励賞.
- 2) Oomori Y., Takahashi K., Kawai M., Saito I., Mitsumata T: Accelerated Release Behavior of Ions Loaded in Diatomite by Ultrasound. *International Conference on Recent Advances in Engineering, Technology and Science, “ARSSS Excellent Paper Award”*, Singapore, March 4-5, 2023.
- 3) 三村俊平, 栗原加奈子, 深町直哉, 長崎 司, 堀一 浩, 大川純平, 竹山雅規, 小野高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスをを用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼行動の臨床的検討. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会優秀演題賞.
- 4) 山田貴大, 丹原 惇, 西山秀昌, 小林正治, 齋藤 功: 下顎の偏位を伴う骨格性下顎前突症の外科的矯正治療後における顎関節形態の変化. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会優秀演題賞.
- 5) 新井萌生, 加来 賢, Thant lay, 土橋 梓, 岩間基, 水越 優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: SPARC の欠失が歯根膜細胞の線維形成に及ぼす影響のプロテオーム解析. 2022 年度新潟歯学会奨励賞.

摂食嚥下リハビリテーション学分野

【著 書】

- 1) 井上 誠: 5. 摂食嚥下リハビリテーション. 脳神経疾患最新治療 2024-2026, 株式会社南江堂.
- 2) 井上 誠: 咀嚼と嚥下の関係. 最新言語聴覚講座 摂食嚥下障害, 医歯薬出版株式会社.
- 3) 井上 誠: 第 4 章災害食の栄養・機能 口腔ケアと誤嚥性肺炎. 災害食の事典, 株式会社朝倉書店, 東京.
- 4) 井上 誠: 1. 咀嚼と口腔機能ー嚥下との関わり. 咀嚼・嚥下・誤嚥性肺炎に関わる基礎知識. JOHNS 耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 株式会社東京医学社, 東京.
- 5) 辻村恭憲: 咀嚼. *Crosslink 言語聴覚療法学テキスト*, メジカルビュー社, 129-135, 2022.
- 6) 伊藤加代子: 第 4 章薬理作用 5 口腔乾燥症治療薬. 日本歯科用医薬品集改訂第 5 版 必携! 歯科の処方に役立つ本 (日本歯科薬物療法学会編), 永末書店,

164-165, 2022.

【論 文】

- 1) Takanori Tsujimura, Yuta Nakajima, Titi Chotirungsan, Satomi Kawada, Yuhei Tsutsui, Midori Yoshihara, Taku Suzuki, Kouta Nagoya, Jin Magara, Makoto Inoue: Inhibition of water-evoked swallowing during noxious mechanical stimulation of tongue in anesthetized rats, *Dysphagia*, Online ahead of print, doi: 10.1007/s00455-022-10522-5.
- 2) Wakana Onuki, Jin Magara, Kayoko Ito, Reiko Ita, Satomi Kawada, Yuhei Tsutsui, Yuta Nakajima, Haruka Sakai, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Evaluating the effect of management on patients with oral hypofunction: A longitudinal study. *Gerodontology*, Online ahead of print, doi: 10.1111/ger.12655. 2022.9.
- 3) Kenshu Taira, Yutaka Watanabe, Kazutaka Okada, Miyako Kondo, Maaya Takeda, Kayoko Ito, Junko Nakajima, Masanori Iwasaki, Masataka Itoda, Ken Inohara, Rikimaru Sasaki, Yasuhiro Nishi, Junichi Furuya, Yoshihiko Watanabe, George Umemoto, Masako Kishima, Takashi Tohara, Yuji Sato, Mitsuyoshi Yoshida, Yutaka Yamazaki: Association between denture use and food form in older adults requiring long-term care: A multicenter cross-sectional study. *J Prosthodont Res*, Online ahead of print, doi: 10.2186/jpr.JPR_D_21_00161.
- 4) Pilaiwan Kongma, Narumanas Korwanich, Hanpon Klibngern, Natchaiyant Tavisak, Makoto Inoue, Kanyarat Korwanich: Screening Algorithms for Detecting Dysphagia: A Validation Study of The Thai EAT-10 Combined with the 3-Ounces Water Swallow Test. *Journal of Associated Medical Sciences*, 56 (2): 99-105, doi: 10.12982/JAMS.2023.038.
- 5) Kayoko Ito, Naoko Izumi, Saori Funayama, Kaname Nohno, Kouji Katsura, Noboru Kaneko, Makoto Inoue: Characteristics of medication-induced xerostomia and effect of treatment. *PLoS ONE*, 18(1): e0280224. doi: /10.1371/journal.pone.0280224. 2023.1.
- 6) Taku Suzuki, Sirima Kulvanich, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Yasushi Ohnishi, Makoto Inoue: Cause of Impairments of Bolus Transport and Epiglottis Inversion. *Dysphagia*, 37(6): 1858-1860. doi: 10.1007/s00455-022-10421-9. 2022.12.
- 7) Kaoko Hama, Yasuyuki Iwasa, Yuki Ohara, Masanori Iwasaki, Kayoko Ito, Junko Nakajima, Takae Matsushita, Takashi Tohara, Mayumi Sakamoto, Masataka Itoda, Ken Inohara, Yoshie Ozaki, Rikimaru

- Sasaki, Yasuhiro Nishi, Midori Tsuneishi, Junichi Furuya, Yutaka Watanabe, Yoshihiko Watanabe, Yuji Sato, Mitsuyoshi Yoshida : Pneumonia incidence and oral health management by dental hygienists in long-term care facilities: A 1-year prospective multicenter cohort study. *Gerodontology*, 39(4):374-383. doi: 10.1111/ger.12604. 2022.12.
- 8) Maaya Takeda, Kazutaka Okada, Miyako Kondo, Kenshu Taira, Yutaka Watanabe, Kayoko Ito, Junko Nakajima, Yoshie Ozaki, Rikimaru Sasaki, Yasuhiro Nishi, Junichi Furuya, Kenichi Akino, Hiromi Ohta, Tomohisa Ohno, Tsuyoshi Kodama, Hideo Sakaguchi, Tetsuo Hanagata, Yuji Sato, Mitsuyoshi Yoshida, Yutaka Yamazaki: Factors Associated with Food Form in Long-Term Care Insurance Facilities. *Dysphagia*, 37(6):1757-1768. doi: 10.1007/s00455-022-10440-6. 2022.12.
 - 9) Anna Sasa, Sirima Kulvanich, Naohito Hao, Reiko Ita, Masahiro Watanabe, Taku Suzuki, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Functional evaluation of jaw and suprahyoid muscle activities during chewing. *J Oral Rehabil*, 49(12):1127-1134. doi: 10.1111/joor.13373. 2022.9.
 - 10) Nana Mizoguchi, Kaname Nohno, Akihiro Yoshihara, Kayoko Ito, Saori Funayama, Hiroshi Ogawa: Association of hyper-low-density lipoprotein and hypo-high-density lipoprotein cholesterolemia with low saliva flow rates in Japanese community-dwelling elders. *Int Arch Otorhinolaryngol*, doi: 10.1055/s-0042-1744167. 2022.7.
 - 11) Anna Sasa, Sirima Kulvanich, Naohito Hao, Reiko Ita, Masahiro Watanabe, Taku Suzuki, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Functional Role of Suprahyoid Muscles in Bolus Formation During Mastication. *Front Physiol*, 8;13:881891. doi: 10.3389/fphys.2022.881891. eCollection 2022.6.
 - 12) Jin Magara, Wakana Onuki, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Chewing modulates the human cortical swallowing motor pathways. *Physiology and Behaviors*, 15;249:113763. doi: 10.1016/j.physbeh.2022.113763. 2022.5.
 - 13) Maaya Takeda, Yutaka Watanabe, Takae Matsushita, Kenshu Taira, Kazuhito Miura, Yuki Ohara, Masanori Iwasaki, Kayoko Ito, Junko Nakajima, Yasuyuki Iwasa, Masataka Itoda, Yasuhiro Nishi, Junichi Furuya, Yoshihiko Watanabe, George Umemoto, Masako Kishima, Hirohiko Hirano, Yuji Sato, Mitsuyoshi Yoshida, Yutaka Yamazaki: Observational variables for considering a switch from a normal to dysphagia diet among older adults requiring long-term care: A one-year multicenter longitudinal study. *Int J Environ Res Public Health*, 28;19(11):6586. doi: 10.3390/ijerph19116586. 2022.5.
 - 14) Sirima Kulvanich, Haruka Sakai, Riho Takanami, Mako Yamada, Anna Sasa, Kayoko Ito, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Makoto Inoue: Impact of oral function on regaining oral intake and adjusting diet forms for acute stroke patients. *J Stroke Cerebrovasc Dis*, 31(5):106401. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2022.106401. 2022.5.
 - 15) 富田洋介, 鈴木善貴, 田中佑人, 真柄 仁 : 顎口腔機能と姿勢・運動制御との関連性 : 歯科と理学療法 の協働によるエビデンス創出に向けて. *日顎口腔機能会誌*.
 - 16) 井上 誠 : 摂食嚥下障害における口腔機能の重要性. *全国大学歯科衛生士教育協議会雑誌*, 12 : 3-6, 2023.
 - 17) 川田里美, 鈴木 拓, 大久保 明, 辻村恭憲, 井上 誠 : 小脳橋角部腫瘍摘出術後の咀嚼障害に対して筋電位バイオフィードバックを用いてリハビリテーション介入を行った一例. *新潟歯学会誌*, 52(2): 29-34, 2022.
 - 18) 中嶋優太, 真柄 仁, 坂井 遥, 渡邊賢礼, 井上 誠 : 舌垂全摘出術後に舌接触補助床を用いて嚥下訓練を行った一例. *口腔リハビリ誌*, 35 : 48-55, 2022.
 - 19) 岩渕博史, 伊藤加代子, 土井田 誠, 戸原 玄, 戸谷収二, 中川洋一, 中村誠司, 服部佳功, 山内智博, 山本一彦, 渡部 茂 : 4 学会合同口腔乾燥症用語・分類検討委員会作成 (日本口腔内科学会, 日本歯科薬物療法学会, 日本老年歯科医学会, 日本口腔ケア学会) 2022 年 口腔乾燥症の新分類. *老年歯科医学*, 37(3):E20, 2022.
- 【商業誌】**
- 1) 伊藤加代子, 井上 誠 : 唾液量に男女差はあるのでしょうか?. *歯科衛生士*.
 - 2) 伊藤加代子, 井上 誠 : 更年期に起こりやすい口腔の症状. *歯科衛生士*.
 - 3) 真柄 仁, 小貫和佳奈, 井上 誠 : 口腔機能低下症患者における口腔機能管理の実施効果に関する縦断研究. *会誌 8020, 8020 推進財団*, 22 : 139-142, 2023.
 - 4) 辻村恭憲, 井上 誠 : 島皮質誘発嚥下の応答特性と上喉頭神経誘発嚥下との比較. *嚥下医学*, 12(1) : 21-28, 2023.
 - 5) 伊藤加代子, 井上 誠 : 更年期女性にみられる口腔疾患への対応. *産科と婦人科*, 第 89 巻増刊号 : 420-424, 2022.

- 6) 辻村恭憲, 井上 誠: 準備期・口腔期の嚥下障害をきたす疾患と対応. Medical Practice, 39(7): 981-985, 2022.

【研究費獲得】

- 1) 井上 誠 (研究代表者): モデル動物を用いた多面的アプローチによる嚥下障害の病態解明. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B)), 課題番号 22KK0139, 3,700 千円, 2022.
- 2) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者), 那小屋公太 (分担研究者), 吉原 翠 (分担研究者): 摂食嚥下機能に関わる前帯状皮質の役割. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 挑戦的研究 (萌芽), 課題番号 22K19616, 1,400 千円, 2022.
- 3) 井上 誠 (研究代表者), 辻村恭憲 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者), 那小屋公太 (分担研究者), 吉原 翠 (分担研究者): 脳梗塞における摂食嚥下障害の病態解明とその回復に顎口腔機能がもたらす効果. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 課題番号 21H03128, 4,750 千円, 2022.
- 4) 井上 誠 (分担研究者): 転写因子 Nrf2 の細胞保護・抗炎症作用に着目した、嚥下障害新規治療法の研究 (研究代表者 香取幸夫). 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (B), 課題番号 22H03232, 1,000 千円, 2022.
- 5) 井上 誠 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者), 伊藤加代子 (分担研究者): 生体と食品の併行アプローチによる新たな咀嚼嚥下機能の理解 (研究代表者 小野和宏). 2022 年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 22K10073, 800 千円, 2022.
- 6) 井上 誠 (分担研究者), 真柄 仁 (分担研究者): 顎・舌運動と食塊移送から読みとく咀嚼機能評価. 令和 2 年度文部科学省科学研究費補助金 (研究代表者 渡邊賢礼). 2022 年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 20K10265, 750 千円, 2022.
- 7) 辻村恭憲 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者): 摂食嚥下障害治療における咀嚼タスクの有効性検証. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 20K10069, 800 千円, 2022.
- 8) 真柄 仁 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者): 舌機能改善プロセスから考える感覚運動統合 -アクティブタッチの探索-. 令和 4 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号

22K10053, 1,200 千円, 2022.

- 9) 真柄 仁 (研究分担者): 脳可塑性変化に基づく口腔リハビリテーション効果の解析. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究 (研究代表者 島田明子), 基盤研究 (B), 課題番号 21H03284C, 500 千円, 2022.
- 10) 伊藤加代子 (研究代表者), 井上 誠 (分担研究者), 船山さおり (分担研究者): エクオールは口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症の新たな治療法となりうるか?. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C), 課題番号 22K10310, 1,200 千円, 2022.
- 11) 伊藤加代子 (分担研究者): サルコペニア嚥下機能低下高齢者口腔栄養双方向プログラムの実証研究 (研究代表者 永井 徹). 2021 年度文部科学省科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 課題番号 21K11687, 100 千円, 2022.
- 12) 鈴木 拓 (研究代表者): 口腔感覚入力が咀嚼特性と嚥下動態に及ぼす変調効果の解明. 2022 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究, 課題番号 22K17134, 1,820 千円, 2022.
- 13) 那小屋公太 (研究代表者): 疾患モデル動物を用いた「サルコペニアの摂食嚥下障害」の生理学的検証. 令和 3 年度文部科学省科学研究費補助金 若手研究, 課題番号 21K17034, 1,430 千円, 2022.
- 14) 吉原 翠 (研究代表者): 咽喉頭酸逆流による嚥下誘発・咀嚼動態の変調および TRPM8 刺激による影響の検証. 令和 3 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 若手研究, 課題番号 21K17060, 1,430 千円, 2022.
- 15) 船山さおり (研究代表者), 伊藤加代子 (分担研究者), 井上 誠 (分担研究者): 自発性異常味覚の苦味の正体にせまる. 令和 2 年度文部科学省科学研究費補助金研究, 基盤研究 (C), 課題番号 20K10264, 1,010 千円, 2022.
- 16) 板 離子 (研究代表者): 口腔機能から考える介護食品の評価と安全性. 2022 年度公益財団法人古泉財団研究費助成事業, 500 千円, 2022.
- 17) 岩森 大 (研究代表者): ゼリー炭酸飲料が随意嚥下活動に及ぼす影響. 2022 年度公益財団法人古泉財団研究費助成事業, 500 千円, 2022.
- 18) 井上 誠: 油脂粉末を摂食嚥下した際に知覚する冷涼感の評価とメカニズム解明に関する共同研究 (共同研究). 日清オイリオ株式会社, 825 千円, 2022.
- 19) 井上 誠: 摂食嚥下障害者用介護用品・食具等の開発に関する研究 (共同研究). にいがた摂食嚥下障害サポート研究会, 233 千円, 2022.
- 20) 井上 誠: リセットゲルの嚥下性評価 (共同研究). ユニテックフーズ株式会社, 833 千円, 2021-2022.

- 21) 井上 誠:米菓の易咀嚼性のメカニズム(共同研究). 亀田製菓株式会社, 900 千円, 2022.
- 22) 井上 誠:舌ブラシのブラシ材による除去能力の違い(共同研究). SHIKIEN 株式会社, 250 千円, 2022-2023.
- 23) 伊藤加代子:薬剤性口腔乾燥症の治療効果についての共同研究(共同研究). ファイザー製薬, 500 千円, 2020-2022.
- 24) 伊藤加代子:ムラタムーカスによる口腔乾燥評価に関する共同研究(共同研究). 株式会社ライフ, 90 千円, 2022.
- 25) 井上 誠:摂食嚥下治療登録医等養成研修に関する受託事業費(受託事業). 新潟県歯科医師会, 3,180 千円, 2022.
- 26) 井上 誠:嚥下リハビリ用の電気刺激装置商品開発に関する学術指導(受託事業). 株式会社 MTG, 360 千円, 2022.
- 27) 井上 誠:口腔機能低下症における口唇閉鎖機能検査(受託事業). 松風, 300 千円, 2022.
- 28) 井上 誠:高齢者に適した食品要件を生体機能から考える(研究助成). 東洋食品研究所. 6,000 千円, 2022-2025.
- 29) 井上 誠:一正蒲鉾研究助成金, 1,000 千円, 2020-2022.
- 30) 真柄 仁(研究代表者):口腔機能低下症改善に寄与する要因を検証する(研究助成). 令和 4 年度 8020 財団研究事業, 600 千円, 2022.
- 31) 井上 誠(研究代表者):摂食嚥下障害の在宅診療を支える、情報連携の仕組みづくりを新潟から！(寄付金). 13,452 千円, 2022.
- 32) 井上 誠:摂食嚥下機能回復部における臨床研究助成(寄付金). とやの中央病院他, 1,054 千円, 2022.
- 33) 小貫和佳奈:令和 4 年度臨床研究支援パッケージコンテスト(新潟大学医歯学総合病院), 2,300 千円, 2022.
- 34) 那小屋公太:令和 4 年度国際共同研究加速グラント(新潟大学), 400 千円, 2022.
- University (on remote), 2023.2.11.
- 3) Makoto Inoue: Geriatric dentistry and dysphagia rehabilitation in Japan. ADEAP meeting, Tohoku University (Sendai, Japan), 2023.1.28-29.
- 4) Takanori Tsujimura, Makoto Inoue : Swallowing and Breathing: Implication for Dysphagia Rehabilitation. The 13th Korean Dysphagia Society Academic Conference and Annual Meeting, Seoul National University Dental Hospital (Seoul, Korea)/online conference, 2022.11.12.
- 5) Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Coordination of respiration, swallowing and chewing in healthy humans. 50th Anniversary Meeting and International Conference of the Korean Academy of Rehabilitation Medicine, Grand Hyatt Incheon (Incheon, Korea)/online conference, 2022.10.28-29.
- 6) 井上 誠:摂食嚥下機構の生理と解剖. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会第 28 回学術大会教育講演 6, 幕張メッセ(幕張市・千葉県), 2022 年 9 月 24 日.
- 7) 真柄 仁, Shaheen Hamdy, 井上 誠:咽頭電気刺激がもたらす嚥下機能改善効果. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 第 28 回学術大会 シンポジウム 14 トップランナーに学ぶ 電気刺激を極める, 幕張メッセ(幕張市・千葉県), 2022 年 9 月 23-24 日. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会第 28 回学術大会抄録集 195 頁, 2022.
- 8) 辻村恭憲, 真柄 仁, 井上 誠:筋電図を用いた顎口腔機能計測と臨床応用への期待. 幕張メッセ(幕張市・千葉県), 2022 年 9 月 23-24 日. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会第 28 回学術大会抄録集 240 頁, 2022.
- 9) 井上 誠, 辻村恭憲, 真柄 仁, 中嶋優太, Titi Chotirungsan, 筒井雄平, 川田里美: Effect of age-associated diseases on chew and swallow in vivo animal model. 第 64 回歯科基礎医学会学術大会. 歯科イノベーションロードマップシンポジウム『健康長寿社会を目指す口腔機能低下の予防と回復法の確立』(紙上開催), 2022 年 9 月 19 日.
- 10) 井上 誠:摂食嚥下障害における口腔機能の重要性. 令和 4 年度第 2 回全国歯科衛生士教育協議会学術集会(リモート講演), 2022 年 9 月 3 日.
- 11) 辻村恭憲, 吉原 翠, 井上 誠:実験動物を用いた嚥下神経機構の解明. 第 64 回日本平滑筋学会総会, 若手の会シンポジウム, WEB 開催, 2022 年 7 月 29-30 日, 第 64 回日本平滑筋学会総会抄録集 46 頁, 2022.
- 12) 真柄 仁:摂食嚥下機能改善に寄与する口腔機能ア

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Makoto Inoue: Impact of Oral Function on Regaining Oral Intake and Adjusting Diet Forms for Acute Stroke Patients. International Symposium on Transdisciplinary Care for Dysphagia, Howard Plaza Hotel Kaohsiung (Kaohsiung, Taiwan), 2023.3.24-26.
- 2) Takanori Tsujimura: Mechanisms of swallowing initiation and its impairment. International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2023, Niigata

ブローチ. 日本補綴歯科学会 第 131 回学術大会 イブニングセッション 3 口腔機能の低下に対する補綴歯科の可能性 ～嚥下・構音・睡眠時呼吸～, 大阪国際会議場 (大阪府・大阪市), 2022 年 7 月 15-17 日. 日本補綴歯科学会誌 14 巻, 131 回学術大会特別号 128 頁, 2022.

- 13) 真柄 仁: 咀嚼嚥下のプロセスを生体記録と食塊物性から評価する. 日本老年歯科医学会第 33 回学術大会 シンポジウム 9 -咀嚼研究の最新像-, りゅーとびあ (新潟県・新潟市) /ハイブリット開催, 2022 年 6 月 10-12 日. 日本老年歯科医学会第 33 回学術大会プログラム集 32 頁, 2022.
- 14) 井上 誠: 摂食嚥下運動における口腔機能の意義. 第 23 回日本言語聴覚学会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2022 年 6 月 23 日.
- 15) 井上 誠: 摂食嚥下障害と口腔機能. 第 44 回日本栄養アセスメント研究会 (リモート開催), 2022 年 6 月 4 日.

【講演・シンポジウム (その他)】

- 1) 井上 誠: 新潟大学医学部総合病院摂食嚥下機能回復部の過去, 今, 未来. にいがた摂食嚥下障害サポート研究会第 2 回講演会, 新潟大学歯学部講堂 (新潟県・新潟市), 2022 年 12 月 3 日.
- 2) 井上 誠: 摂食嚥下障害に対する歯科診療の関わり方. 高松市歯科医師会講演会 (リモート講演), 2022 年 10 月 19 日.
- 3) 鈴木 拓: 口腔ケアと誤嚥性肺炎について. 茨城県立医療大学附属病院 WEB セミナー (リモート講演), 2022 年 7 月 28 日.
- 4) 井上 誠: 摂食嚥下のメカニズム. クリニカルスキルアップセミナー, 明海大学・朝日大学サテライトキャンパス (東京都・新宿区), 2022 年 7 月 17 日.
- 5) 辻村恭憲: 安心して楽しい食事のために～食支援における配慮～. 令和 4 年度摂食嚥下機能向上に関する研修会 国立病院機構新潟病院, オンデマンド配信, 2022 年 8 月 1-31 日.

【学会発表】

- 1) Reiko Ita, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Endurance evaluation of lingual pressure generation using electromyographic analysis of tongue and hyoid muscles. 31st Dysphagia Research Society Annual Meeting, Hyatt Regency San Francisco (San Francisco, USA), 2023.3.15-17.
- 2) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Yuhei Tsutsui, Satomi Kawada, Jin Magara, Makoto Inoue: Facilitatory effect of atropine on swallowing reflex evoked by

distilled water in anesthetized rats. 31st Dysphagia Research Society Annual Meeting, Hyatt Regency San Francisco (San Francisco, USA), 2023.3.15-17.

- 3) Yuhei Tsutsui, Takanori Tsujimura, Kajita Piriyaaprasath, Titi Chotirungsan, Jin Magara, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura, Takeyasu Maeda, Makoto Inoue: Activation of posterior belly of digastric muscle during swallowing. 31st Dysphagia Research Society Annual Meeting, Hyatt Regency San Francisco (San Francisco, USA), 2023.3.15-17.
- 4) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Midori Yoshihara, Kouta Nagoya, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: The effect of chemical stimulation swallowing initiation in rats. 31st Dysphagia Research Society Annual Meeting, Hyatt Regency San Francisco (San Francisco, USA), 2023.3.15-17.
- 5) Takanori Tsujimura, Brendan Canning, Makoto Inoue: NMDA and non-NMDA glutamate receptors in the rostral-commissural, medial, and ventrolateral nTS subnuclei are involved in the initiation of swallows in anesthetized guinea pigs. 31st Dysphagia Research Society Annual Meeting, Hyatt Regency San Francisco (San Francisco, USA), 2023.3.15-17.
- 6) Kouta Nagoya, Takanori Tsujimura, Yuta Nakajima, Yuhei Tsutsui, Jin Magara, Makoto Inoue: Analyses of respiration and swallowing changes in Chronic obstructive Pulmonary Disease (COPD) model rats. Neuroscience 2022 (San Diego, USA), 2022.11.12-16.
- 7) Yuta Nakajima, Takanori Tsujimura, Yuhei Tsutsui, Titi Chotirungsan, Kouta Nagoya, Makoto Inoue: Atropine facilitates initiation of swallowing reflex evoked by distilled water in anesthetized rats. Neuroscience 2022 (San Diego, USA), 2022.11.12-16.
- 8) Titi Chotirungsan, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Modulation of digastric reflex responses during various situations in conscious rats. Neuroscience 2022 (San Diego, USA), 2022.11.12-16.
- 9) Yuhei Tsutsui, Takanori Tsujimura, Kajita Piriyaaprasath, Titi Chotirungsan, Jin Magara, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura, Takeyasu Maeda, Makoto Inoue: Functional role of posterior digastric muscle during deglutition. Neuroscience 2022 (San Diego, USA), 2022.11.12-16.
- 10) Jin Magara, Taku Suzuki, Kouta Nagoya, Reiko Ita, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Relationship between tongue pressure and pharyngeal dysphagia in multiple system atrophy and amyotrophic lateral sclerosis patients. European Society of Swallowing

- Disorder, 12th annual congress (Leuven, Belgium), 2022.9.15-16.
- 11) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Nobuaki Saka, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Short-term and long-term effects of unilateral external carotid artery ligation on masticatory and swallowing functions in rats. European Society of Swallowing Disorder, 12th annual congress (Leuven, Belgium), 2022.9.15-16.
 - 12) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Midori Yoshihara, Kouta Nagoya, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effects of potassium ions on swallowing responses in rats. European Society of Swallowing Disorder, 12th annual congress (Leuven, Belgium), 2022.9.15-16.
 - 13) 岩森 大, 真柄 仁, 小貫和佳奈, 板 離子, 辻村 恭憲, 井上 誠: 炭酸飲料へのとろみ付与がもたらす随意嚥下運動の変調. 第 46 回日本嚥下医学会および学術講演会, ウィンクあいち (愛知県・名古屋市), 2023 年 3 月 3-4 日. 第 46 回日本嚥下医学会および学術講演会プログラム・抄録集 144 頁, 2023.
 - 14) 落合勇人, 板 離子, 小貫和佳奈, 前川和也, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 唾液分泌低下及びマーガリン添加がパンの咀嚼・嚥下運動と食塊特性にもたらす影響. 第 46 回日本嚥下医学会および学術講演会, ウィンクあいち (愛知県・名古屋市), 2023 年 3 月 3-4 日. 第 46 回日本嚥下医学会および学術講演会プログラム・抄録集 106 頁, 2023.
 - 15) 板 離子, 落合勇人, 小貫和佳奈, 真柄 仁, 辻村 恭憲, 井上 誠: 持続的舌圧発揮時の舌筋および舌骨筋群の筋電図学的分析. 第 46 回日本嚥下医学会および学術講演会, ウィンクあいち (愛知県・名古屋市), 2023 年 3 月 3-4 日. 第 46 回日本嚥下医学会および学術講演会プログラム・抄録集 131 頁, 2023.
 - 16) 中嶋優太, 辻村恭憲, 吉原 翠, 那小屋公太, 真柄 仁, 井上 誠: 麻酔ラットへのアトロピン静脈内投与がもたらす嚥下誘発の変調効果. 第 68 回日本顎口腔機能学会学術大会, 新潟市民プラザ (新潟県・新潟市), 2022 年 12 月 17-18 日. 第 68 回日本顎口腔機能学会学術大会プログラム・抄録集 28-29 頁, 2022.
 - 17) Titi Chotirungsan, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Modulation of digastric reflex responses during chewing, licking and swallowing in conscious rats. 第 68 回日本顎口腔機能学会学術大会, 新潟市民プラザ (新潟県・新潟市), 2022 年 12 月 17-18 日. 第 68 回日本顎口腔機能学会学術大会プログラム・抄録集 40-41 頁, 2022.
 - 18) 筒井雄平, 辻村恭憲, Titi Chotirungsan, 真柄 仁, 井上 誠: ラットの嚥下における顎二腹筋後腹の活動. 第 68 回日本顎口腔機能学会学術大会, 新潟市民プラザ (新潟県・新潟市), 2022 年 12 月 17 - 18 日. 第 68 回日本顎口腔機能学会学術大会プログラム・抄録集 38-39 頁, 2022.
 - 19) 川田里美, Titi Chotirungsan, 筒井雄平, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: カリウムイオンの嚥下誘発促進効果. 第 68 回日本顎口腔機能学会学術大会, 新潟市民プラザ (新潟県・新潟市), 2022 年 12 月 17-18 日. 第 68 回日本顎口腔機能学会学術大会プログラム・抄録集 26-27 頁, 2022.
 - 20) 落合勇人, 板 離子, 小貫和佳奈, 真柄 仁, 辻村 恭憲, 井上 誠: 唾液分泌低下及びスプレッド添加がパン咀嚼・嚥下運動にもたらす影響. 第 2 回新潟県リハビリテーション専門職学術大会, 朱鷺メッセ (新潟県・新潟市), 2022 年 12 月 10-11 日.
 - 21) 日野遥香, 鈴木 拓, 板 離子, 坂井 遥, 山田真子, 前川和也, 板 離子, Sirima Kulvanich, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 新たな素材の嚥下調整食品の臨床応用への可能性. 2022 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟大学 (新潟県・新潟市), 2022 年 11 月 12 日.
 - 22) 岩森 大, 真柄 仁, 小貫和佳奈, 板 離子, 辻村 恭憲, 井上 誠: 炭酸飲料における刺激とテクスチャの違いが随意嚥下活動に及ぼす影響. 2022 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟大学 (新潟県・新潟市), 2022 年 11 月 12 日.
 - 23) 鈴木 拓, 真柄 仁, 那小屋公太, 板 離子, 井上 誠: 神経変性疾患患者における舌圧と摂食嚥下障害との関連. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 383 頁, 2022.
 - 24) 日野遥香, 笹 杏奈, 坂井 遥, 山田真子, 高波里帆, 前川和也, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 種々の嚥下調整食品が嚥下動態に与える影響 -臨床応用への可能性-. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 481 頁, 2022.
 - 25) 小貫和佳奈, 真柄 仁, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 中嶋優太, 板 離子, 川田里美, 筒井雄平, 井上 誠: 口腔機能低下症患者に対する管理指導による効果の検討. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテ

- ーション学会学術大会プログラム・抄録集 388 頁.
- 26) Reiko Ita, Yuto Ochiai, Wakana Onuki, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Electromyographic analysis of tongue and hyoid muscles during tongue pressure generation. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 272 頁, 2022.
 - 27) 前川和也, 真柄 仁, 小貫和佳奈, 筒井雄平, 坂井 遥, 筒井亜香里, 井上 誠: 降下性壊死性縦隔炎による嚥下障害に対しバルーン訓練で対応した症例. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 390 頁, 2022.
 - 28) 板 離子, 笹 杏奈, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 種々の嚥下調整食品が嚥下動態に与える影響 - 健康者での検証 -. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 472 頁, 2022.
 - 29) Yuhei Tsutsui, Titi Chotirungsan, Satomi Kawada, Kajita Piriyaprasath, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura, Makoto Inoue: Functional role of posterior belly of digastric muscle in swallowing in the rat. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 264 頁, 2022.
 - 30) Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Nobuaki Saka, Takanori Tsujimura, Jin Magara, Makoto Inoue: Effects of unilateral external carotid artery ligation on mastication and swallowing in rats. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 266 頁, 2022.
 - 31) Satomi Kawada, Titi Chotirungsan, Yuhei Tsutsui, Midori Yoshihara, Kouta Nagoya, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Effect of potassium ions on swallowing initiation in rats. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 265 頁, 2022.
 - 32) Yuta Nakajima, Yuhei Tsutsui, Satomi Kawada, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Makoto Inoue: Facilitatory effect of atropine on initiation of swallowing reflex evoked by distilled water in anesthetized rats. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 270 頁, 2022.
 - 33) 坂井 遥, Sirima Kulvanich, 笹 杏奈, 高波里帆, 山田真子, 井上 誠: 急性期脳卒中入院患者の経口摂取再開に関連する因子の検討. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 339 頁, 2022.
 - 34) 落合勇人, 板 離子, 小貫和佳奈, Sirima Kulvanich, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 唾液分泌低下がパンの咀嚼嚥下動態に与える影響. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 415 頁, 2022.
 - 35) 出羽 希, 伊藤加代子, 坂井 遥, 落合勇人, 秋元幸平, 井上 誠: 「食の支援ステーション」来訪者の介護食品ニーズに関する調査. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 520 頁, 2022.
 - 36) 中尾真理, 鈴鴨よしみ, 真柄 仁: 摂食嚥下障害者介護負担調査票 CARES 日本語版作成の試み-持続可能な介護を目指して-. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 531 頁, 2022.
 - 37) 山田真子, 落合勇人, 那小屋公太, 渡邊賢礼, 辻村恭憲, 井上 誠: 聴覚障害患者にタブレット端末を使用して摂食嚥下リハビリテーションを実施した一例. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ (千葉県・千葉市), 2022 年 9 月 23-24 日. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 539 頁, 2022.
 - 38) 筒井亜香里, 坂井 遥, 真柄 仁, 小貫和佳奈, 筒井雄平, 井上 誠: Beckwith-Wiedemann 症候群における出生後の哺乳障害に対応した 2 症例. 第 28 回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕

張メッセ(千葉県・千葉市), 2022年9月23-24日.
第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会プログラム・抄録集 545頁, 2022.

- 39) 船山さおり, 伊藤加代子, 井上 誠: 味覚センサーによる自発性異常味覚患者の苦味測定の試み. 日本味と匂い学会第56回大会, 仙台国際センター(宮城県・仙台市), 2022年8月22-24日. 日本味と匂い学会第56回大会プログラム・予稿集 26頁, 2022.
- 40) 井上 誠: 咀嚼の評価法を再考する. 第33回日本老年歯科医学会学術大会老年歯科医学会, 新潟芸術文化会館(新潟県・新潟市), 2022年6月11日.
- 41) 小貫和佳奈, 真柄 仁, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 井上 誠: 当院外来通院患者に対する口腔機能低下症の評価および管理指導の検討. 第33回日本老年歯科医学会学術大会, りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館(新潟県・新潟市)/WEB オンデマンド配信, 2022年6月10-12日. 老年歯科医学, 37(2):95, 2022年.
- 42) 落合勇人, 小貫和佳奈, 高田夏佳, 伊藤加代子, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 唾液分泌抑制がもたらす固形食品摂取時の咀嚼嚥下運動への影響. 第33回日本老年歯科医学会学術大会, りゅーとぴあ新潟市芸術文化会館(新潟県・新潟市)/WEB オンデマンド配信, 2022年6月11-12日. 老年歯科医学, 37(2): 123-124, 2022.
- 43) 板 離子, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 舌圧發揮時の舌筋および舌骨筋群の筋電図学的分析. 第67回日本顎口腔機能学会学術大会, 松本歯科大学図書館(長野県・塩尻市), 2022年5月28-29日.
- 44) 落合勇人, 板 離子, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 唾液分泌低下がパン咀嚼嚥下運動にもたらす影響. 第67回日本顎口腔機能学会学術大会, 松本歯科大学図書館(長野県・塩尻市), 2022年5月28-29日.

【受賞】

- 1) Takanori Tsujimura, Brendan Canning, Makoto Inoue: NMDA and non-NMDA glutamate receptors in the rostral-commissural, medial, and ventrolateral nTS subnuclei are involved in the initiation of swallows in anesthetized guinea pigs. Third Place, Scientific Abstract Oral Presentation, 31st Dysphagia Research Society Annual Meeting.
- 2) 建部一毅, 石田雅樹, 真柄 仁, 小幡裕明, 樋浦 徹, 前川和也, 伊藤加代子, 辻村恭憲, 井上 誠: 摂食嚥下機能評価をベースとした誤嚥性肺炎患者に対するクリニカルパス策定と有効性の検討. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会 2022年度奨励論文賞.

- 3) 板 離子, 真柄 仁, 辻村恭憲, 井上 誠: 舌圧發揮時の舌筋および舌骨筋群の筋電図学的分析. 第67回日本顎口腔機能学会学術大会優秀賞.

【その他】

- 1) 井上 誠: BSN NEWS ゆうなび, 2023年3月3日.
- 2) 伊藤加代子: 老年歯科医学用語辞典第3版(日本老年歯科医学会編). 医歯薬出版, 2023.3.
- 3) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2022年度第5回ステーション会員勉強会, 新潟大学(新潟県・新潟市)/ハイブリット開催, 2023年2月2日.
- 4) 井上 誠: Dysphagia rehabilitation and related research. 5th World Prestigious Scholar Lecture Series(ソウル大学リモート講義). 2023年1月27日.
- 5) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2022年度第4回ステーション会員勉強会(リモート開催). 2023年1月26日.
- 6) 井上 誠: 舌苔清掃具用シートの製造方法. 国際特許. 出願国, 米国; 登録番号US 11,542,647 B2; 登録日: 令和5年1月3日.
- 7) 井上 誠: 噛むこと・飲み込むこと. 新潟大学公開講座, 新潟大学, Web開催, 2022年12月24日.
- 8) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2022年度第3回ステーション会員勉強会, 新潟大学(新潟県・新潟市)/ハイブリット開催, 2022年12月8日.
- 9) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2022年度第2回講演会, 新潟大学(新潟県・新潟市)/ハイブリット開催, 2022年12月3日.
- 10) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2022年度第2回ステーション会員勉強会(リモート開催), 2022年10月27日.
- 11) 伊藤加代子: 唾液と味覚の役割. 新潟大学公開講座, 新潟大学, Web開催, 2022年11月26日.
- 12) 真柄 仁, 鈴木 拓, 井上 誠: 唾液分泌量の変化は咀嚼嚥下をいかに変調するか. 日本顎口腔機能学会 第12回顎口腔セミナーワークショップ1, サントピア岡山総社(岡山県・総社市), 2022年10月7-9日.
- 13) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2022年度第1回ステーション会員勉強会, 新潟大学(新潟県・新潟市)/ハイブリット開催, 2022年9月29日.
- 14) 伊藤加代子: 口腔乾燥症の診断と治療. 第32回日本口腔内科学会, 第33回日本臨床口腔病理学会, 第35回日本口腔診断学会3学会合同学術大会共催ランチョンセミナー, 札幌市教育文化会館(北海道・札幌市), 2022年9月23日.
- 15) 伊藤加代子: 女性のライフステージに応じた歯科疾患とその対応法. 1D オンラインセミナー, Web開催

催, 2022 年 9 月 9 日.

- 16) 伊藤加代子: 口腔ケアの実際と食事介助の基本. 2022 年度口腔ケア研修会, 新潟県社会福祉協議会, Web 開催, 2022 年 8 月 9 日.
- 17) 伊藤加代子: 口腔乾燥症に対する漢方医学の役割. 第 41 回日本歯科医学教育学会共催セミナー, オンデマンド配信, 2022 年 7 月 23 日-8 月 20 日.
- 18) 伊藤加代子: 薬剤性口腔乾燥への対応. トビエースオンラインセミナー, ファイザー製薬, Web 開催, 2022 年 7 月 8 日.
- 19) 井上 誠: 摂食嚥下障害の在宅診療を支えるシステム作りを目指して. 歯界展望 Vol. 140 No1, 2022 年 7 月号 132-138 頁.
- 20) 伊藤加代子: シルバー介護新聞, 2022 年 7 月 10 日.
- 21) 辻村恭憲: 医局紹介 新潟大学大学院医歯学総合研究科 摂食嚥下リハビリテーション学分野, 2022 年 7 月号 172 頁, クインテッセンス.
- 22) 新潟大学が摂食嚥下障害「在宅診療支援システム」の構築に向けクラウドファンディング募集. 財界にいがた, 2022 年 6 月号 76-77 頁.
- 23) 井上 誠: 新潟大学歯学部への取り組み紹介. 副知事訪問, 2022 年 6 月 10 日.
- 24) 真柄 仁, 井上 誠, 羽尾直仁: 新潟大学医歯学総合病院歯科外来患者, 新潟南病院回復期病棟患者における口腔機能低下症の評価. 新潟県フレイル対策二次予防事業等実施報告会, 新潟県医師会館 (新潟県・新潟市), 2022 年 6 月 9 日.
- 25) にいがた摂食嚥下障害サポート研究会 2022 年度第 1 回講演会 (リモート開催), 2022 年 5 月 14 日.
- 26) 中嶋優太: 令和 4 年度新潟大学フェローシップ支援, 2022.
- 27) 川田里美: 令和 4 年度新潟大学フェローシップ支援, 2022.
- 28) 筒井雄平: 令和 4 年度新潟大学フェローシップ支援, 2022.
- 29) 板 離子: 令和 4 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト, 2022.
- 30) 出羽 希: 令和 4 年度未来のライフ・イノベーションを創出するフロンランナー育成プロジェクト, 2022.

硬組織形態学分野

【論文】

- 1) Kondo S, Morita W, Ohshima H: The biological

significance of tooth identification based on developmental and evolutionary viewpoints. J Oral Biosci 64(3): 287-302, 2022.

- 2) Tsuneki M: Deep learning models in medical image analysis. J Oral Biosci 64(3): 312-320, 2022.
- 3) 興地隆史, 重谷佳見, 吉羽邦彦, 大島勇人: GaAlAs 半導体レーザーの象牙質・歯髄複合体に対する硬組織形成促進作用. 日本レーザー医学会誌 43(2): 113-119, 2022.
- 4) 内藤嘉紀, 常木雅之, 岡部義信, 秋葉純, 矢野博久: EUS-FNA 組織検体を用いた深層学習モデル. 肝胆膵 84(1): 93-100, 2022.
- 5) Ohshima H, Mishima K: Oral biosciences: The annual review 2022. J Oral Biosci 65(1): 1-12, 2023.
- 6) Tsuneki M: Editorial on Special Issue "Artificial intelligence in pathological image analysis". Diagnostics (Basel) 13(5): 828, 2023.
- 7) Kanavati F, Ichihara S, Tsuneki M: A deep learning model for breast ductal carcinoma in situ classification in whole slide images. Virchows Arch 480(2): 1009-1022, 2022.
- 8) Ida-Yonemochi H, Takeuchi K, Ohshima H: Role of chondroitin sulfate in the developmental and regeneration process of dental pulp tissue in mice. Cell Tissue Res 388(1): 133-148, 2022.
- 9) Takami H, Hayashi T, Sato N, Ohshima H: Macroscopic anatomy of the layered structures of fasciae and facial muscles in the temporal-malar-mandible-neck region. J Craniofac Surg 33(7): 2258-2266, 2022.
- 10) Suzuki-Barrera K, Makishi S, Nakatomi M, Saito K, Ida-Yonemochi H, Ohshima H: Role of osteopontin in the process of pulpal healing following tooth replantation in mice. Regen Ther 21: 460-468, 2022.
- 11) Kim P, Park J, Lee DJ, Mizuno S, Shinohara M, Hong CP, Jeong Y, Yun R, Park H, Park S, Yang KM, Lee MJ, Jang SP, Kim HY, Lee SJ, Song SU, Park KS, Tanaka M, Ohshima H, Cho JW, Sugiyama F, Takahashi S, Jung HS, Kim SJ: Mast4 determines the cell fate of MSCs for bone and cartilage development. Nat Commun 13(1): 3960, 2022.
- 12) Duncan HF, Kobayashi Y, Yamauchi Y, Quispe-Salcedo A, Chao Feng Z, Huang J, Partridge NC, Nakatani T, D'Armiento J, Shimizu E: The critical role of MMP13 in regulating tooth development and reactionary dentinogenesis repair through the Wnt signaling pathway. Front Cell Dev Biol 10: 883266, 2022.
- 13) Kanavati F, Hirose N, Ishii T, Fukuda A, Ichihara S, Tsuneki M: A deep learning model for cervical cancer

- screening on liquid-based cytology specimens in whole slide images. *Cancers (Basel)* 4(5): 1159, 2022.
- 14) Tsuneki M, Abe M, Kanavati F: A deep learning model for prostate adenocarcinoma classification in needle biopsy whole-slide images using transfer learning. *Diagnostics (Basel)* 12(3): 768, 2022.
 - 15) Tsuneki M, Kanavati F: Deep learning models for poorly differentiated colorectal adenocarcinoma classification in whole slide images using transfer learning. *Diagnostics (Basel)* 11(11): 2074, 2022.
 - 16) Tsuneki M, Abe M, Kanavati F: Transfer learning for adenocarcinoma classifications in the transurethral resection of prostate whole-slide images. *Cancers (Basel)* 14(19): 4744, 2022.
 - 17) Tsuneki M, Kanavati F: Weakly supervised learning for multi-organ adenocarcinoma classification in whole slide images. *PLoS One* 17(11): e0275378, 2022.
 - 18) Tsuneki M, Kanavati F: Weakly supervised learning for poorly differentiated adenocarcinoma classification in gastricendoscopic submucosal dissection whole slide images. *Technol Cancer Res Treat* 21: 15330338221142674, 2022.
 - 19) Tsuneki M, Abe M, Kanavati F: Deep learning-based screening of urothelial carcinoma in whole slide images of liquid-based cytology urine specimens. *Cancers (Basel)* 15(1): 226, 2022.
 - 20) Maruyama S, Sano H, Wakui A, Kawachi M, Kaku N, Takahashi N, Miyazawa M, Abe T, Sato A, Washio J, Abiko Y, Mayanagi G, Tanaka K, Takahashi N, Sato T: Microbiota profiles on the surface of non-woven fabric masks after wearing. *J Oral Biosci* 64(3): 376-379, 2022.
 - 21) Kawachi M, Wakui A, Kaku N, Takahashi N, Maruyama S, Washio J, Abiko Y, Mayanagi G, Tanaka K, Takahashi N, Sato T: Profiling of the microbiota in the remaining sports drink and orange juice in plastic bottles after direct drinking. *J Oral Biosci* 64(4): 437-444, 2022.
 - 22) Sano H, Wakui A, Kawachi M, Maruyama S, Moriyama S, Nishikata M, Washio J, Abiko Y, Mayanagi G, Sakashita R, Tanaka K, Takahashi N, Sato T: Profiling of the microbiota of breast milk before and after feeding with an artificial nipple. *J Oral Biosci* 64(4): 431-436, 2022.
 - 23) Arai H, Inaba A, Ikezaki S, Kumakami-Sakano M, Azumane M, Ohshima H, Morikawa K, Harada H, Otsu K: Energy metabolic shift contributes to the phenotype modulation of maturation stage ameloblasts. *Front Physiol* 13: 1062042, 2022.
 - 24) Adpaikar AA, Lee JM, Lee DJ, Cho HY, Ohshima H, Moon SJ, Jung HS: Epithelial plasticity enhances regeneration of committed taste receptor cells following nerve injury. *Exp Mol Med* 55(1): 171-182, 2023.
 - 25) Sano H, Nakakura-Ohshima K, Okada Y, Sato T, Ohshima H: The effect of intentionally perforating the floor of the pulp chamber on pulpal healing after tooth replantation in mice. *J Oral Biosci* 65(1): 31-39, 2023.
 - 26) Shimomura-Kuroki J, Tsuneki M, Ida-Yonemochi H, Seino Y, Yamamoto K, Hirao Y, Yamamoto T, Ohshima H: Establishing protein expression profiles involved in tooth development using a proteomic approach. *Odontology* 2023 Feb 16. doi: 10.1007/s10266-023-00790-4. Online ahead of print.
 - 27) Ohkura N, Yoshida K, Yoshida N, Edanami N, Ohshima H, Takenaka S, Noiri Y: SVCT2-GLUT1-mediated ascorbic acid transport pathway in rat dental pulp and its effects during wound healing. *Sci Rep* 13(1): 1251, 2023.
 - 28) Makishi S, Watanabe T, Saito K, Ohshima H: Effect of Hydroxyapatite/ β -tricalcium phosphate on osseointegration after implantation into mouse maxilla. *Int J Mol Sci* 24(4): 3124, 2023.
 - 29) Tsuneki M, Abe M, Ichihara S, Kanavati F: Inference of core needle biopsy whole slide images requiring definitive therapy for prostate cancer. *BMC Cancer* 23(1): 11, 2023.
 - 30) Li M, Abe M, Nakano S, Tsuneki M: Deep learning approach to classify cutaneous melanoma in a whole slide image. *Cancers (Basel)* 15(6): 1907, 2023.
- 【商業誌, その他】**
- 1) 大島勇人: 生命科学研究における電子線マイクロアナライザーの有用性. 新潟大学共用設備基盤センター年報 2021 第 5 号: 34-39, 2022.
 - 2) 勝見祐二: 巻頭特集 インプラントの臨床解剖学 口底部血管走行を知らば百戦危うからず. *デンタルダイヤモンド* 47(12): 27-47, 2022.
 - 3) 大島勇人: 接合上皮の由来・維持機構の解明. *細胞* 55(5): 328-329, 2023.
- 【研究費獲得】**
- 1) 依田浩子, 入江太郎, 大島勇人: 歯の形成過程における糖代謝リプログラミングの制御機構. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09826, 2022.
 - 2) Angela Quispe Salcedo: Cross-talk among odontoblasts,

dental pulp stem cells, and immune cells after exogenous injuries. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 22K21011, 2022.

- 3) 大島邦子, 大島勇人, 早崎治明: 外傷歯における神経伝達シグナルと人為的血流調節による歯髄静的幹細胞賦活の試み. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C)「一般」, 20K10224, 2022.
- 4) 下村淳子, 森田貴雄, 大島勇人: 歯の発生過程における上皮間葉相互作用のプロテオミクスによる解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10237, 2022.
- 5) 武藤徳子, 石井信之, 大島勇人: 歯髄治癒過程における神経伝達物質と自然免疫制御による象牙質再生機構の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K09883, 2022.
- 6) 興地隆史, 川島伸之, 大島勇人, 野田園子, 藤井真由子: 低酸素特異的転写調節因子 HIF1 α が誘導する歯髄組織特異的硬組織誘導のメカニズム. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K09960, 2022.
- 7) 大倉直人, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 柿原嘉人, 大島勇人: アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10147, 2022.
- 8) 大島勇人: 令和4年度科研費応募支援プログラム経費, 2022.
- 9) 大島勇人, 佐藤雅彦, 高見寿子: 解剖学模型の開発. 共同研究, 2022.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Hayato Ohshima: Odontoblast-like cell differentiation process after exogenous tooth injuries and prospects for regenerative medicine in dentistry. Bone and dental biology: Regenerative dentistry. Tissue Engineering and Regenerative Medicine International Society Asia-Pacific Chapter Conference 2022 (TERMIS-AP 2022), Jeju, South Korea, 2022. 10. 5-8.
- 2) 依田浩子: 女性研究者開花プラン(桜) 研修報告. 令和4年度新潟大学ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)シンポジウム, Web開催, 2022年9月30日.
- 3) 大島勇人: 若手研究者のための英語論文アブストラクトとカバーレターの書き方・転載許諾について. 歯科基礎医学会・オンラインセミナー(協賛: エルゼビア・ジャパン株式会社), 新潟(ハイブリッド形式), 2022年12月23日.
- 4) 大島勇人, 原田英光: 成熟期エナメル芽細胞と破骨

細胞の異同を形態学的に考える. 2023年3月27-29日. 第128回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 2022 p128.

- 5) 大津圭史, 池崎晶二郎, 後藤(松元)奈緒美, 中西(松井)真弓, 依田浩子, 大島勇人, 原田英光; 3. 中西(松井)真弓, 松元奈緒美: 破骨細胞の分泌リソソーム輸送における液胞型プロトンポンプ ATPase の役割. 2023年3月27-29日. 第128回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 2022 p128.

【学会発表】

- 1) 依田浩子, 大津圭史, 原田英光, 大島勇人: エナメル上皮細胞分化におけるオートファジーの役割. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022年9月17-19日. J Oral Biosci Suppl 2022, p.95, 2022.
- 2) Angela Quispe-Salcedo, Kiyoko Suzuki, 中富満城, 依田浩子, 大島勇人: The interaction between osteopontin and stem/progenitor cells determines the pulpal healing following tooth replantation in mice. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022年9月17-19日. J Oral Biosci Suppl 2022, p.96, 2022.
- 3) 佐野拓人, 大島邦子, 岡田康男, 佐藤拓一, 大島勇人: 髄床底部への意図的穿孔形成がマウス歯の再植後の歯髄静的幹細胞動態に及ぼす影響. 第64回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022年9月17-19日. J Oral Biosci Suppl 2022, p.239, 2022.
- 4) 勝見祐二, 星名秀行, 鶴巻 浩, 富原 圭: 口蓋正中粘膜を用いた顎堤形成術の臨床的検討. 第26回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 東京, 2022年11月26-27日. 第26回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会 プログラム・抄録集, P22.
- 5) Angela Quispe-Salcedo, Tomohiko Yamazaki, Hiroko Ida-Yonemochi, Hayato Ohshima: Effects of synthetic CpG-oligodeoxynucleotides on the healing process of heavily injured tooth pulp. 第22回日本再生医療学会総会, 京都, 2023年3月23-25日.
- 6) 大島秀介, 高見寿子, 勝見祐二, 植木雄志, 堀井 新, 大島勇人: 眼窩下神経の走向パターン解析と損傷リスクについて. 第128回日本解剖学会総会・全国学術集会, 仙台, 2022年3月18-20日. 第128回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 2022 p151.
- 7) 依田浩子, 大津圭史, 原田英光, 大島勇人: オートファジーによるエナメル上皮幹細胞の老化制御. 第128回日本解剖学会総会・全国学術集会, 仙台, 2022年3月18-20日. 第128回日本解剖学会総会・全国

【受賞】

- 1) 大島秀介, 高見寿子, 勝見祐二, 植木雄志, 堀井 新, 大島勇人: 眼窩下神経の走向パターン解析と損傷リスクについて. 第 128 回日本解剖学会全国学術集会 肉眼解剖学トラベルアワード.

【その他】

- 1) Ohshima H : Vice Editor-in-Chief, Journal of Oral Biosciences
- 2) Ohshima H: Section Editor, Regenerative Therapy
- 3) Ohshima H: Editorial Board, Frontiers in Physiology
- 4) Ida-Yonemochi H: Editorial Board, Frontiers in Physiology
- 5) Ida-Yonemochi H: Managing Editor, Anatomical Science International
- 6) Tsuneki M: Associate Editor, Technology in Cancer Research & Treatment
- 7) Tsuneki M: Guest Editor, Diagnostics (Basel)
- 8) 大島勇人: インプラントに必要な口腔解剖学と口腔組織学, 日本橋インプラントセンター研修会, 東京, 2022 年 8 月 25 日.
- 9) 大島勇人: 歯周組織恒常性におけるマラッセの上皮遺残の役割. 口腔生命科学分野 ミニシンポジウム「歯周組織・顎形成の Eureka Eve (エウレカ前夜)」, 徳島, 2022 年 9 月 16 日.
- 10) 大島勇人: 象牙質・歯髄複合体の発生と再生に関する研究, 知の広場サイエンスセミナー, Web 開催, 2022 年 11 月 18 日.
- 11) Hayato Ohshima: The relationship between dental pulp stem/progenitor cells and odontoblast-like cells after exogenous stimuli. ソウル国立大学歯学部特別講義, ソウル, 大韓民国, 2022 年 10 月 4 日.
- 12) Hayato Ohshima: Effects of intracellular enzymatically synthesized glycogen on pulpal healing following tooth replantation. 歯の発生と再生に関する国際セミナー, 花巻, 2023 年 3 月 7-8 日.
- 13) Angela Quispe-Salcedo: Effectiveness of bioactive agents for the treatment of injured dental pulp using in vivo approaches. 歯の発生と再生に関する国際セミナー, 花巻, 2023 年 3 月 7-8 日.
- 14) 大島勇人: (企画) 第 28 回産学連携フォーラム (歯科再生医療産学連携会議主催), 矢巾, 2022 年 6 月 10 日.
- 15) 原田英光, 大島勇人: (企画) 第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会, シンポジウム かたちと機能の調和を考える比較細胞学のこころみ, 1. 大島

勇人, 原田英光: 成熟期エナメル芽細胞と破骨細胞の異同を形態学的に考える; 2. 大津圭史, 池崎晶二郎, 後藤 (松元) 奈緒美, 中西 (松井) 真弓, 依田浩子, 大島勇人, 原田英光; 3. 中西 (松井) 真弓, 松元奈緒美: 破骨細胞の分泌リソソーム輸送における液胞型プロトンポンプ ATPase の役割; 岡部幸司, 進 正志, 岡本富士雄, 鍛冶屋 浩: TRP チャネルを介する分化および機能の調節機構—エナメル芽細胞と破骨細胞の比較; 自見英治郎: p130Cas のエナメル質形成過程における生理機能. 2023 年 3 月 27-29 日. 第 128 回日本解剖学会総会・全国学術集会 講演プログラム・抄録集, 2022 p127-129.

- 16) 飛田護邦, 大島勇人: (企画) 第 22 回日本再生医療学会総会, シンポジウム 研究者と企業との連携による歯科再生医療の臨床応用に向けた取り組み, 1. 高橋 克: 先天性無歯症に対する分子標的薬の開発—USAG-1 を標的分子とした歯再生治療—; 2. 中島美砂子: 歯髄幹細胞と細胞遊走因子を用いた歯髄再生技術の開発; 3. 永田昌毅: 歯槽骨と歯周組織を回復する自費再生治療の普及; 4. 志水秀郎: 歯科医療イノベーション研究推進への取組; 5. 飛田護邦: 開発シーズの社会実装を目指した企業と研究者の支援体制の構築, 第 22 回日本再生医療学会総会, 京都, 2023 年 3 月 23-25 日.
- 17) 大島勇人: 学術論文作成と魅力的なプレゼンテーション法について. 新潟大学医学部保健学科リサーチ・メソッド・アドバンス, Web 講義, 2022 年 7 月 2 日.
- 18) 大島勇人: 学術論文作成に必要な効率的な PubMed 文献検索法と画像処理について. 新潟大学医学部保健学科リサーチ・メソッド・アドバンス, Web 講義, 2022 年 7 月 2 日.
- 19) 大島勇人: エンドドンティクス. 神奈川歯科大学特別講義, 横須賀, 2022 年 8 月 30 日.
- 20) 大島勇人: 組織学の研究法. 新潟大学医学部保健学科特別講義, 新潟, 2022 年 11 月 5 日.
- 21) 依田浩子: 歯の形態形成における糖代謝調節機構. 日本大学松戸歯学部大学院特別講義, Web 講義, 2022 年 11 月 17 日.
- 22) 依田浩子: 歯の形態形成におけるオートファジーの役割. 岩手医科大学大学院講義, 矢巾, 2022 年 11 月 24 日.
- 23) 大島勇人: 象牙質・歯髄複合体の発生と再生. 愛知学院大学歯学会「学生のための講演会」, 名古屋, 2022 年 12 月 10 日.
- 24) 大島勇人: 外的侵襲後の細胞外マトリックスと歯髄幹細胞/前駆細胞間相互作用. 東京医科歯科大学大学院特別セミナー, 東京, 2023 年 2 月 9 日.

口腔病理学分野

【著書】

- 1) 田沼順一：口腔細胞診は重大な疾患を簡単に見抜くー今すぐできる液状化検体細胞診（LBC 法）を選択肢にするためにー。歯界展望, 140 (3): 500-508, 2022.
- 2) 田沼順一：口腔上皮の反応異型と上皮内扁平上皮癌。病理と臨床, 40 (3): 281-283, 2022.

【論文】

- 1) Nagai T, Yamazaki M, Nishikawa A, Kodama Y, Nishiyama H, Hayashi T, Tanuma J, Takagi R, Tomihara K. Rosai-Dorfman disease of the maxilla: A rare report and literature review. *J Oral Maxillofac Surg Med Pathol*, 34; 665-671, 2022.
- 2) Kawaharada M, Yamazaki M, Maruyama S, Abé T, Nyein Nyein Chan, Kitano T, Kobayashi T, Maeda T, Tanuma J. Clinicopathologic factors influencing the screening accuracy of oral cytology: A retrospective cohort study. *Oncol Lett*, 24 (5): 385, 2022.
- 3) Abé T, Yamazaki M, Maruyama S, Ikeda N, Sumita Y, Tomihara K, Tanuma J. Adenosquamous Carcinoma with the Acantholytic Feature in the Oral Cavity: A Case Report and Comprehensive Literature Review. *Diagnostic*, 12: 2398, 2022.
- 4) Chan NN, Yamazaki M, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J. Solitary central osteoma of the mandible with unusual clinicoradiological presentations: a case report and literature review. *Oral Sci Int*, July 1-7, 2022.
- 5) Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Kato Y, Kano H, Tanuma J. Liquid-based cytology for differentiating two cases of pemphigus vulgaris from oral squamous cell carcinoma. *Daig Cytol*, 51 (5): E170-E175, 2023.
- 6) 林 孝文, 高村真貴, 小林太一, 新國 農, 勝村剛詞, 富原圭, 田沼順一：口腔癌深達度における画像と病理の discrepancy をどう読むか。口腔腫瘍, 34(4):151-158, 2022.
- 7) 齋藤直朗, 丸山 智, 加藤祐介, 竹内涼子, 田沼順一, 小林正治：口腔底部に生じた異所性胃腸管嚢胞の 1 例。日本口腔外科学会, 69(1): 27-31, 2023.
- 8) Chan NN, Yamazaki M, Maruyama S, Abe T, Haga K, Kawaharada M, Izumi K, Kobayashi T, Tanuma J. Cholesterol Is a Regulator of CAV1. Localization and Cell Migration in Oral Squamous Cell Carcinoma. *Int J Mol Sci*, 24(7), 2023.

【研究費獲得】

- 1) 田沼順一：クリニカルシーケンス実現へ向けた舌癌多段階発がんモデルにおける基礎的研究。日本学術振興会科学研究費補助金。基盤研究(C), 19K10069, 2022.
- 2) 丸山 智：細胞外基質環境下における腫瘍特異的な CD73 誘導低酸素応答性増殖機構の解明。日本学術振興会科学研究費補助金。基盤研究(C), 21K10109, 2022.
- 3) 山崎 学：死細胞貪食による口腔がん細胞活性化：脂質クオリティが果たす役割を探る。日本学術振興会科学研究費補助金。基盤研究(C), 21K09856, 2022.
- 4) 阿部達也：口腔扁平上皮癌の間質浸潤と側方上皮進展：その相反的制御と分子基盤。日本学術振興会科学研究費補助金。基盤研究(C), 21K09841, 2022.
- 5) 田沼順一, 山崎 学, 阿部達也, 丸山 智, 前田健康：口腔がんに対する地域医療体制の基盤の構築。令和 4 年度大学改革プロジェクト。2022

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 田沼順一：第 43 回日本医学図書館協会北信越地区会例会, 2023 年 1 月 10 日, 新潟大学医歯学図書館開催。

【学会発表】

- 1) 阿部達也, 山崎 学, 丸山 智, 河原田壮史, ニュエイン ニュエイン チャン, 北野太一, 田沼順一：口腔扁平上皮癌における ladinin-1 の上性格維持および間質浸潤制御機能。第 111 回日本病理学会総会, Web 開催, 2022 年 4 月 14-16 日。同学会総会プログラム・抄録集: 259 頁, 2022.
- 2) 山崎 学, 阿部達也, 丸山 智, ニュエイン ニュエイン チャン, 河原田壮史, 田沼順一：口腔扁平上皮癌細胞における TLR4-NF- κ B 経路を介した死細胞誘導性活性化。第 111 回日本病理学会総会, Web 開催, 2022 年 4 月 14-16 日。同学会総会プログラム・抄録集: 278 頁, 2022.
- 3) ニュエイン ニュエイン チャン, 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, 河原田壮史, 田沼順一：コレステロールは口腔扁平上皮癌細胞の陽性を制御し遊走を促進する。第 111 回日本病理学会総会, Web 開催, 2022 年 4 月 14-16 日。同学会総会プログラム・抄録集: 278 頁, 2022.
- 4) 須田大亮, 船山昭典, 齋藤大輔, 新國農, 丸山 智, 林孝文, 田沼順一, 小林正治：下顎歯肉部転移性腫瘍を契機に診断に至った腭癌の 1 例。第 76 回日本口腔科学会学術集会, 2022 年 4 月 21-23 日, 同学会

総会プログラム・抄録集:58 頁, 2022.

- 5) 内藤絵里子, 小林亮太, 羽賀健太, 齋藤夕子, 山崎学, 田沼順一, 井川和代, 富原 圭, 泉 健次: 正常口腔粘膜細胞と口腔癌細胞を用いた 3 次元 *in vitro* モデル作製法とその応用. 第 76 回日本口腔科学会学術集会, 2022 年 4 月 21-23 日, 同学会総会プログラム・抄録集:34 頁, 2022.
- 6) 飯田明彦, 隅田賢正, 高木律男, 富原 圭, 村上智子, 齋藤功, 阿部達也, 丸山 智, 田沼順一: 難治性急性リンパ性白血病を発症した唇顎裂児への顎裂部腸骨移植経験. 第 46 回日本口蓋学会総会, 2022 年 5 月 27 日. 同学会総会プログラム・抄録集: 19 頁, 2022.
- 7) 秋森俊行, 河原田壮史, 山崎 学, 阿部達也, 丸山智, 田沼順一: 液化化検体細胞診(LBC)法を用いた口腔がんや口腔潜在的悪性疾患に対する新規の早期判定用マーカーの検索. 第 63 回日本臨床細胞学会総会, 2022 年 6 月 12 日. 同学会総会プログラム・抄録集:66 頁, 2022.
- 8) 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 田沼順一: 天疱瘡 2 例の LBC 法における細胞像の検討. 第 39 回新潟県臨床細胞学会学術集会, 2022 年 7 月 2 日. 新潟県臨床細胞学会会報 第 37 号: 54 頁, 2022.
- 9) 秋森俊行, 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, 田沼順一: 液化化検体細胞診 (LBC) 法を用いた口腔がんや口腔潜在的悪性疾患に対する新規の早期判定用マーカーの検索. 令和 4 年度新潟歯学会第 1 回例会, Web 開催, 2022 年 7 月 9 日. 同学会総会抄録集: 6 頁, 2022.
- 10) ニュエイン ニュエイン チャン, 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, 河原田壮史, 田沼順一: Cholesterol promotes migration of oral squamous cell carcinoma cells by regulation front-rear polarity. 令和 4 年度新潟歯学会第 1 回例会, 2022 年 7 月 9 日. 同学会総会抄録集: 6 頁, 2022.
- 11) ニュエイン ニュエイン チャン, 山崎 学, 丸山 智, 阿部達也, 河原田壮史, 田沼順一: Cholesterol promote migration of oral squamous cell carcinoma cells by regulation front-rear polarity. 第 33 回日本臨床口腔病理学会総会, 2022 年 9 月 24 日. 同学会総会抄録集: 34 頁, 2022.
- 12) 河原田壮史, 丸山 智, 山崎 学, 阿部達也, 上野山敦士, 秋森俊行, 小島 拓, 富原 圭, 小林正治, 田沼順一: 口腔細胞診の従来法と LBC 法において判定精度に影響を与える臨床病理学的因子の検討. 第 33 回日本臨床口腔病理学会総会, 2022 年 9 月 24 日. 同学会総会抄録集: 37 頁, 2022.
- 13) 船山昭典, 新美奏恵, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 野澤

舞, 林 孝文, 田沼順一, 芳澤享子, 小林正治: 当科における口腔白板症患者の臨床的検討. 第 35 回日本口腔診断学会総会, 2022 年 9 月 24 日. 同学会総会抄録集: 42 頁, 2022.

- 14) 高村真貴, 小林太一, 新國 農, 勝良剛詞, 山崎学, 田沼順一, 林 孝文: 口腔内超音波診断における舌癌の DOI 計測に影響を与える因子の検討. 日本歯科放射線学会第 3 回秋季学術大会, Web 開催, 2022 年 10 月 7-9 日. 歯科放射線, 62 増刊号 第 3 回秋季学術大会: 37 頁, 2022.
- 15) 齋藤直朗, 阿部達也, 丸山 智, 船山昭典, 西山秀昌, 長谷部大地, 佐久間英伸, 林 孝文, 田沼順一, 小林正治: 診断に苦慮したオトガイ下部紡錘細胞脂肪腫の 1 例. 第 67 回日本口腔外科学会総会, Web 開催, 2022 年 11 月 4 日. 同学会総会プログラム・抄録集: 128 頁, 2022.
- 16) 内藤絵里子, 高田 翔, 羽賀健太, Orakaran Suebsamarn, 小林亮太, 鈴木絢子, 山崎 学, 田沼順一, 富原 圭, 泉 健次: 口腔癌および口腔粘膜 3 次元 *in vitro* モデルに対する重粒子線照射の影響に関する研究—異種放射線治療評価の標準化システムの構築—. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟市, 2022 年 11 月 12 日. 同学会プログラム: 15 頁, 2022.

【その他】

- 1) 田沼順一: 第 26 回歯学部「お口に気になるものがあれば、「口腔細胞診 (歯科検診) はいかがでしょうか?」. COLUMN 新潟大学教員によるコラム 知見と生活のあいだ, 新潟大学季刊広報誌 六花, 44 : 12 頁, 2023.
- 2) 田沼順一: リニューアル・オープンした医歯学図書館へ行こう, 令和 4 年度歯学部ニュース, 141 : 60-63 頁, 2022.
- 3) 阿部達也: 「口腔癌の病理学的解析」. 新潟大学医歯学総合研究科 第 12 回知の広場サイエンスセミナー. 2023 年 3 月 30 日. Web 開催.

歯科薬理学分野

【原著論文】

- 1) Mourao CF*, Lowenstein A, Mello-Machado RC, Ghanaati S, Pinto N, Kawase T, Alves GG, Messori MR. Standardization of Animal Models and Techniques for Platelet-Rich Fibrin Production: a Narrative Review and Guideline.

- Bioengineering in press.
- 2) Ibano N, Inada E, Otake S, Kiyokawa Y, Sakata K, Sato M, Kubota N, Noguchi H, Iwase Y, Murakami T, Sawami T, Kakihara Y, Maeda T, Terunuma M, Terao Y, Saitoh I. The Role of Genetically Modified Human Feeder Cells in Maintaining the Integrity of Primary Cultured Human Deciduous Dental Pulp Cells. *J Clin Med* 11(20):6087; 2022.
 - 3) Thant L, Kakihara Y*, Kaku M, Kitami M, Kitami K, Mizukoshi M, Maeda T, Saito I, Saeki M. Involvement of Rab11 in osteoblastic differentiation: Its up-regulation during the differentiation and by tensile stress. *Biochem Biophys Res Commun* 624:16-22; 2022.
 - 4) Thant L, Kaku M, Kakihara Y, Mizukoshi M, Kitami M, Arai M, Kitami K, Kobayashi D, Yoshida Y, Maeda T, Saito I, Uoshima K, Saeki M. Extracellular Matrix-Oriented Proteomic Analysis of Periodontal Ligament Under Mechanical Stress. *Front Physiol* 13:899699; 2022.
 - 5) Mochizuki T, Ushiki T, Watanabe S, Omori G, Kawase T*. The levels of TGFβ1, VEGF, PDGF-BB, and PF4 in platelet-rich plasma of professional soccer players: A cross-sectional pilot study. *BMC J Orthop Surg Res* 17: Article number:465; 2022.
 - 6) Ushiki T, Mochizuki T, Suzuki K, Kamimura M, Ishiguro H, Suwabe T, Kawase T*. Modulation of ATP Production Influences Inorganic Polyphosphate Levels in Non-Athletes' Platelets at the Resting State. *Int J Mol Sci* 23(19):11293; 2022.
 - 7) Ushiki T, Mochizuki T, Suzuki K, Kamimura M, Ishiguro H, Watanabe S, Omori G, Yamamoto N, Kawase T*. Platelet polyphosphate and energy metabolism in professional male athletes (soccer players): A cross-sectional pilot study. *Physiol Rep* 10(15):e15409; 2022.
 - 8) Masuki H, Uematsu T, Kawabata H, Sato A, Watanabe T, Tsujino T, Nakamura M, Okubo M, Kawase T*. Responses of promyelocytic leukemia HL60 cells as an inflammatory cell lineage model to silica microparticles used to coat blood collection tubes. *Int J Implant Dent* 8:24; 2022.
 - 9) Aizawa H, Uematsu T, Sato A, Masuki H,

Kawabata H, Tsujino T, Isobe K, Kitamura Y, Nagata M, Nakata K, Kawase T*. Non-destructive, spectrophotometric analysis of the thickness of the cell-multilayered periosteal sheet. *Int J Implant Dent* 8:21; 2022.

【総説・オピニオン他】

- 1) Mourão CF*, Lowenstein A, Pinto N, Alves GG, Kawase T, Messori MR. (Lett to Editor) Considerations about the possible "Third Generation" of blood concentrates. *J Oral Maxillofac Surg* 81(3):262; 2023.

【著 書】

- 1) 柿原嘉人、佐藤茉美:酒粕と健康. 日本酒学講義(新潟大学日本酒学センター 編), 244-249 頁,ミネルヴァ書房, 京都, 2022

【学会発表】

- 1) 望月友晴, 牛木隆志, 谷藤 理, 川島寛之, 川瀬知之. プロアスリートに対する多血小板血漿治療のエビデンス (I)血小板ポリリン酸に関する基礎的研究. 第22回日本再生医療学会総会 (京都大, 京都, 2023.3.23-25. 国立京都国際会館)
- 2) Jorge Saez Chandia¹, Keiichiro Okamoto, Mayumi Taiyoji, Kotaro Aihara, Atsushi Kurahashi, Kazuya Kodaira, Kensuke Yamamura, Takafumi Hayashi, Yoshito Kakihara. Effect of Sake lees (Sake-kasu) on osteoblastic differentiation and bone metabolism. 日本農芸化学会 2023 年度広島大会 (オンライン, 2023.3.14-17)
- 3) 大久保将哉, 北村 豊, 川端秀男, 上松隆司, 増木英郎, 渡辺泰典, 奥寺 元, 川瀬知之. シリカ含有採血管の不適切使用による PRF 療法の細胞毒性報告. 日本口腔インプラント学会第 42 回関東甲信越支部学術大会 (信州大, 松本, 2023.2.18-19.ホテルブエナビスタ)
- 4) 相澤八大, 増木英郎, 上松隆司, 大久保将哉, 北村 豊, 渡辺泰典, 奥寺 元, 川瀬知之. PRP の品質と効力に及ぼす抗凝固剤に関する比較研究. 第 52 回日本口腔インプラント学会学術大会 (愛知学院大, 2022.9.24-25. 名古屋国際会議場)

【研究費獲得】

- 1) 船山昭典, 柿原嘉人 (分担) 他:口腔癌進展に

おける癌関連線維芽細胞（CAFs）の TGF- β シグナルの解明．日本学術振興会科学研究補助金，基盤研究(C)，新規．

- 2) 大倉直人，柿原嘉人（分担）他：アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明．日本学術振興会科学研究補助金，基盤研究(C)，継続．
- 3) 加来 賢，柿原嘉人（分担）他：定量プロテオミクスによる歯根膜マトリックスの網羅的解析と再生基材の開発．日本学術振興会科学研究補助金，基盤研究(B)，継続．
- 4) 柿原嘉人（代表）：口腔扁平上皮癌における R2TP のターゲット解析と治療標的としての可能性の検討．日本学術振興会科学研究補助金，基盤研究(C)，継続．

包括歯科補綴学分野

【著 書】

- 1) 小野高裕：かむ力を高めると脳も体も若返る！東京：マキノ出版 24-29.2022 May.
- 2) 小野高裕：歯科衛生士のための口腔機能管理マニュアル 高齢者編 第2版．東京：医歯薬出版 211-214. 2022 Jul.
- 3) 小野高裕：疾患別嚥下障害．東京：医歯薬出版 228-229, 2022 Aug.
- 4) 堀 一浩，小野 高裕，谷村基樹．ウェアラブル咀嚼計「bitescan®（バイトスキャン）」の開発 ヘルスクエアに向けた生体情報センシング技術と製品開発最前線．東京：NTS 2022 Dec.
- 5) 小野高裕，堀 一浩：咀嚼の本 3．東京：口腔保健協会 2022 Dec.

【論 文】

- 1) Ono T, Kato S, Kokubo Y, Hasegawa Y, Kosaka T, Maeda Y, Okamura T, Miyamoto Y, Ikebe K: Tooth loss related with prevalence of metabolic syndrome in a general urban Japanese population: the Suita study. Int J Environ Res Public Health. 25;19(11):6441. 2022 May.
- 2) Saito S, Nakao Y, Hasegawa Y, Nagai K, Sano K, Uchiyama Y, Kishimoto H, Shinmura K, Domen K: Relationship between Rate of Force Development of Tongue Pressure and Physical Performance. J Clin Med.22;11(9):2347. 2022 Apr.
- 3) Fukuoka T, Ono T, Hori K, Kariyasu M: Effects of

tongue-strengthening exercise on tongue strength and effortful swallowing pressure in young healthy adults: a pilot study. J Speech Lang Hear Res. 11;65(5):1686-1696. 2022 May.

- 4) Hatayama C, Hori K, Izuno H, Fukuda K, Sawada M, Ujihashi T, Yoshimura S, Hori S, Togawa H, Uehara F, Ono T: Features of masticatory behaviors in older adults with oral hypofunction. J Clin Med. 6;11(19):5902. 2022 Oct.
- 5) Kusunoki H, Hasegawa Y, Tsuji S, Wada Y, Tamaki K, Nagai K, Mori T, Matsuzawa R, Kishimoto H, Shimizu H, Shinmura K: Relationships between cystatin C and creatinine-based eGFR with low tongue pressure in Japanese rural community-dwelling older adults. Clin Exp Dent Res.8(5):1259-1269.2022 Oct.
- 6) Li Q, Hori K, Murakami K, Minagi Y, Maeda Y, Chen Y, Ono T: Non-invasive evaluation of the biomechanical accommodations to bolus volume during human swallowing. Appl Bionics Biomech.14;2022:7146947. 2022 Oct.
- 7) Hasegawa Y, Sakuramoto A, Suzuki T, Sakagami J, Shiramizu M, Tachibana Y, Kishimoto H, Ono Y, Ono T: Emotional modulation of cortical activity during gum chewing: a functional near-infrared spectroscopy study. Front Neurosci 29;16:964351.2022 Nov.
- 8) Nanto T, Ono T, Hori K, Murakami K, Uchiyama Y, Maeda Y, Domen K: The effects of tongue elevation using a weighted plastic bottle on the tongue pressure and activity of suprahyoid muscles. J Oral Rehabil.49(11):1041-1048. 2022 Nov.
- 9) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Furihata M, Yoshihara A, Shiramizu M, Sta Maria MT, Hori S, Morikawa M, Marito P, Kaneko N, Nohno K, Nose H, Masuki S, Ono T: Effects of interval walking training on oral health status in middle-aged and older adults: a case-control study. Int J Environ Res Public Health.4;19(21):14465. 2022 Nov.
- 10) Shiramizu M, Hasegawa Y, Yoneda H, Yoshimoto T, Ouchi A, Yamamoto T, Ono T: Factors affecting masticatory performance during the mixed dentition period. J Oral Rehabil.49(12):1144-1154. 2022 Dec.
- 11) Okawa J, Hori K, Yoshimoto T, Ono T: Retronasal aroma dynamics related to the swallowing threshold. J Oral Rehabil.50(1):69-75. 2023 Jan.
- 12) Murakami K, Yoshimoto T, Hori K, Sato R, Sta Maria MT, Marito P, Takano H, Khaing AMM, Nokubi T, Ono T. Masticatory Performance Test Using a Gummy Jelly for Older People with Low Masticatory Ability. J

Clin Med. 11;12(2):593. 2023 Jan.

- 13) Hori S, Hori K, Yoshimura S, Uehara F, Sato N, Hasegawa Y, Akazawa K, Ono T: Masticatory behavior change with a wearable chewing counter: a randomized controlled trial. J Dent Res. 102(1):21-27. 2023 Jan.
- 14) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Sta Maria MT, Marito P, Salazar S, Hori K, Ono T : Effect of mandibular bilateral distal extension denture design on masticatory performance. J Prosthodont Res. 2023 Feb 4. Online ahead of print.
- 15) Kida M, Kokubo Y, Kosaka T, Ono T, Maeda Y, Watanabe M, Miyamoto Y, Ikebe K: Relationship between carotid intima-media thickness and periodontal disease in a Japanese urban population with and without hypertension: The Suita Study. J Clin Periodontol.50(2):265-275. 2023 Feb.
- 16) 重本心平, 堀 一浩, 大川純平, 小野高裕, 宮島久: 嚥下障害が疑われる総合病院入院患者における適切な食形態選択のための関連因子の検討. 日本咀嚼学会雑誌 32(1):2-11. 2022 年 5 月.
- 17) 計良倫子, 堀 一浩, 小野高裕, 江川広子, 山村健介: 日常的なガム咀嚼トレーニングが若年者の咀嚼機能および咀嚼行動に及ぼす影響. 日本咀嚼学会雑誌 32(2):80-88. 2022 年 11 月.

【商業誌】

- 1) 小野高裕. 「よい咀嚼」から始まるヘルスプロモーション. 歯科衛生だより 2022;71:1-3, 2022 Oct.
- 2) 堀 一浩 小野高裕 : 外来診療に役立つ機器・材料・薬剤 口腔内圧の測定 (舌圧測定器). JOHNS .Vol. 39 No. 4.2023 Apr.

【研究費獲得】

- 1) 小野高裕 (代表), 堀 一浩 (分担), 長谷川 陽子 (分担), 村上和裕 (分担) : 咀嚼行動変容による高齢者の高次脳機能の維持・改善. 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(B), 20H03877, 2020 年 4 月 - 2023 年 3 月.
- 2) 小野高裕 (分担) : 咀嚼機能の低下が動脈硬化性疾患発症に及ぼす影響についての大規模縦断研究. 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究 (C), 22K10054, 2022 年 4 月 - 2025 年 3 月.
- 3) 小野高裕 (分担) : 歯周病ならびに咀嚼機能低下が関節リウマチに及ぼす影響についての大規模縦断研究. 日本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(C), 21K09999, 2021 年 4 月 - 2024 年 3 月.
- 4) 堀 一浩 (代表), 小野高裕 (分担), 村上和裕

(分担), 吉村将悟 (分担) : ウェアラブルデバイスを用いた咀嚼行動変容と歯周病改善による糖尿病コントロール. 本学術振興会科学研究費助成事業 基盤研究(B), 21H03129, 2021 年 4 月 - 2025 年 3 月.

- 5) 堀 一浩 (分担) : 高齢者における低栄養防止の新戦略一義歯指導に併せたテーラーメイド栄養指導法構築一. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 20K10290, 2020 年 4 月 - 2023 年 3 月.
- 6) 堀 一浩 (分担) : 高齢者のオーラルフレイルの進行阻止を目指した簡便なスクリーニング検査法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 22K11411, 2022 年 4 月 - 2027 年 3 月.
- 7) 堀 一浩 (分担) : 歯舌実測運動特性に基づく咀嚼ロボットシミュレーション. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B) , 20H02116, 2020 年 4 月 - 2024 年 3 月.
- 8) 長谷川 陽子 : 機械学習を活用した骨密度の予測予測モデルの構築と検証. 8020 研究財団研究助成 三井住友海上福祉財団 Ugo 研究助成, 22-2-10, 2022 年 4 月~2023 年 3 月. 研究助成.
- 9) 長谷川 陽子 : 口腔機能低下は高齢者の引きこもりを促進させるのか? 三井住友海上福祉財団. 2019-2022 年度. 研究助成
- 10) 長谷川 陽子 : 個人の食品嗜好性を脳イメージングにより可視化できるか? 新潟大学令和 4 年度 U-go グラント 2022 年 4 月~2023 年 3 月. 研究助成.
- 11) 佐藤直子 (代表), 堀 一浩 (分担) : 食事介助者の動作が摂食嚥下先行期・準備期における被介助者の挙動に及ぼす影響. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C) , 21K09974, 2021-2023. 継続
- 12) 大川純平: 深層学習による画像認識技術を応用した舌評価法の開発. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 20K18593, 2020-2022. 継続
- 13) 大川純平: レトロネーザルアロマは肥満と関連するか? 一口中香による咀嚼様相変調一. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 22K17107, 2022-2023. 新規
- 14) 兒玉匠平: 舌運動と舌圧の同時計測による咀嚼時の舌機能評価. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 21K17036, 2021-2022.
- 15) 上原 文子 : 食後血糖値に対する咀嚼回数, 唾液量およびアミラーゼ活性の影響. 日本学術振興会 科学研究費補助金 若手研究, 21K17062, 2021-2023.

- 16) 村上瞳 (戸川瞳): ウェアラブルデバイスによる要介護高齢者の食事見守り. 日本学術振興会 科学研究費補助金若手研究, 22K17108, 2022.
- 17) 堀 頌子: 咀嚼行動は肥満発症と関連するか?—レトロスペクティブスタディー. 日本学術振興会 科学研究費補助金 研究活動スタート支援 (基金), 22K21035, 2022-2023.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 堀 一浩: 咀嚼によるメタボ予防とオーラルフレイル・フレイル予防. 日本老年歯科医学会第33回学術大会, 新潟, 2022年6月11日.
- 2) 大川純平: モバイル機器を用いた咀嚼能率および舌苔付着度の画像解析. 日本老年歯科医学会第33回学術大会 シンポジウム, 新潟, 2022年6月11日.
- 3) 長谷川 陽子: 咀嚼研究の最新像 「咀嚼と脳機能たべることが脳にもたらす変化」. 日本老年歯科医学会第33回学術大会, 新潟, 2022年6月12日.
- 4) 村上和裕: 臨床で咀嚼能力測定をどう活用するか?. 日本老年歯科医学会第33回学術大会, 新潟, 2022年6月12日.
- 5) 小野高裕: 咀嚼を知って・測って・応用する—新しい歯科医療のヒントとして—. 令和4年度第1回香歯ポストグラジュエートセミナー, 高松市, 2022年7月10日.
- 6) 小野高裕: 科学研究費助成事業の計画調書の書き方. 大阪歯科大学FDセミナー, 大阪市, 2022年8月1日.
- 7) 小野高裕: 咀嚼・嚥下障害を有する高齢者の義歯治療のヒント. 兵歯ゼミナール: 在宅 (訪問) 歯科診療における歯科医師・歯科衛生士研修会[スキルアップセミナー], 神戸市, 2022年9月18日.
- 8) 小野高裕: 咀嚼能力検査をどのように臨床に活かすか?. 兵歯ゼミナール: 在宅 (訪問) 歯科診療における歯科医師・歯科衛生士研修会[スキルアップセミナー], 神戸市, 2022年9月18日.
- 9) 堀 一浩: 摂食嚥下リハビリテーションにおける補綴的アプローチ—様々な補綴装置を用いた機能回復—. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 千葉, 2022年9月24日.
- 10) 村上和裕: 極薄型舌圧センサシートで明らかになる機能時舌圧. 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張, 2022年9月24日.
- 11) 堀 一浩: 咀嚼嚥下時の舌運動解析. 第33回食品ハイドロコロイドシンポジウム, 京都, 2022年9月30日.
- 12) 小野高裕: 超高齢社会に求められるデンタルテクノロジー: 咀嚼・嚥下機能回復のために. 全国国立大学病院歯科技工士協議会研修会, 新潟市, 2022

年10月6日.

- 13) 小野高裕: 咀嚼能力と咀嚼行動の生活習慣病との関連性. 慶應義塾大学医学部衛生学公衆衛生学教室医局会, on-line, 2022年10月20日.
- 14) 小野高裕: 健康バイオマーカーとしての咀嚼能率の可能性. 日本咀嚼学会学術講演会, 東京, 2022年12月3日.
- 15) 堀 一浩: 「よく噛む」・「よく噛める」と健康との関係. 日本咀嚼学会学術講演会, 東京, 2022年12月3日.
- 16) 小野高裕: 改めて考える 「よく噛む」って何だろう?—歯科から始まるヘルスプロモーションに向けて—. 鳥取県歯科医師会 医療介護連携のための多職種連携等研修「取り組もう、食べる機能の低下予防—高齢者の保健事業と介護予防の一体化専門職支援に向けて—」, 倉吉市, 2023年1月8日.
- 17) 小野高裕: 「よく噛む」ことから始まる健康づくり. 新潟県歯科衛生士会 オーラルフレイル予防に関する研修会, on-line, 2023年1月21日.
- 18) Ono T: How to achieve "Chewing Happiness". Special Final lecture in International Collaborative Symposium on Development of Human Resources in Practical Oral Health and Treatment 2023, on-line. 2023/2/11.
- 19) 小野高裕: 咀嚼能力と健康. 小野高裕教授退職記念講演会, 新潟市, 2023年3月18日.
- 20) 堀 一浩: 咀嚼行動のモニタリング. 小野高裕教授退職記念講演会, 新潟, 2023年3月18日.
- 21) 長谷川陽子: 咀嚼と高次脳機能. 小野高裕教授退職記念講演会, 新潟, 2023年3月18日.
- 22) 村上和裕: 咀嚼能力測定法のさらなる深化. 小野高裕教授退職記念講演会, 新潟, 2023年3月18日.
- 23) 大川純平: 咀嚼能力とアロマ. 小野高裕教授退職記念講演会, 新潟, 2023年3月18日.

【学会発表】

- 1) 畑山 千賀子, 堀 一浩, 泉野 裕美, 福田 昌代, 澤田 美佐緒, 氏橋 貴子, 小野 高裕: 口腔機能が低下した高齢者の咀嚼行動の特徴. 第19回日本口腔ケア学会 (ポスターオンライン), 大阪, 2022年4月23日-5月31日.
- 2) 重本 心平, 宮島 久, 大溝 裕史, 高橋 順子, 星直子, 樋口 拓也, 堀 一浩, 小野 高裕, 島貫 公義: 舌接触補助床を適用することにより口腔機能が改善し経口摂取可能となった症例. JSPEN2022, パシフィコ横浜, 2022年5月31日-6月1日.
- 3) 楠 博, 長谷川 陽子, 辻 翔太郎, 玉城 香代子, 和田 陽介, 森 敬良, 永井 宏達, 志水 秀郎, 岸本 裕充, 新村 健: 舌圧値と慢性腎臓病(CKD)との関連 eGFRcre と eGFRcys との違い. 日本老年

- 医学会第 64 回, 大阪, 2022 年 6 月 4 日.
- 4) 深町直哉, 栗原加奈子, 阿部 遼, 長崎 司, 三村俊平, 小野高裕, 齋藤 功: 骨格性下顎前突症患者における外科的矯正治療前後の咀嚼能力の縦断的評価. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会, ポスター, 新潟市, 2022 年 6 月 9-10 日.
 - 5) 大川純平, 堀一浩, 泉野裕美, 福田昌代, 畑山千賀子, 小野高裕: 深層学習による画像認識技術を用いた舌苔付着度の評価. 日本老年歯科医学会 第 33 回学術大会, 新潟, 2022 年 6 月 10~12 日.
 - 6) 兒玉匠平, 佐藤理加子, 大川純平, 堀 一浩, 小野高裕: 健常高齢者の水嚥下時舌運動. 老年歯科医学会 第 33 回学術大会, 新潟, 2022 年 6 月 11 日.
 - 7) 重本 心平, 堀 一浩, 大溝 裕史, 大川 純平, 小野 高裕, 宮島 久: 大腿骨骨折術後高齢者の栄養状態, 術後 ADL, 口腔・嚥下機能と術後肺炎の関連因子. 日本老年歯科医学会総会第 33 回学術大会. 新潟, 2022 年 6 月 12 日.
 - 8) 楠 博, 長谷川 陽子, 辻 翔太郎, 玉城 香代子, 和田 陽介, 森 敬良, 永井 宏達, 志水 秀郎, 岸本 裕充, 新村 健: 舌圧値と慢性腎臓病(CKD)との関連 クレアチニンとシスタチン C との違い. 日本抗加齢医学会総会 22 回, 大阪, 2022 年 6 月 17 日.
 - 9) 佐藤理加子, 堀 一浩, 兒玉匠平, 大川純平, 小野高裕: モーションキャプチャシステムを用いた咀嚼時の舌運動と顎運動の同時解析. 第 61 回日本生体医工学会, 新潟, 2022 年 6 月 30 日.
 - 10) 宮崎 透奈, 竹原 遼, 鈴木 達也, 嶋田 総太郎, 長谷川 陽子, 吉村 将悟, サンタマリア マリアテリース, 堀 一浩, 山村 健介, 小野 高裕, 小野 弓絵: 意図的に嚙むことの習慣化による、咀嚼に関連する前頭前野の活動の促進 (Making a habit of intentional chewing enhances chewing-related prefrontal activity). 第 45 回日本神経科学大会, 沖縄, 2022 年 6 月 30 日.
 - 11) 善本 佑, 長谷川 陽子, Ma Therese Santamaria, 堀一浩, 小野 高裕: 下顎両側遊離端義歯の設計が咀嚼能率に与える影響. 新潟歯学会, 新潟, 2022 年 7 月 9 日.
 - 12) Sta. Maria, Ma. Therese, 長谷川陽子, Marito, Pinta, 善本佑, Salazar, Simonne, 堀 一浩, 小野高裕: The Impact of Residual Ridge Morphology on the Masticatory Performance of Complete Denture Wearers (総義歯装着者の欠損部顎堤形態が咀嚼能力に及ぼす影響) 日本補綴歯科学会第 131 回学術大会, 大阪, 2022 年 7 月 16 日.
 - 13) 狩野剛志, 権田知也, 戸川瞳, 濱田匠, 豊田理紗, 小野高裕, 池邊一典: 臼歯部遊離端欠損の支台歯に加わる咬合力に及ぼす義歯装着の影響. (ポスター発表) 日本補綴歯科学会第 131 回学術大会, 大阪, 2022 年 7 月 16 日.
 - 14) 善本 佑, 長谷川 陽子, Salazar Simonne, Pinta Marito, Therese Sta Maria Ma, 堀 一浩, 小野 高裕: 下顎両側遊離端義歯の設計が咀嚼能率に与える影響. 日本補綴歯科学会 第 131 回学術大会, 大阪, 2022 年 7 月 16 日.
 - 15) 宮崎 透奈, 竹原 遼, 嶋田 総太郎, 長谷川 陽子, 吉村 将悟, サンタマリア マリアテリース, 山村 健介, 小野 高裕, 小野 弓絵: Evaluation of systemic artifact removal methods for functional near-infrared spectroscopy signals. 生体医工学シンポジウム 2022 (オンライン), 2022 年 9 月 9,10 日.
 - 16) 山本 孝文, 山本 修平, 福本 充治, 井上 浩幸, 龍田 孝夫, 中町 守人, 松本 明彦, 稗田 知子, 福居 好佳, 角田 愛, 石原 洋子, 白水 雅子, 長谷川 陽子, 野首 孝詞, 小野 高裕: 「いい歯の日」に開設した「高齢者歯科健診コーナー」の報告(第 2 報) 2012~19 年の参加者の結果について. 第 36 回兵庫県歯科医学大会, 神戸, 2020 年 9 月 13 日.
 - 17) 小山 恭平, 稲本 陽子, 栗飯原 けい子, 伊藤 友倫子, 小野木 啓子, 堀 一浩, 小野 高裕, 大高洋平, 才藤 栄一: 嚥下 CT と舌圧センサによる K-method の運動学的検討. 第 28 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会. 2022 年 9 月 24 日.
 - 18) 重本 心平, 堀 一浩, 高橋 順子, 大川 純平, 大溝 裕史, 小野 高裕, 宮島 久: 大腿骨骨折術後高齢者における口腔機能と栄養状態との関連. 日本摂食・嚥下リハビリテーション学会, 千葉, 2022 年 9 月 24 日.
 - 19) 上原文子, 堀 一浩, 吉村将吾, 堀 頌子, 戸川瞳, 長谷川陽子, 小野高裕: 習慣的咀嚼行動と食品摂取状況との関係. 日本咀嚼学会第 33 回学術大会, 徳島, 2022 年 10 月 1,2 日.
 - 20) 三村 俊平, 栗原 加奈子, 深町 直哉, 長崎 司, 堀 一浩, 大川 純平, 竹山 雅規, 小野 高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼行動の臨床的検討. 日本矯正歯科学会 81 回, 大阪, 2022 年 10 月 6 日.

- 21) 石丸智也, 山口泰彦, 齋藤大嗣, 服部佳功, 小野高裕, 荒井良明, 長谷川陽子, 志賀博, 玉置勝司, 田中順子, 津賀一弘, 安部倉仁, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織: 日中覚醒時の咬筋筋電図波形積分値の実態解明. 補綴学会東北・北海道支部学術大会 (オンライン), 2022 年 10 月 16 日.
- 22) 三村 俊平, 栗原 加奈子, 深町 直哉, 長崎 司, 堀 一浩, 大川 純平, 竹山 雅規, 小野 高裕, 齋藤 功: ウェアラブルデバイスを用いた骨格性下顎前突症患者における咀嚼行動の臨床的検討. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日.
- 23) 高野日南子, 村上和裕, Aye Mya Mya Khaing, 堀 一浩, 小野高裕: 咀嚼能率測定用グミゼリーの咬断片個別解析の試み. 日本補綴歯科学会関越支部令和 4 年度学術大会 (Web), 2022 年 11 月 13 日.
- 24) 大川純平: すれ違い咬合に対して根面アタッチメントを用いた残根上義歯にて機能回復を図った症例. 日本補綴歯科学会関越支部 令和 3 年度学術大会 (オンライン), 2022 年 11 月 13 日.
- 25) 水野海渡, 兒玉匠平, 佐藤理加子, 大川純平, 堀 一浩, 東森充: アレイ状配置チャンバを有する舌型空圧ソフトアクチュエータの設計. 第 23 回計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会, 千葉, 2022 年 12 月 15 日.
- 26) 佐藤理加子, 兒玉匠平, 大川純平, 村上和裕, 堀 一浩, 小野高裕: ガム咀嚼時の舌運動と顎運動経路. 第 68 回日本顎口腔機能学会, 新潟, 2022 年 12 月 17 日.
- 27) 李 宙垣, 渡辺 崇文, 松岸 諒, 喜田 悠太, 板離子, 兒玉 匠平, 大川 純平, 堀 一浩, 津賀一弘, 小野 高裕: 液体の物性および量による嚥下時舌圧の変化と AI による解析. 第 68 回日本顎口腔機能学会, 新潟, 2022 年 12 月 18 日.

【受賞】

- 1) 佐藤理加子, 兒玉匠平, 大川純平, 村上和裕, 堀一浩, 小野高裕: ガム咀嚼時の舌運動と顎運動経路. 第 68 回日本顎口腔機能学会優秀口演賞 2022 年 12 月 18 日.
- 2) 小野高裕: 令和 3 年度日本補綴歯科学会 学術賞, 2022 年 7 月 15 日.
- 3) 堀 一浩: 令和 3 年度 咀嚼学会第 33 回学術大会 優秀学会賞, 2022 年 10 月 2 日.

【その他】

- 1) 小野高裕: 特集「一生続けることだから. 楽しく

食べるための、咀嚼と嚥下」(咀嚼編). 太陽笑顔 fufufu, 51:5-13, ロート製薬, 2022 年 12 月 1 日.

- 2) 前田健康, 小野高裕: Special Interview 「教育 x デジタルデンティストリー」. Ha・ha・ha, 96:12-14, 松風歯科クラブ, 2023 年 1 月.
- 3) 小野高裕: 舌接触補助床 PAP 入門編 咀嚼・嚥下・構音障害をもつ患者さんのために. Doctorbook オンラインセミナー, 2023 年 1 月 17 日.

組織再建口腔外科学分野

【書籍】

- 1) 小林正治: 顎変形症治療の基礎知識 (富永和弘 他, 日本顎変形症学会編), 8-9, 11-12, 70-73 頁, クインテッセンス出版, 東京, 2022.

【論文】

- 1) Nakamura A, Hasebe D, Kato Y, Nishiyama H, Hayashi T, Kobayashi T: Intravenous administration of lidocaine and magnesium for severe pain caused by primary chronic osteomyelitis of the mandible: A case report. Oral and Maxillofacial Surgery Cases, 8(2), June 2022, 100251, Available online 23 March 2022, DOI: 10.1016/j.tranon.2021.101236.
- 2) Mikami T, Kobayashi T, Hasebe D, Ohshima Y, Takahashi T, Shimohata T: Oral appliance therapy for obstructive sleep apnea in multiple system atrophy with floppy epiglottis: a case series of three patients. Sleep and Breathing, Available online 29 March 2022, doi.org/10.1007/s11325-022-02607-0.
- 3) Inaba Y, Hasebe D, Hashizume K, Suda D, Saito N, Saito D, Sakuma H, Funayama A, Kobayashi T: Changes in nutritional status of patients with jaw deformities due to orthognathic surgery. Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol, Accepted date: 11 July 2022, DOI: 10.1016/j.oooo.2022.07.007.
- 4) Chan NN, Yamazaki M, Sakuma H, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J: Solitary central osteoma of the mandible with unusual clinicoradiological presentations: A case report and literature review. Oral Sci Int, Available online 19 July 2022, DOI: 10.1002/osi.2.1155.
- 5) Kasahara M, Sakuma H, Hasebe D, Saito D, Kato Y, Osawa K, Saito I, Kobayashi T: Surgical orthodontic treatment of a patient with trichorhinophalangeal syndrome: A case report. J Oral Maxillofac Surg Med

- Pathol 35 (2) : 153-157, Accepted 8 August 2022, DOI:10.1016/j.ajoms.2022.08.005
<https://doi.org/10.1016/j.ajoms.2022.08.005>.
- 6) Endo S, Niimi K, Kato Y, Nohno K, Hasebe D, Hayashi T, Saito I, Kobayashi T: Examination of factors affecting condylar bone changes following surgical-orthodontic treatment. CRANIO: The Journal of Craniomandibular & Sleep Practice, accepted on 23 Aug 2022, DOI: 10.1080/08869634.2022.2118263.
 - 7) Kawaharada M, Maruyama S, Yamazaki M, Abé T, Chan NN, Funayama A, Uenoyama A, Akimori T, Tomihara K, Tanuma JI. Clinicopathologic factors influencing the screening accuracy of oral cytology: A retrospective cohort study. Oncol Lett 24(5):385,15 Sep 2022, DOI: 10.3892/ol.2022.13505.
 - 8) Mikami T, Funayama A, Niimi K, Haga K, Kawaharada M, Nakamura A, Katagiri W, Kobayashi T: Prognostic value of preoperative systemic inflammatory response as a prognostic indicator in patients with early-stage oral squamous cell carcinoma. Medicine 101(44):e30855, 2022, DOI: 10.1097/MD.00000000000030855.
 - 9) Sakuma H, Hasebe D, Takeuchi R, Hara T, Suda D, Saito N, Saito D, Kobayashi T: The use of an ultrasonic curettage device in orthognathic surgery decreases surgery-related blood loss. Heliyon 8(12) : e12639. 2022, DOI: 10.1016/j.heliyon.2022.e12639.
 - 10) Chan NN, Yamazaki M, Maruyama S, Abé T, Haga K, Kawaharada M, Izumi K, Kobayashi T, Tanuma JI. Cholesterol Is a Regulator of CAV1 Localization and Cell Migration in Oral Squamous Cell Carcinoma. Int. J. Mol. Sci. 24(7) 6035 2023, DOI: 10.3390/ijms24076035.
 - 11) Asami E, Kitami M, Ida T, Kobayashi T, Saeki M: Anti-inflammatory activity of 2-methoxy-4-vinylphenol involves transcriptional inhibition of lipopolysaccharide-induced nitric oxidase synthase by heme oxygenase-1. Immunopharmacology and Immunotoxicology: Available online 30 March 2023, DOI: 10.1080/08923973.2023.2197141.
 - 12) 佐久間英伸, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我麻里恵, 田中恵子, 石山茉佑佳, 高木律男, 小林正治: 呼吸器・感染症内科からの診療依頼患者を対象とした薬剤関連顎骨壊死発症に関する調査. 日本口腔ケア学会雑誌 16 (2) : 63-68 頁, 2022.
 - 13) 大湊 麗, 小野和宏, 児玉泰光, 結城龍太郎, 永井孝宏, 小林亮太, 小林孝憲, 飯田明彦, 濃野 要, 宮田昌幸, 小林正治, 齋藤 功, 高木律男, 富原 圭: 二段階口蓋形成手術法における幼児期前期の言語管理に関する検討 口蓋化構音と硬口蓋残遺裂の関連性にもとづいて. 日口蓋裂会誌 47(1):20-29 頁, 2022.
 - 14) 新美奏恵, 竹内涼子, 船山昭典, 丹原 惇, 齋藤 功, 小林正治: Orthognathic Quality of Life Questionnaire 日本語版の信頼性と妥当性の検討. 日顎変形会誌 32 (1) : 15-22 頁, 2022.
 - 15) 齋藤直朗, 丸山 智, 加藤祐介, 竹内涼子, 田沼順一, 小林正治: 口底部に生じた異所性胃腸管嚢胞の1例. 日口外会誌 69(1) : 27-31 頁, 2022.
 - 16) 須田大亮, 長谷部大地, 原 太一, 竹内涼子, 羽賀健太, 小林正治: 過去 10 年間の新潟大学医歯学総合病院口腔外科いびき外来受診患者の臨床的検討. 新潟歯会誌 52(2) : 59-66 頁, 2022.
- 【研究費獲得】**
- 1) 羽賀健太: コストダウンと高機能化により費用対効果を向上させた新規培養真皮の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 22K20504, 2022.
 - 2) 小林正治, 長谷部大地, 齋藤大輔, 齋藤 功: 外科的矯正治療の適応判断に有用な顎顔面形態指標を組み入れた日本版 IOFTN の策定. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 21K10158, 2021.
 - 3) 須田大亮: ラット下顎骨延長モデルを用いた進行性下顎頭吸収の予防・治療法の検討. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K17085, 2021.
 - 4) 竹内涼子: 骨髄間葉系幹細胞由来エクソソームによる新規骨再生療法の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 21K21060, 2021.
 - 5) 船山昭典, 田沼順一, 泉 健次, 三上俊彦: 口腔癌進展における癌関連線維芽細胞 (CAF) の機能解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10329, 2021.
 - 6) 三上俊彦, 船山昭典, 新美奏恵: 癌関連線維芽細胞 (CAF) を標的とした新しい口腔癌治療戦略の開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10354, 2021.
 - 7) 長谷部大地, 小林正治, 齋藤大輔: 顎変形症患者における鼻咽腔領域における気道形態変化のシュミレーションモデルの考案. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10134, 2021.
 - 8) 隅田好美, 頭山高子, 浅海靖恵, 柴田由美, 宮崎伊久子, 朝井政治, 木村有子, 黒田研二, 小林正治, 田中健一朗: 「社会参加」を促進する地域づくりの課題と主観的・客観的意義. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 19K10284, 2021.
 - 9) 齋藤大輔: 骨質マーカーによる進行性下顎頭吸収発症リスク評価法の確立. 日本学術振興会科学研究

究費補助金 若手研究(B), 19K19190, 2021.

- 10) 齋藤直朗: 薬剤関連顎骨壊死のメカニズムを大局的に解明する一骨細胞ネットワークに着目して. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究(B), 19K1989, 2021.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 新美奏恵: 顎変形症患者の QOL と社会心理学的背景: Orthognathic Quality of Life Questionnaire 日本語版の開発. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術集会, 新潟, 2022 年 6 月 9 - 10 日, 日顎変形会誌 32(2): 90 - 91 頁, 2022.
- 2) 長谷部大地: 外科的矯正治療の適用ボーダーライン: IOFTN を用いた外科的矯正治療のボーダーラインの検証. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術集会, 新潟, 2022 年 6 月 9 - 10 日, 日顎変形会誌 32(2): 132 - 133 頁, 2022.
- 3) 長谷部大地: 顎変形症患者の機能改善を目指して: 顎変形症患者における睡眠時の呼吸機能の改善. 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2022 年 11 月 4 - 6 日, 日口外会誌 68: 37 頁, 2022.

【学会発表】

- 1) Nyein Nyein Chan, Manabu Yamazaki, Satoshi Maruyama, Tatsuya Abé, Masami Kawaharada, Tadaharu Kobayashi, Jun-ichi Tanuma: Cholesterol assists migration of oral squamous cell carcinoma by regulating front-rear cell polarity. 第 111 回日本病理学会総会, 神戸, 2022 年 4 月 14 日, 同プログラム抄録集, 66 頁, 2022.
- 2) 佐久間英伸, 原 太一, 竹内涼子, 須田大亮, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 長谷部大地, 片桐 渉, 小林正治: 顎矯正手術における術式別 Hidden blood loss の定量的評価と影響因子の調査. 第 76 回日本口腔科学会・学術集会 (ハイブリット開催), 福岡, 2022 年 4 月 21-23 日, 同プログラム抄録集, 240 頁, 2022.
- 3) 笠原公輝, 佐久間英伸, 加藤祐介, 長谷部大地, 齋藤 功, 小林正治: 外科的矯正治療を施行した Tricho-rhino-phalangeal syndrome の 1 例. 第 76 回日本口腔科学会総会 (ハイブリット開催), 福岡, 2022 年 4 月 21-23 日, 同プログラム抄録集, 71 頁, 2022.
- 4) 須田大亮, 船山昭典, 齋藤大輔, 新國 農, 丸山 智, 林 孝文, 田沼順一, 小林正治: 下顎歯肉部転移性腫瘍を契機に診断に至った腭癌の 1 例. 第 76 回日本口腔科学会・学術集会 (ハイブリット開催), 福岡, 2022 年 4 月 21-23 日, 同プログラム抄録集: 159 頁, 2022.
- 5) 野澤 舞, 佐久間英伸, 新美奏恵, 黒川 亮, 曾我

麻里恵, 小林正治. 投与目的別にみた骨修飾薬投与患者での薬剤関連顎骨壊死発症率の調査報告. 第 76 回日本口腔科学会総会 (ハイブリット開催), 福岡, 2022 年 4 月 21-23 日, 同プログラム抄録集, 103 頁, 2022.

- 6) 竹内涼子, 大湊 麗, 新美奏恵, 丹原 惇, 竹山雅規, 宮田昌幸, 齋藤 功, 小林正治: 顎矯正手術が口蓋裂患者の鼻咽腔閉鎖機能と構音機能に及ぼす影響の検討. 第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島, 2022 年 5 月 26-27 日. 日口蓋裂学会誌 47(2):130 頁, 2022
- 7) 佐久間英伸, 原 太一, 竹内涼子, 須田大亮, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 長谷部大地, 片桐 渉, 小林正治. 顎矯正手術における Hidden blood loss の術式と骨切削器による比較. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術集会, 新潟, 2022 年 6 月 9-10 日, 日顎変会誌 32(2): 195 頁, 2022.
- 8) 齋藤大輔, 原 太一, 須田大亮, 齋藤直朗, 佐久間英伸, 長谷部大地, 片桐 渉, 小林正治: 顎矯正手術における 3D シミュレーションと CAD/CAM サージカルガイドプレート作製ならびに超音波切削機器の応用. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会, 新潟, 2022 年 6 月 9-10 日, 日顎変会誌 32(2): 158 頁, 2022.
- 9) 本間克彦, 齋藤大輔, 長谷部大地, 小島 拓. 上顎骨延長術を施行した唇顎口蓋裂症例の検討. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術集会, 新潟, 2022 年 6 月 9-10 日, 日顎変会誌 32(2): 180 頁, 2022.
- 10) 宮本一也, 傳田祐也, 五島秀樹, 清水 武, 小林正治. 閉塞性睡眠時無呼吸症を伴う顎変形症患者 2 例に対する外科的矯正治療の効果. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術集会, 新潟, 2022 年 6 月 9-10 日, 日顎変会誌 32(2): 185 頁, 2022.
- 11) 船山昭典, 三上俊彦, 新美奏恵, 齋藤大輔, 羽賀健太, 中村彬彦, 芳澤享子, 小林正治: 上顎歯肉・硬口蓋扁平上皮癌の臨床的検討. 第 46 回日本頭頸部癌学会 (オンデマンド), 奈良, 2022 年 6 月 17-18 日, 頭頸部癌 48(2): 221 頁, 2022.
- 12) 丸山航輝, 田村俊暁, 渡辺慶大, 今井滉太, 加藤祐介, 寺島健史: 顎口腔ジストニア話者の感覚トリックによる発話変化の定量的解析. 第 23 回日本言語聴覚学会, 2022 年 6 月 25 日, 言語聴覚研究 19(3): 269 頁, 2022.
- 13) 齋藤大輔, 片桐 渉, 須田大亮, 西山秀昌, 林 孝文, 小林正治: 多発性筋炎が疑われた咀嚼筋腱・腱膜過形成症の 1 例. 第 35 回日本顎関節学会総会・学術大会, 札幌, 2021 年 7 月 2-3 日. 日顎関節会誌 34, 144 頁, 2022.

- 14) 笠原公輝、長谷部大地、原 太一、須田大亮、佐久間英伸、齋藤直朗、齋藤大輔、齋藤 功、小林正治. 多分割 Le Fort I 型骨切り術の術後安定性の検討. 第 60 回日本口腔科学会北日本地方部会, 北海道, 2022 年 7 月 9-10 日, 同プログラム集, 69 頁, 2022.
- 15) Nyein Nyein Chan, Manabu Yamazaki, Satoshi Maruyama, Tatsuya Abé, Tadaharu Kobayashi, Jun-ichi Tanuma: Cholesterol promotes migration of oral squamous cell carcinoma cells by regulating front-rear cell polarity. 令和 4 年度新潟歯学会第 1 回例会, 新潟, 2022 年 7 月 9 日, 新潟歯会誌 52(2): 91 - 92 頁, 2022.
- 16) 笠原公輝, 長谷部大地, 齋藤大輔, 齋藤 功, 小林正治. 多分割 Le Fort I 型骨切り術を併用した顎矯正患者の顎骨安定性の検討. 第 112 回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2022 年 7 月 22 日.
- 17) 須田大亮, 長谷部大地, 小林正治. 過去 10 年間の新潟大学医歯学総合病院口腔外科いびき(睡眠呼吸障害) 外来の臨床的検討. 日本睡眠学会第 47 回学術集会, 京都, 2022 年 6 月 30 日, 7 月 1 日, 同プログラム・抄録集, 256 頁, 2022.
- 18) 浅見栄里, 北見恩美, 井田貴子, 小林正治. 2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する. 第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022 年 9 月 17-19 日, 同プログラム集, 287 頁, 2022.
- 19) 船山昭典, 新美奏恵, 羽賀健太, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 野澤 舞, 林 孝文, 勝良剛詞, 阿部達也, 田沼順一, 芳澤享子, 小林正治: 当科における口腔白板症患者の臨床的検討. 第 32 回日本口腔内科学会・第 35 回日本口腔診断学会・第 33 回日本臨床口腔病理学会(3 学会合同学術大会 オンデマンド), 札幌, 2022 年 9 月 22-24 日, 同プログラム集, 42 頁, 2022.
- 20) Nyein Nyein Chan, Manabu Yamazaki, Satoshi Maruyama, Tatsuya Abé, Tadaharu Kobayashi, Jun-ichi Tanuma: Cholesterol promotes oral cancer cells migration by regulating front-rear cell polarity. 第 32 回日本口腔内科学会・第 35 回日本口腔診断学会・第 33 回日本臨床口腔病理学会(3 学会合同学術大会 オンデマンド), 札幌, 2022 年 9 月 22-24 日, 同プログラム集, 34 頁, 2022.
- 21) 齋藤直朗, 阿部達也, 丸山 智, 船山昭典, 西山秀昌, 長谷部大地, 佐久間英伸, 林 孝文, 田沼順一, 小林正治. 診断に苦慮したオトガイ下部紡錘細胞脂肪腫の 1 例. 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2022 年 11 月 4-6 日, 日口外会誌 68: 92 頁, 2022.
- 22) 鄭 琢揚, 長谷部大地, 笠原公輝, 須田大輔, 齋藤直朗, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 丹原 惇, 齋藤 功, 小林正治. IOFTN と顎顔面形態分析を併用した外科的矯正治療の適応指標. 第 67 回日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉, 2022 年 11 月 4-6 日, 日口外会誌 68: 75 頁, 2022.
- 23) 浅見栄里, 北見恩美, 井田貴子, 小林正治, 佐伯万騎男. 2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 新潟歯学会誌 52(2), 109 頁, 2022.
- 24) Ryoko TAKEUCHI, Rei OMINATO, Kanae NIIMI, Daisuke SAITO, Jun NIHARA, Masaki TAKEYAMA, Isao SAITO, Tadaharu KOBAYASHI: Impact of orthognathic surgery on velopharyngeal function in cleft palate patients. The 61th Congress of Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, Korea, October 28-29, 2022, KAMPRS2022 Abstract Book: p.79, 2022.
- 25) Kosuke Hashizume, Wataru katagiri, Ryoko Takeuchi, Daisuke Suda, Tadaharu Kobayashi: Conditioned medium of bone marrow-derived mesenchymal stem cells promotes bone regeneration by enhancing macrophage phenotype switching. The 61st Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons, South Korea, October 28-29, 2022, KAMPRS2022 Abstract Book: p. 167, 2022.
- 26) Zhuoyang Zhenga, Daichi Hasebe, Masaki Kasahara, Daisuke Suda, Naoaki Saito, Daisuke Saito, Hidenobu Sakuma, Jun Nihara, Isao Saito, Tadaharu Kobayashi. Surgical orthodontic treatment indicators in combination with Index of Orthognathic Functional Treatment Need (IOFTN) and maxillofacial morphometric analysis. The 61th Congress of the Korean Association of Maxillofacial Plastic and Reconstructive Surgeons. South Korea, October 28-29, 2022, KAMPRS2022 Abstract Book: p.191, 2022.
- 27) 長谷部大地, 須田大亮, 齋藤大輔, 竹山雅規, 齋藤功, 小林正治. 顎矯正手術を施行した重度閉塞性睡眠時無呼吸 OSA を伴う顎変形症患者 2 例の検討. 第 21 回日本睡眠歯科学会総会・学術集会, 沖縄, 2022 年 11 月 19-20 日, 睡眠口腔医学 9: 109 頁, 2022.
- 28) 齋藤直朗, 長谷部大地, 齋藤大輔, 須田大亮, 佐久間英伸, 小林正治. 睡眠時呼吸機能を考慮した顎矯正手術. 第 113 回関東形成外科学会新潟地方会, 新潟, 2022 年 11 月 25 日.

- 29) 橋爪孝介, 片桐 渉, 竹内涼子, 須田大亮, 小林正治: 骨髄由来間葉系幹細胞培養上清はマクロファージ極性転換により骨形成を促進する. 第 26 回公益社団法人日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, 東京, 2022 年 11 月 26-27 日, 顎顔面インプラント誌 21(3): 213 頁, 2022.
- 30) 羽賀健太, 船山昭典, 長谷部大地, 佐久間英伸, 齋藤大輔, 新美奏恵, 曾束洋平, 山崎 学, 田沼順一, 林 孝文, 小林正治. 中年女性の下顎骨に認めた広範囲なエナメル上皮線維腫の 1 例. 第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会 (WEB 開催), 2023 年 1 月 26 日, 同抄録集: 215 項, 2023.
- 31) Ryoko TAKEUCHI, Rei OMINATO, Kanae NIIMI, Jun NIHARA, Masaki TAKEYAMA, Isao SAITO, Tadaharu KOBAYASHI: Influence of orthognathic surgery on velopharyngeal function in patients with cleft palate. The 13th Joint Scientific Meeting of NAOMS and JSOMS and PG Convention, Nepal, Feb 4, 2023, Program : p.7, 2023.
- 32) 橋爪孝介, 片桐 渉, 竹内涼子, 須田大亮, 小林正治: 骨髄由来間葉系幹細胞培養上清による早期骨形成におけるマクロファージ極性転換因子の影響に関する検討. 第 22 回日本再生医療学会総会, 京都, 2023 年 3 月 23-25 日, 同抄録集: 71 頁, 2023.

【研究会発表】

- 1) 長谷部大地, 齋藤大輔, 須田大亮, 竹山雅規, 大嶋康義, 馬場洋徳, 齋藤 功, 堀井 新, 小林正治. 多分割 Le Fort I 型骨切術ならびに下顎骨形成術を施行した顎変形を伴う閉塞性睡眠時無呼吸症の 2 例. 第 18 回新潟睡眠呼吸障害研究会定例会, 新潟, 2022 年 9 月 10 日.

【受賞】

- 1) 笠原公輝: 多分割 LeFort I 型骨切り術の術後安定性の検討. 第 60 回日本口腔科学会北日本地方部会 第 48 回日本口腔外科学会北日本支部学術集会 日本口腔科学会 2022 年新人賞, 2022 年 7 月 9-10 日.
- 2) 浅見栄里: 2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する. 令和 4 年度新潟歯学会, 新潟歯学会賞, 2022 年 11 月 12 日.

【その他】

- 1) 小林正治: 顎の形態と咬み合わせを治す外科的矯正治療. 日本顎変形症学会市民公開講座 (WEB 開催),

2022 年 6 月 10 日.

- 2) 小林正治: 顎変形症患者のクオリティ・オブ・ライフを考える. 長野赤十字病院セミナー, 長野, 2022 年 10 月 15 日.
- 3) 小林正治: 顎矯正手術における合併症について, 長野赤十字病院セミナー, 長野, 2023 年 1 月 14 日.
- 4) 小林正治: 顎変形症手術の総論, 下顎枝矢状分割術の術式. Orthognathic Surgery Cutting Academy in Kanazawa 2023, 石川, 2023 年 1 月 21 日.

顎顔面放射線学分野

【著書】

- 1) 赤川順子, 池浦一裕, 稲本賢弘, 井上雅美, 内田ゆみ子, 上野尚雄, 大西淑美, 勝良剛詞, 園井教裕, 高橋郁名代, 塚越真由美, 土屋勇人, 角田和之, 庄野三友紀, 杉浦裕子, 曾我賢彦, 長縄弥生, 久野彰子, 光永幸代, 室 美里, 森 毅彦, 森 有紀, 山崎知子, 山西 整, 百合草健志: 造血細胞移植患者の口腔内管理に関する指針 (日本造血・免疫細胞療法学会編, 日本がん口腔支持療法学会編), 総 112 頁, 永末書店, 東京, 2022.
- 2) 林孝文: US (Ultrasonography, 超音波診断). 口腔外科研修ハンドブック (日本口腔外科学会編), 総 304 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022

【論文】

- 1) Hayashi T, Takamura M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Katsura K: Regarding the acoustic coupling medium for the estimation of the depth of invasion in tongue squamous cell carcinoma on intraoral sonography with special reference to the interpretation of normal mucosal structure: a literature review. Oral Sci Int. 19(1):19-23, 2022.
- 2) Suwabe T, Fuse K, Katsura K, Soga M, Katagiri T, Shibasaki Y, Narita M, Sone H, Masuko M: Intensive oral care can reduce bloodstream infection with coagulase-negative staphylococci after neutrophil engraftment in allogeneic hematopoietic stem-cell transplantation. Supportive Care in Cancer. 30:475-485, 2022
- 3) Takamura M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Katsura K, Yamazaki M, Maruyama S, Tanuma J, Hayashi T: A comparative study between CT, MRI, and intraoral US for the evaluation of the depth of invasion in early stage (T1/T2) tongue squamous cell carcinoma. Oral Radiol. 38(1):114-125, 2022.

- 4) Kawamura T, Fukui T, Nishiyama H, Kobayashi T, Takagi R, Hayashi T, Saito I: Three-dimensional analysis of the temporal bone and mandibular morphology in mandibular prognathism with facial asymmetry. *Oral Sci Int.* 19(1):44-51, 2022.
- 5) Kobayashi T, Hayashi T, Takamura M, Soga M, Nikkuni Y, Katsura K: A phantom study regarding the formation mechanism of mucosal epithelial echo on intraoral ultrasonography. *Oral Sci Int.* 19(3):147-153, 2022.
- 6) Nikkuni Y, Nishiyama H, Hayashi T: Histogram analysis of 18F-FDG PET imaging SUVs may predict the histological grade of oral squamous cell carcinoma. *Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol.* 134(2):254-261, 2022.
- 7) Saito T, Nishikawa A, Hara-Saito Y, Salazar ARE, Kurokawa A, Iida A, Yamaga A, Kano H, Kato Y, Takata Y, Nishiyama H, Kitamura N, Tanaka T, Takagi R: Risk factors of medication-related osteonecrosis of the jaw in preventive tooth extraction before bone resorption inhibitor administration: A multicenter nested case-control study. *Oral Sci Int.* 19(2):79-87, 2022.
- 8) Takami H, Hayashi T, Sato N, Ohshima H: Macroscopic anatomy of the layered structures of facial muscles and Fasciae in the temporal-malar-mandible-neck region. *The Journal of Craniofacial Surgery.* 33:2258-2266, 2022.
- 9) Endo S, Niimi K, Kato Y, Nohno K, Hasebe D, Hayashi T, Saito I, Kobayashi T: Examination of factors affecting condylar bone changes following surgical-orthodontic treatment. *Cranio,* 13;1-11, 2022.
- 10) Kawaharada M, Maruyama S, Abé T, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J: Metastasis of pulmonary adenocarcinoma to the oral cavity: A case report and literatures review of the last 30 years. *Oral Sci Int.* 19(3):199-204, 2022.
- 11) Chan NN, Yamazaki M, Sakuma H, Hayashi T, Kobayashi T, Tanuma J: Solitary central osteoma of the mandible with unusual clinicoradiological presentations: A case report and literature review. *Oral Sci Int.* 2022.
- 12) Katsura K, Tanabe S, Nakano H, Sakai M, Ohta A, Kaidu M, Soga M, Kobayashi T, Takamura M, Hayashi T: The relationship between the contouring time of the metal artifacts area and metal artifacts in head and neck radiotherapy. *Tomography.* 9(1):98-104, 2023.
- 13) Hayashi-Sakai S, Kobayashi T, Hayashi T, Shimomura-Kuroki J, Sakai J, Sakamoto M: Visual evaluation for the elasticity of suprahyoid muscles using sonographic elastography during tongue pressure measurement: A pilot study. *Biomed Mater Eng.* 34(2):159-168, 2023.

- 14) 林 孝文, 高村真貴, 小林太一, 新國 農, 勝良剛詞, 富原 圭, 田沼順一. 口腔癌深達度における画像と病理の discrepancy をどう読むか. *口腔腫瘍.* 34(4):151-158, 2022.

【商業誌】

- 1) 林 孝文: 歯科医院のための実践! 超音波診断 歯科臨床で超音波診断装置を有効活用するために 第5回 顎関節・咀嚼筋の超音波診断. *補綴臨床* 5月号. 55(3):317-341, 2022年5月15日.
- 2) 林 孝文: 歯科医院のための実践! 超音波診断 歯科臨床で超音波診断装置を有効活用するために 第6回 根尖病変(根尖性歯周疾患)の超音波診断. *補綴臨床* 7月号. 55(4):385-399, 2022年7月15日.

【研究費獲得】

- 1) 林孝文, 小林太一: モバイルオーラルエコーによる舌癌深達度診断精度の多施設共同研究. 学術研究助成基金助成金, 基盤(C), 課題番号 21K10064.
- 2) 清水真弓(九州大学), 林 孝文: IgG4 関連涙腺・唾液腺炎の診断基準への超音波診断導入のための多施設共同研究. 学術研究助成基金助成金, 基盤(C), 課題番号 21K10075.
- 3) 坂井幸子(日本歯科大学新潟生命歯学部), 林孝文: 画像工学に基づく口輪筋弾性挙動の可視化-包括的口腔機能管理ツールの創出-. 学術研究助成基金助成金, 基盤(C), 課題番号 21K10204.
- 4) 林孝文: 歯科用小型超音波画像診断装置の開発(J21K0060). 共同研究(新潟大学・デントロケミカル), 2021年度直接経費.
- 5) 勝良剛詞, 曾我麻里恵: 放射線治療後の歯槽骨密度変化と線量との関係-硬組織定量解析による放射線顎骨壊死のリスク予測の創出を目指して-. 一般社団法人日本歯科医学会連合 令和4年度研究課題, 課題番号 JDSF-FPC1-2022-01.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 林孝文: オーラルエコーの可能性. シンポジウム2: 口腔領域における画像診断の SDGs と未来-電離放射線を使用しない口腔領域の画像診断の展望-. 第76回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, 福岡(ハイブリッド), 2022年4月21-23日.
- 2) 林孝文: 頸部リンパ節微小転移の画像診断. シンポジウム5: 微小転移の診断とその対応. 第46回日本頭頸部癌学会, 奈良(ハイブリッド), 2022年6月17日-18日.
- 3) 林孝文: 頸部リンパ節病変の画像診断・当診療科における現状と課題. 口腔3学会合同シンポジウム-

頸部リンパ節病変の診断と対応- 第 67 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉市, 2022 年 11 月 4 日.

- 4) 西山秀昌: MRI の安全管理. NPO 法人日本歯科放射線学会第 3 回秋季学術大会, Web 開催, 2022 年 10 月 9 日.
- 5) 勝良剛詞: 頭頸部がん放射線治療における口腔粘膜炎症管理を発生機序から再考する. Meiji Seika ファルマ web カンファレンス, 2022 年 10 月 27 日.

【学会発表】

- 1) Nishiyama H, Takamura M, Soga M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Ike M, Katsura K, Saez JE, Hayashi T: Transparency and background effect on robustness in deep learning for object detection in X-ray images. The 13th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, Gifu, Japan (On-demand), June 3–20, 2022.
- 2) 曾我麻里恵, 新美奏恵, 黒川亮, 田中恵子, 石山茉佑佳, 小林正治: 周術期口腔機能管理に伴う口腔衛生状態の変化と術後合併症の発生状況. 第 31 回日本有病者歯科医療学会学術大会, 沖縄・web 開催 (ハイブリッド), June 3–20, 2022.
- 3) 勝良剛詞, 山崎恵介, 吉田謙介, 曾我麻里恵, 田中雄介, 植木雄志, 正道隆介, 高橋剛史, 小林太一, 高村真貴, 林 孝文: 頭頸部化学放射線治療におけるエピシル口腔用液の予防的使用の有効性に関する前向き観察研究. 第 46 回日本頭頸部癌学会, 奈良 (ハイブリッド), 2022 年 6 月 17 日-18 日.
- 4) 隅田賢正, 勝見祐二, 林孝文, 富原圭: 腺扁平上皮癌として再発した下顎歯肉原発扁平上皮癌の 1 例. 第 46 回日本頭頸部癌学会, 奈良 (ハイブリッド), 2022 年 6 月 17 日-18 日.
- 5) 齋藤大輔, 片桐渉, 須田大亮, 西山秀昌, 林孝文, 小林正治: 多発性筋炎が疑われた咀嚼筋腱・腱膜過形成症の 1 例. 第 35 回一般社団法人日本顎関節学会総会・学術大会, 札幌市 (ハイブリッド), 2022 年 7 月 2 日-3 日.
- 6) 船山昭典, 新美奏恵, 羽賀健太, 齋藤大輔, 佐久間英伸, 野澤舞, 林孝文, 勝良剛詞, 阿部達也, 田沼順一, 芳澤享子, 小林正治: 当科における口腔白板症患者の臨床的検討. 第 32 回日本口腔内科学会・第 33 回日本臨床口腔病理学会・第 35 回日本口腔診断学会 3 学会合同学術大会, 札幌, 2022 年 9 月 23–24 日.
- 7) 高村真貴, 小林太一, 新國農, 勝良剛詞, 山崎学, 田沼順一, 林孝文: 口腔内超音波診断における舌癌の DOI 計測に影響を与える因子の検討. NPO 法人日本歯科放射線学会第 3 回秋季学術大会, Web 開催,

2022 年 10 月 7 日-9 日.

- 8) 池真樹子, 高村真貴, 小林太一, 西山秀昌, 新國農, 勝良剛詞, 伊藤加代子, 林孝文: シェーグレン症候群の早期発見可能性のためのラヌーラ症例の検討. NPO 法人日本歯科放射線学会第 3 回秋季学術大会および教育研修会, Web 開催, 2022 年 10 月 7-9 日.
- 9) 西山秀昌, 高村真貴, 曾我麻里恵, 小林太一, 新國農, 池真樹子, 勝良剛詞, Saez Jorge, 林孝文: CT-DICOM データ利用時の各種ソフトウェアでのビットフォールと対処法について. NPO 法人日本歯科放射線学会第 3 回秋季学術大会, Web 開催, 2022 年 10 月 7-9 日.
- 10) 齋藤直朗, 阿部達也, 丸山智, 船山昭典, 西山秀昌, 佐久間英伸, 長谷部大地, 林孝文, 田沼順一, 小林正治: 診断に苦慮したオトガイ下部紡錘細胞脂肪腫の 1 例. 第 67 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉市, 2022 年 11 月 4 日-30 日.
- 11) Saez JE, Kakihara Y, Hayashi T, Saeki M: Effect of Sake lees (Sake-kasu) on osteoblastic differentiation and bone metabolism. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟市, 2022 年 11 月 12 日.
- 12) 林孝文, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 新國農, 勝良剛詞, 西山秀昌: CT の顎関節円板転位診断精度の再評価. 第 128 回新潟臨床放射線学会, web 開催, 2022 年 12 月 10 日.
- 13) 勝良剛詞, 高村真貴, 小林太一, 新國農, 西山秀昌, 林 孝文: 重粒子線治療における歯科用合金の線量分布への影響. 第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 2023 年 1 月 26 日-2 月 28 日 (web 開催).
- 14) 小林太一, 高村真貴, 曾我麻里恵, 新國農, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林孝文: Deep learning を用いた頸部領域リンパ節転移の超音波画像診断精度に対する検討. 第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, web 開催, 2023 年 1 月 26 日-2 月 28 日.
- 15) 木口哲郎, 隅田賢正, 阿部達也, 林孝文, 田沼順一, 富原圭: 頸部再発に対してニボルマブを使用した若年者舌癌の 1 例. 第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, web 開催, 2023 年 1 月 26 日-2 月 28 日.
- 16) 羽賀健太, 船山昭典, 長谷部大地, 佐久間英伸, 齋藤大輔, 新美奏恵, 曾東洋平, 山崎学, 田沼順一, 林孝文, 小林正治: 中年女性の下顎骨に認めた広範囲なエナメル上皮線維腫の 1 例. 第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, web 開催, 2023 年 1 月 26 日-2 月 28 日.

【研究会発表】

- 1) 西山秀昌, 高村真貴, 曾我麻里恵, 小林太一, 新國

農, 池真樹子, 勝良剛詞, Jorge Saez, 林孝文: 物体検出 (SSD) でのデンタル撮影部位の同定における透過度、バックグラウンドおよび学習方法の影響について. 第4回歯科人工知能(AI)研究会, Web開催, 2022年2月27日.

【受賞】

- 1) 小林太一, 高村真貴, 曾我麻里恵, 新國農, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林孝文: Deep learning を用いた頸部領域リンパ節転移の超音波画像診断精度に対する検討. 第41回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, 優秀ポスター賞, 2023年1月26日-2月28日.

歯科麻酔学分野

【論文】

- 1) Kagawa K, Kuroda H, Kaneko D, Imura M, Imaizumi U, Kido K, Tsukimoto S, Kurata S, Kishimoto N, Sanuki T. Safety of COVID-19 vaccine delivery by dentists: An observational cohort study. *Journal of Dental Sciences*. 2023;18(2):613-617.
- 2) Toru Yamamoto, Yuhei Koyama, Yuzo Imai, Emi Sawada, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo. SARS-CoV-2 recombinant proteins-induced degeneration of taste buds in rat circumvallate papillae. *Journal of Dental Sciences*, 17: 1450-1453, 2022.
- 3) Takutoshi Inoue and Toru Yamamoto. Tortuous Carotid Artery: A Case Report from Anatomy Training Body and Anesthetic Consideration for Stellate Ganglion Block. *Asian Journal of Medical Case Reports*, 4(1): 63-67, 2022.
- 4) Toru Yamamoto, Yuhei Koyama, Tomoaki Ujita, Emi Sawada, Naotaka Kishimoto, Kenji Seo. SARS-CoV-2 recombinant spike protein induces cell apoptosis in rat taste buds. *Journal of Dental Sciences*, 18(1), 428-443, 2023.
- 5) Kishimoto N, Sanuki T, Liu Y, Tran SD, Seo K.: Simulation training for medical emergencies of dental patients: A review of the dental literature, *Japanese Dental Science Review*. 2023; 59:104-113.
- 6) Yaguchi Erika, Ujita Tomoaki, Hamaguchi Shinsuke. Utility of 6% hydroxyethyl starch 130/0.4 in oral cancer surgeries with a duration of over 6 hours: A retrospective case-control study. *Medicine*, 102(7), 2023.

- 7) Toru Yamamoto, Tatsuru Tsurumaki, Hiroko Kanemaru, Kenji Seo. Tracheal bronchus detected during general anesthesia: A case report. *Anesthesia Progress*, 2023. in press.
- 8) 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 金丸博子, 佐藤由美子, 岸本直隆, 瀬尾憲司: 新潟大学医歯学総合病院における最近13年間の院内歯科救急体制の分析, *新潟歯学会雑誌*, 52(1):19-27, 2022.
- 9) 今井有蔵, 岸本直隆, 倉田行伸, 田中 裕, 弦巻立, 金丸博子, 山本 徹, 瀬尾憲司: 自動カフ圧コントローラーSmartCuff®によりカフ圧損傷を早期に発見しえた1症例, *日本歯科麻酔学会雑誌*, 50(3); 122-124, 2022.
- 10) 田中 裕, 瀬尾憲司, 村松芳幸, 村松公美子: 口腔顔面痛患者の健康関連 QOL 調査, *慢性疼痛*, 41(1):76-82, 2022.
- 11) 氏田倫章, 矢口絵莉香, 濱口眞輔:MECP2 重複症候群患者に対する歯科治療の一例, *日本障害者歯科学会雑誌* 43(2):121-128, 2022.
- 12) 張孜綿, 大島遼, 澤谷祐大, 志村美智子, 本間千絵, 氏田倫章, 国富陽介, 小宮山雄介, 大友文雄, 泉さや香, 川又均:当科における口腔乾燥症の臨床統計学的検討, *栃木県歯科医学会誌* 74.3-8,2022.

【商用誌】

- 1) 岸本直隆, 瀬尾憲司: 歯科麻酔科医の専門性を生かしたシミュレーション教育. *LiSA*. 2022;29(7):624-630.

【研究費】

- 1) 瀬尾憲司: 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B), 2019~2022年度, 課題番号 19H03850, 研究代表者 瀬尾憲司, 脱分化脂肪細胞由来の細胞抽出物による末梢神経損傷の新たな治療法開発
- 2) 岸本直隆: 科学研究費 基盤研究(C), 令和元年度~令和3年度, 課題番号 19K10261, 研究代表者 岸本直隆, 新しい顔面神経麻痺治療への脱分化脂肪細胞由来 cell extract の応用
- 3) 岸本直隆: 科学研究費 国際共同研究加速基金(国際共同研究強化(A)), 令和元年度, 課題番号 19KK0416, 研究代表者 岸本直隆, 脱分化脂肪細胞由来 cell extract の末梢神経再生メカニズムの解明
- 4) 金丸博子: 科学研究費 若手研究, 令和3年度~令和5年度, 課題番号 21K17109, 研究代表者 金丸博子, 末梢組織損傷部位のスフィンゴシン1リン酸は神経障害性疼痛の発生に関与するか

- 5) 佐藤由美子：シグナル抑制機構から解明するシェワソン細胞機能の調節メカニズム. 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 22K10116, 2022-2024.
- 6) 山本徹: 科学研究費 研究活動スタート支援, 令和3~4年度, 課題番号 21K21036, 研究代表者 山本徹, 新型コロナウイルス感染による舌味覚障害発生のメカニズム解明
- 7) 山本徹: 第34回中富健康科学振興財団「研究助成金」, 「末梢神経再生時の神経障害性疼痛発症予防への展望」
- 8) 山本徹: 西山デンタルアカデミー「研究助成金」, 「新型コロナウイルス感染による舌味覚障害発症メカニズムの解明」
- 9) 氏田倫章: 日本歯科麻酔学会学術研究助成 若手研究助成, 令和4年5月~令和6年5月, 研究代表者 氏田倫章 瀬尾憲司, 末梢神経損傷部における異所性興奮発生機序と, それに影響する因子の多元的解析
- 10) 沢田 詠見: 人工シナプスオーガナイザーを使用した末梢神経再生の可能性の解明. 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業, 継続

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 瀬尾憲司: 末梢神経損傷からの再生と痛み, 広島医科歯科連携 Conference 2022, 2022年9月7日, ハイブリッド開催, 2022.
- 2) 瀬尾憲司: 歯科治療中の緊急事態発生の予防対策とその対応, 第6回 国際歯科医療安全機構学術大会, 2022年12月4日, オンライン開催, 2022.
- 3) 田中 裕: 「歯科麻酔について」, 丸石製薬株式会社関東甲信越エリア 社内講演会, 2022年11月10日, オンライン開催, 2022.

【学会発表】

- 1) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎, 藤村健夫, 清水夏恵, 清野 洋, 吉嶺文俊, 片桐敦子, 櫻井浩治, 瀬尾憲司: 口腔顔面痛患者における破局化思考の調査, 第63回日本心身医学会総会・学術講演会, 2022年6月25-26日, 千葉市, 抄録集, 156, 2022.
- 2) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎, 瀬尾憲司: 心因性疼痛の疑いで当科に紹介され頭痛関連性歯痛と判明した3例の経験, 第37回日本歯科心身医学会総会・学術集会, Web 開催, 2022年7月9-10日, 抄録集, 55, 2022.
- 3) 氏田倫章, 岸本直隆, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸,

金丸博子, 佐藤由美子, 山本 徹, 小山祐平, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 術中・術後に口腔周囲に浮腫を生じた Costello 症候群患者の麻酔経験, 第38回関東臨床歯科麻酔懇話会・学術集会, 2022年7月30日, 横浜市, 抄録集, 18, 2022.

- 4) 小山祐平, 岸本直隆, 今井有蔵, 山本徹, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 脂肪組織由来幹細胞由来 cell extract の末梢神経再生効果の神経トレーサーを用いた三次元的検討, 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2022年10月27日~10月29日, 東京都, 日本歯科麻酔学会誌, 第48巻, 抄録号, 122, 2022.
- 5) 田中 裕, 弦巻 立, 倉田行伸, 金丸博子, 瀬尾憲司: 三叉神経における SEP 測定のための基礎的研究, 第50回日本歯科麻酔学会総会 学術集会, 2022年10月27-29日, 東京都, 第50巻抄録集 131, 2022.
- 6) 今井有蔵, 岸本直隆, 小山祐平, 山本徹, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 脂肪組織由来幹細胞から作製した Cell Extract が末梢神経細胞再生に影響する因子の検討, 第33回日本末梢神経学会学術集会, 2022年9月9-10日, 東京都, 抄録集 P153, 2022.
- 7) 沢田 詠見, 山本 徹, 弦巻 立, 金丸 博子, 瀬尾 憲司: 主気管支分岐部の形態異常の1例, 主気管支分岐部の形態異常の1例, 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2022年10月27~29日, 東京都, 日本歯科麻酔学会雑誌, 50:163, 2022
- 8) 氏田 倫章, 山本 徹, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田 行伸, 金丸 博子, 佐藤 由美子 瀬尾 憲司: 声門通過後にチューブ挿入困難を認めたことにより気管狭窄を発見した1例. 第50回日本歯科麻酔学会, 東京都品川区, 2022年10月27日-10月29日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 50巻抄録号, p165, 2022.
- 9) 山本徹, 小山祐平, 今井有蔵, 氏田倫章, 沢田詠見, 岸本直隆, 瀬尾憲司: 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 組み換えタンパク質によるラット味蕾の退行性変化. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2022年10月28日~10月29日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 第50巻抄録号, 181, 2021.
- 10) 佐藤由美子, 岸本直隆, 田中 裕, 弦巻 立, 倉田 行伸, 金丸 博子, 山本 徹, 瀬尾 憲司: 当院中央手術室での小児患者の抜歯における気道管理方法についての統計学的検討日本歯科麻酔学会雑誌 50 抄録号; 194, 2022
- 11) 倉田行伸, 岸本直隆, 田中 裕, 弦巻 立, 金丸博子, 山本 徹, 瀬尾憲司: 当科の卒前臨床実習のビデオ・シミュレーション実習における学生への効果. 第50回日本歯科麻酔学会, 東京都, 2022年10月27日-10月29日, 日本歯科麻酔学会雑誌, 第50巻抄録号, 198, 2022.

- 12) 金丸博子, 田中 裕, 倉田行伸, 弦巻 立, 瀬尾憲司: 三叉神経痛に対して漢方治療を行なった症例報告の文献的検討. 第 50 回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2022 年 10 月 28-29 日, 東京都品川区, 日本歯科麻酔学会雑誌, 50 (4) : 200, 2022
- 13) 今井有蔵, 倉田行伸, 岸本直隆, 田中 裕, 弦巻 立, 金丸博子, 佐藤由美子, 山本 徹, 小山祐平, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 麻酔善投薬の麻酔導入中の嘔吐により換気困難となった小児全身麻酔の 1 例, 第 39 回日本障害者歯科学会総会学術講演会, 2022 年 11 月 4-6 日, 倉敷市, 抄録集, 38.
- 14) 氏田倫章, 岸本直隆, 山本徹, 今井有蔵, 小山祐平, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 三叉神経刺激による三叉神経節細胞興奮の光学的解析～膜電位感受性色素を用いて～, 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 2022 年 11 月 12 日, 新潟市, 抄録集, 13, 2022.
- 15) 佐藤由美子, 田中 裕, 瀬尾 憲法 憲司: 新潟大学医歯学総合病院における歯科周術期支援の現状と課題について, 第 42 回 日本臨床麻酔学会, 2022 年 11 月 11-12 日, 京都, 臨床麻酔学会雑誌 42 No.6; S-199, 2022.
- 16) 田中 裕, 村松芳幸, 村松公美子, 真島一郎, 藤村健夫, 清水夏恵, 清野 洋, 片桐敦子, 吉嶺文俊, 櫻井浩治, 瀬尾憲司: 口腔顔面痛患者の睡眠と疼痛との関連性の検討, 第 26 回日本心療内科学会総会・学術大会, 2022 年 11 月 19-20 日, 福岡市, 別冊 (抄録集), 126, 2022.
- 17) 田中 裕, 瀬尾憲司, 倉田行伸, 村松芳幸: GAD-7 による口腔顔面痛患者の不安状態の調査, 第 52 回日本慢性疼痛学会, 2023 年 3 月 10-11 日, 福岡, 抄録集, 95, 2023.

【研究会発表】

- 1) 沢田詠見: 麻酔前投薬の麻酔導入中の嘔吐により換気困難となった小児全身麻酔の 1 例. 第 88 回新潟口腔外科麻酔科集談会, WEB 開催, 2022 年 5 月 19 日.
- 2) 山本徹, 小山祐平, 今井有蔵, 氏田倫章, 沢田詠見, 金丸博子, 倉田行伸, 弦巻立, 田中裕, 岸本直隆, 瀬尾憲司: 新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) 組み換えタンパク質によるラット味蕾の退行性変化. 第 93 回新潟麻酔科懇話会・第 72 回新潟ショックと蘇生・集中治療研究会, 2022 年 6 月 4 日, 新潟市.
- 3) 金丸博子, 田中 裕, 倉田行伸, 瀬尾憲司: 漢方治療が行われた三叉神経痛患者に関する症例報告のシ

ステマティックレビュー, 第 34 回日本疼痛漢方研究会学術集会, 2022 年 7 月 23 日, 東京, 2022.

- 4) 倉田行伸: 倉田行伸: 術後咽頭痛から始まり、呼吸器合併症および心因性合併症が続発したため対応に苦慮した症例. 第 89 回新潟口腔外科麻酔科集談会, 2022 年 11 月 17 日, オンライン開催. 第 89 回新潟口腔外科麻酔科集談会.
- 5) 沢田詠見: 人工シナプスオーガナイザーを使用した末梢神経再生の可能性の解明. 令和 4 年度博士学生支援プログラムシンポジウム, 新潟および WEB ハイブリッド開催, 2023 年 3 月 6 日～3 月 13 日.

【社会貢献、教育活動、など】

- 1) 瀬尾憲司: 新潟大学クラウドファンディング, 歯科治療での医療事故を防ぐ. 救急対応時の教育映像の普及にご協力を (目標金額: 10,500,000 円), 2022 年 2 月 17 日～4 月 15 日.
- 2) 瀬尾憲司: 学外講義 (歯科麻酔学), 2022 年 4 月 18-19 日、北海道医療大学歯学部
- 3) 瀬尾憲司: 学外講義 (歯科麻酔学), 2022 年 5 月 30-31 日, 鹿児島大学歯学部
- 4) 瀬尾憲司, 田中 裕, 弦巻 立, 金丸博子, 山本 徹, 小山祐平, 氏田倫章, 沢田詠見: 新潟県歯科医師会主催救急講習会, 2022 年 9 月 11 日, 新潟市.
- 5) 瀬尾憲司, 田中 裕, 弦巻 立, 金丸博子, 山本 徹, 小山祐平, 氏田倫章: 徳真会主催救急蘇生講習会, 2022 年 10 月 22 日, 新潟市.
- 6) 瀬尾憲司: 第 6 回 国際歯科医療安全機構学術大会主催, 2022 年 12 月 4 日, オンライン開催, 2022
- 7) 瀬尾憲司: 学外講義 (九州大学歯学部), 歯科麻酔学, 2023 年 1 月 10-11 日, 福岡市.
- 8) 田中 裕: 学外講義 (北都健勝リハビリテーション大学 大学院講義, 「リスク管理学」), 2022 年 6-9 月, 村上市.
- 9) 田中 裕, 木村慎二, 内山 徹, 松井 宏: 新潟県慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業 令和 4 年度慢性疼痛診療研修「人材育成研修会」主催, 2022 年 10 月 2 日, 新潟市.
- 10) 弦巻 立: 学外講義 (国際メディカル専門学校講義, 「薬理学」「臨床薬理学」), 2022 年 4-10 月.
- 11) 弦巻 立: 学外講義 (新潟県厚生連佐渡看護専門学校, 「薬理学」「歯科麻酔学」), 2022 年 6-11 月.
- 12) 弦巻 立: 学外講義 (三条看護・医療・歯科衛生専門学校, 「薬理学」), 2022 年 11-12 月.

【学会賞受賞、資格取得、その他】

- 1) 田中 裕: 心身医学に携わる歯科医師の憂鬱 (「心身

- 医学」巻頭言), 心身医学 62(4);294-295, 2022.
- 2) 田中 裕: 日本歯科麻酔学会専門医更新(第127号), 2022年7月1日.
 - 3) 田中 裕: 日本障害者歯科学会認定医更新(第926号), 2022年9月10日.
 - 4) 田中 裕: 令和4年度新潟大学医歯学総合病院緩和ケア研修会修了, 2022年9月3日, 新潟市.
 - 5) 田中 裕: 令和4年度第1回自殺未遂者ケア研修(厚生労働大臣指定法人・一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター主催)受講, 2022年9月25日, オンライン開催.
 - 6) 山本 徹: Topic Editor (Oral Cancer Pain) in *Frontiers in Pain Research* (Editor-in-Chief: Tony L Yaksh)
 - 7) 山本 徹: T Reviewer in *Journal of Dental Sciences* (Editor-in-Chief: Chun-Pin Chiang)
 - 8) 山本 徹: T Reviewer in *European Journal of Histochemistry* (Editor-in-Chief: Carlo Pellicciari)
 - 9) 山本 徹: T Editorial Board in *Journal of Oral and Maxillofacial Anesthesia* (Editor-in-Chief: Hong Jiang)
 - 10) 山本 徹: T Reviewer in *Clinical Medicine Insights: Case Reports* (Editor-in-Chief: Joris Berwaerts)
 - 11) 山本 徹: T Reviewer in *The Open Public Health journal* (Editor-in-Chief: Matthias Beck)
 - 12) 山本 徹: T Reviewer in *Ageing and Neurodegenerative Diseases* (Editor-in-Chief: Wei-Dong Le)
 - 13) 小山祐平: 令和4年度日本歯科麻酔学会最優秀発表賞(デンツプライシロナ賞)受賞, 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 10月28日, 2022年
 - 14) 小山祐平: AHA BLS provider(2020) 更新 2022年10月29日
 - 15) 今井有蔵: 日本緩和医療学会 緩和ケア研修会修了, 2022年5月21日
- 科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学第2版(前田健康, 井上富雄編), 21-30頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
- 4) 前田健康: II編5章 5. 外皮. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学第2版(前田健康, 井上富雄編), 161-167頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
 - 5) 山田友里恵, 前田健康: II編5章 6. 特殊感覚器の構造と機能. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学第2版(前田健康, 井上富雄編), 167-178頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
 - 6) 前田健康: II編6章 1. 神経系の概要. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学第2版(前田健康, 井上富雄編), 179-183頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
 - 7) 前田健康: II編6章 2. 神経系の基本構造. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学第2版(前田健康, 井上富雄編), 180-183頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
 - 8) 前田健康: II編6章 6. 末梢神経系. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学第2版(前田健康, 井上富雄編), 196-204頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
 - 9) 前田健康: II編9章 1. 内分泌器官とホルモン. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学第2版(前田健康, 井上富雄編), 246-247頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
 - 10) 前田健康: II編9章 2. 内分泌器官の構造と機能. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学第2版(前田健康, 井上富雄編), 247-254頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
 - 11) 前田健康: I編1章 4. 顎関節. 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学第2版(前田健康, 増田裕次編), 35-37頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
 - 12) 前田健康, 山田友里恵: I編1章 6. 神経. 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学第2版(前田健康, 増田裕次編), 49-61頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
 - 13) 前田健康: I編1章 8. 咽頭と喉頭の構造. 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学第2版(前

高度口腔機能教育研究センター・歯学教育開発室

【著 書】

- 1) 前田健康: 歯科衛生士になるためのオリエンテーション 2022 (一般社団法人全国歯科衛生士教育協議会監修), 5-6頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
- 2) 前田健康: 序章 解剖学で学ぶこと・生理学で学ぶこと. 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学第2版(前田健康, 井上富雄編), 1-8頁, 医歯薬出版, 東京, 2022年.
- 3) 井上佳世子: I編1章 2. 上皮と支持組織. 歯

田健康, 増田裕次編), 63-71 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.

- 14) 前田健康: I 編 2 章 1. 歯の解剖学総論. 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学第 2 版 (前田健康, 増田裕次編), 72-82 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
- 15) 前田健康: IV 編 2. 口腔の組織を理解する実習. 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学第 2 版 (前田健康, 増田裕次編), 278-282 頁, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
- 16) 前田健康: I 編 人体の構造と機能. ポイントチェック 歯科衛生士国家試験対策第 6 版 (歯科衛生士国家試験対策①編), 医歯薬出版, 2-39 頁, 東京, 2023 年.
- 17) 前田健康: II 編 歯・口腔の構造と機能. ポイントチェック 歯科衛生士国家試験対策第 6 版 (歯科衛生士国家試験対策①編), 医歯薬出版, 72-102 頁, 東京, 2023 年.
- 18) 前田健康, 脇田稔: 第 1 章 口腔と歯の概説. 口腔組織発生学第 3 版 (前田健康, 網塚憲生, 中村浩彰編), 医歯薬出版, 東京, 2023 年.
- 19) 前田健康: 第 6 章 歯と歯周組織の神経と脈管. 口腔組織発生学第 3 版 (前田健康, 網塚憲生, 中村浩彰編), 医歯薬出版, 東京, 2023 年.
- 20) 山田友里恵, 前田健康: 末梢神経の再生. 口腔組織発生学第 3 版 (前田健康, 網塚憲生, 中村浩彰編), 医歯薬出版, 東京, 2023 年.
- 21) 前田健康, 井上佳世子: 第 8 章 顎関節. 口腔組織発生学第 3 版 (前田健康, 網塚憲生, 中村浩彰編), 医歯薬出版, 東京, 2023 年.
- 22) 井上佳世子: I 編 人体の構造と機能 1 章 解剖学. 歯科衛生士 書き込み式学習ノート①専門基礎科目編第 3 版, 医歯薬出版, 東京, 2023 年.

【編 集】

- 1) 前田健康, 井上富雄: 歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学第 2 版, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
- 2) 前田健康, 増田裕次: 歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学第 2 版, 医歯薬出版, 東京, 2022 年.
- 3) 前田健康: 大学で学ぶための学習ガイドブック, 新潟大学歯学部, 新潟, 2022 年.
- 4) 前田健康, 網塚憲生, 中村浩彰: 口腔組織発生学第 3 版, 医歯薬出版, 東京, 2023 年.

【原 著】

- 1) Takizawa F, Domon H, Hiyoshi T, Tamura H, Shimizu K, Maekawa T, Tabeta K, Ushida A, Terao Y: Ozone ultrafine bubble water exhibits bactericidal activity against pathogenic bacteria in the oral cavity and upper airway and disinfects contaminated healthcare equipment. PLoS One 18(4): e0284115, 2023.
- 2) Tamura H, Maekawa T, Domon H, Sirisereephap K, Isono T, Hirayama S, Hiyoshi T, Sasagawa K, Takizawa F, Maeda T, Terao Y, Tabeta K: Erythromycin restores osteoblast differentiation and osteogenesis suppressed by Porphyromonas gingivalis lipopolysaccharide. Pharmaceuticals, 16(2): 303, 2023.
- 3) Krus KL, Strickland A, Yamada Y, Devault L, Schmidt RE, Bloom AJ, Milbrandt J, DiAntonio A: Loss of Stathmin-2, a hallmark of TDP-43-associated ALS, causes motor neuropathy. Cell reports 39(13):111001-111001, 2022.
- 4) Sato-Yamada Y, Strickland A, Sasaki Y, Bloom AJ, DiAntonio A, Milbrandt J: A SARM1/mitochondrial feedback loop drives neuropathogenesis in a Charcot-Marie-Tooth disease type 2A rat model. J Clin Invest. in press.
- 5) Dingwall CB, Strickland A, Yum SW, Yim A K-Y, Zhu J, Wang PL, Yamada Y, Schmidt RE, Sasaki Y, Bloom AJ, DiAntonio A, Milbrandt J: Macrophage depletion blocks congenital SARM1-dependent neuropathy. J Clin Invest. in press.
- 6) Yamazaki K, Miyauchi E, Kato T, Sato K, Suda W, Tsuzuno T, Yamada-Hara M, Sasaki N, Ohno H, Yamazaki K, Dysbiotic human oral microbiota alters systemic metabolism via modulation of gut microbiota in germ-free mice J Oral Microbiol. 14(1):2110194, 2022.
- 7) Kudo T, Kawasaki M, Kawasaki K, Meguro F, Nihara J, Honda I, Kitamura M, Fujita A, Osawa K, Ichikawa K, Nagai T, Ishida Y, Sharpe PT, Maeda T, Saito I, Ohazama A.: Ift88 regulates enamel formation via involving Shh signaling. Oral Dis. 2022 in press
- 8) Hirayama S, Domon H, Hiyoshi T, Isono T, Tamura H, Sasagawa K, Takizawa F, Terao Y.: Triosephosphate isomerase of Streptococcus pneumoniae is released extracellularly by autolysis and binds to host plasminogen to promote its activation. FEBS Open Bio. 12(6): 1206-1219, 2022.
- 9) Sirisereephap K, Maekawa T, Tamura H, Hiyoshi T, Domon H, Isono T, Terao Y, Maeda T, Tabeta K.:

Osteoimmunology in periodontitis: Local proteins and compounds to alleviate periodontitis. *Int J Mol Sci.* 23(10): 5540, 2022.

- 10) Hiyoshi, T, Domon, H, Maekawa, T, Tamura, H, Isono, T, Hirayama, S, Sasagawa, K, Takizawa, F, Tabeta, K, Terao, Y.: Neutrophil elastase aggravates periodontitis by disrupting gingival epithelial barrier via cleaving cell adhesion molecules. *Sci Rep.* 12: 8159, 2022
- 11) Lwin HY, Aoki-Nonaka Y, Matsugishi A, Takahashi N, Hiyoshi T, Tabeta K: Soybean peptide inhibits the biofilm of periodontopathic bacteria via bactericidal activity. *Arch Oral Biol.* 105497, 2022.
- 12) Komatsu A, Iida I, Nasu Y, Ito G, Harada F, Kishikawa S, Moss SJ, Maeda T, Terunuma M: Ammonia induces amyloidogenesis in astrocytes by promoting amyloid precursor protein translocation into the endoplasmic reticulum. *J Biol Chem.* 298(5): 101933, 2022.
- 13) Thant L, Kaku M, Kakihara Y, Mizukoshi M, Kitami M, Arai M, Kitami K, Kobayashi D, Yoshida Y, Maeda T, Saito I, Uoshima K, Saeki M. Extracellular Matrix-Oriented Proteomic Analysis of Periodontal Ligament Under Mechanical Stress. *Front Physiol.* 20(13):899699, 2022.
- 14) Thant L, Kakihara Y, Kaku M, Kitami M, Kitami K, Mizukoshi M, Maeda T, Saito I, Saeki M. Involvement of Rab11 in osteoblastic differentiation: Its up-regulation during the differentiation and by tensile stress. *Biochem Biophys Res Commun.* 624:16-22, 2022.
- 15) Yamaguchi H, Kitami M, Uchima Koecklin KH, He L, Wang J, Lagor WR, Perrien DS, Komatsu Y. Temporospacial regulation of intraflagellar transport is required for the endochondral ossification in mice. *Dev Biol.* 482:91-100, 2022.

【商業誌等】

- 1) 前川知樹:臨床と基礎の融合. 歯界展望 140(5): 870-898, 2022.

【科学研究費・補助金等】

- 1) 前田健康 (研究代表者): 新たに同定した線維芽細胞様細胞の末梢神経再生における役割. 令和4年度(新規)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B)), 871万円(うち直接経費 670万), 課題番号 22H03287
- 2) 前田健康 (研究分担者): 末梢神経損傷により途切れた神経回路の人工シナプスコネクタによる感覚再生への挑戦. 令和4年度(新規)日本学術

振興会科学研究費助成事業(挑戦的(萌芽)), (研究代表者: 瀬尾憲司), 182万円(うち直接経費 140万, うち分担金 5万), 課題番号 23K19615

- 3) 前田健康 (研究分担者): マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析. 令和4年度(新規)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B)「一般」), (研究代表者: 吉羽永子), 494万円(うち直接経費 380万, うち分担金 50万), 課題番号 22H03259
- 4) 前田健康 (研究分担者): シグナル抑制機構から解明するシュワン細胞機能の調節メカニズム研究課題. 令和4年度(新規)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(C)「一般」), (研究代表者: 佐藤由美子), 万円(うち直接経費 234万, うち分担金 55万), 課題番号 22K10116
- 5) 前川知樹 (研究代表者): DEL-1による口腔組織修復および再生機構の解明. 令和4年度(新規)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B)), 832万円(うち直接経費 640万), 課題番号 22H03267
- 6) 前川知樹 (研究分担者): マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析. 令和4年度(新規)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B)「一般」), (研究代表者: 吉羽永子), 494万円(うち直接経費 380万, うち分担金 80万), 課題番号 22H03259
- 7) 前川知樹 (研究分担者): ナノバブル化ネオマクロライドを用いたワクチン副反応の予防薬の開発研究. 令和4年度(新規)日本学術振興会科学研究費助成事業(挑戦的(萌芽)), (研究代表者: 寺尾豊), 273万円(うち直接経費 210万, うち分担金 10万), 課題番号 22K19614
- 8) 前川知樹 (研究分担者): 薬剤耐性肺炎球菌の *in vivo* MS 解析とキューブ型 DNA 抗菌薬の開発研究. 令和4年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B)「一般」), (研究代表者: 寺尾豊), 299万円(うち直接経費 230万, うち分担金 10万), 課題番号 20H03858
- 9) 前川知樹 (研究分担者): 肺炎重症化因子のプロテオーム解析を基盤とする創薬研究への展開. 令和4年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(C)), (研究代表者: 土門 久哲), 104万円(うち直接経費 80万, うち分担金 10万), 課題番号 20K09903
- 10) 日吉 巧 (研究代表者): プロテオーム解析法を用いたエラスターゼによる歯周炎重症化メカニズムの網羅的解析. 令和4年度(新規)日本学術振興会科学研究費助成事業(スタート支援), 299万円

(うち直接経費 230 万円), 課題番号 22K17053

- 11) Thant Lay: Characterization of ROCK inhibitor-treated extracellular vesicles and analysis of their effect on osteogenesis. 令和 4 年度(新規)日本学術振興会科学研究費助成事業(若手), 234 万円(うち直接経費 180 万), 課題番号 22K17135
- 12) 前田健康(研究分担者): 代生歯堤の形成・維持メカニズムの解明. 令和 4 年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(挑戦的(萌芽)), (研究代表者: 大峽 淳), 260 万円(うち直接経費 200 万, うち分担金 5 万), 課題番号 21K19591
- 13) 前田健康(研究分担者): 皮膚の付属器官発生における老化活性の機能解明. 令和 4 年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B)「一般」), (研究代表者: 大峽 淳), 507 万円(うち直接経費 390 万, うち分担金 5 万), 課題番号 21H03122
- 14) 前田健康, 山田友里恵(研究分担者): 脱分化脂肪細胞由来の細胞抽出物による末梢神経損傷の新たな治療法開発. 令和 4 年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(B)「一般」), (研究代表者: 瀬尾憲司), 377 万円(うち直接経費 290 万, うち分担金 5 万), 課題番号 19H03850
- 15) 前田健康, 川崎勝盛(研究分担者): 顎顔面の発生過程における一次繊毛の機能解明: シグナル経路のクロストークの観点から. 令和 4 年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(C)), (研究代表者: 川崎真依子), 117 万円(うち直接経費 90 万, うち分担金 5 万), 課題番号 20K10092
- 16) 山田友里恵(研究代表者): Hedgehog シグナル制御による軸索伸長と感覚回復機構の関連の解明. 令和 4 年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(若手), 221 万円(うち直接経費 170 万円), 課題番号 19K19225
- 17) 川崎勝盛(研究代表者): 上顎正中過剰歯の発生メカニズムの解明. 令和 4 年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(C)), 156 万円(うち直接経費 120 万円), 課題番号 21K10182
- 18) 石田陽子(研究代表者): 下顎骨形成メカニズムの解明. 令和 4 年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(基盤(C)), 143 万円(うち直接経費 110 万), 課題番号 21K10088
- 19) 北見恩美(研究代表者): 加齢による変形性顎関節症を引き起こす細胞内輸送を制御するシグナル伝達経路の解明. 令和 4 年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(若手), 247 万円(うち直接経費 190 万円), 課題番号 21K17035

- 20) 日吉 巧(研究代表者): エラスターゼを標的とした歯周炎重症化機序の探索とその分子メカニズムの解明. 令和 4 年度(継続)日本学術振興会科学研究費助成事業(スタート支援), 156 万円(うち直接経費 120 万円), 課題番号 21K21058
- 21) 前川知樹(研究代表者): DEL-1 による口腔の組織修復と再生機構解明. 令和 4 年度(新規)内藤記念科学振興財団 次世代育成支援研究助成金, 600 万円.
- 22) 日吉 巧(研究代表者): オゾンナノ水を用いた医療と食の安全研究. 令和 3 年度(新規)新潟大学研究推進機構, U-go グラント, 100 万円.

【講演・シンポジウム】

- 1) Maeda T: Bone quality in dental implantation. Dentisphere 5th seminar. Shangri-La Hotel Surabaya, Surabaya, Indonesia, 2022.9.3.
- 2) 前田健康: 歯学部取組 令和 4 年度新潟大学ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)シンポジウム, 新潟, 2022.9.30.
- 3) Maeda T, Yamada Y: Sensory innervation of periodontal ligament - Its terminal morphology, development and regeneration -. 12th International conference on dental science and education. Hanoi Medical University, Hanoi, Vietnam, 2022.12.9.
- 4) Maeda T: Morphological basis on dental innervation. Universitas Hasanuddin, Makassar, Indonesia, 2023.3.15.
- 5) Maeda T: Regeneration of pulpal and periodontal nerves. 12th International Scientific Meeting and 8th International conference on Biophysical Technology in Dentistry, Claro Hotel, Makassar, Indonesia, 2023.3.16.
- 6) Maekawa T: Erythromycin inhibits neutrophilic inflammation and promotes bone regeneration by upregulating DEL-1 in young and aged mice. FDCU International Symposium 2022, Bangkok, Thailand, 2022.5.31.
- 7) Maekawa T: Macrolides inhibits neutrophilic inflammation and promotes bone regeneration by upregulating DEL-1. 108th American Academy of Periodontology, Phoenix, AZ, USA, 2022.10.27.
- 8) 前川知樹: Periodontal Medicine と口腔未来科学による SDGs .シンポジウム「Periodontal Medicine の SDGs と未来」第 76 回日本口腔科学会学術集会, 福岡, 2022.4.21.
- 9) 前川知樹: DEL-1 誘導による骨再生とセノリティック薬剤展開. シンポジウム「Rising Stars in Skeletal

Biology」第 40 回日本骨代謝学会学術集会, 岐阜, 2022.7.23.

- 10) 前川知樹: マクロライド系抗菌薬による免疫調整と再生賦活化機構解明と臨床展開. シンポジウム「若手研究者が発信する新時代の感染症・がん研究」第 60 回日本口腔科学会北日本地方部会, 札幌, 2022.7.10.
- 11) 前川知樹: 口腔組織修復・骨再生とセノリティック薬剤展開. FRIS/TI-FRIS Life Science Seminar 特別講演, 仙台, 2022.9.9.
- 12) 前川知樹: 口腔老化幹細胞ニッチに着目した口腔老化メカニズム解明とその疾患治療. シンポジウム「多階層のアプローチによる骨免疫学最前線」, 徳島, 2022.9.18.
- 13) 前川知樹: マクロライド系抗菌薬による免疫調整と再生賦活化機構解明・臨床展開, 第 4 回オーラルサイエンス研究会・特別講演, 2022.11.13.
- 14) 山田友里恵: 女性研究者開花プラン支援事業取組報告 令和 4 年度新潟大学ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)シンポジウム, 新潟, 2022.9.30.
- 15) 山田友里恵、前田健康: 末梢神経再生における血管周囲線維芽細胞の働き 第 45 回日本分子生物学会年会, 幕張, 2022.12.1-3.
- 16) 川崎勝盛: 顎顔面の発生過程における一次線毛の機能解明. 第 5 回共用設備基盤センター CCRF シンポジウム, 新潟 (ハイブリッド開催), 2022. 10. 18.

【国際学会発表】

- 1) Tsutsui Y, Tsujimura T, Piriyaprasath K, Chotirungsan T, Magara J, Okamoto K, Yamamura K, Maeda T, Inoue M: Functional role of posterior digastric muscle during deglutition. Neuroscience 2022. San Diego, CA, USA, 2022.11.15.

【国内学会発表】

- 1) 滝澤 史雄, 土門 久哲, 前川 知樹, 牛田 晃臣, 平山 悟, 日吉 巧, 田村 光, 磯野 俊仁, 笹川 花梨, 樋渡 忠, 瀬戸 光一, 寺尾 豊, 多部田 康一: オゾンウルトラファインバブル水による口腔細菌の殺菌作用, 第 65 回春季日本歯周病学会学術大会, 東京, 2022.6.3,4.
- 2) 土橋梓, 加来賢, Lay Thant, 小野喜樹, 魚島勝美. Periostin knockout 歯根膜細胞における細胞外基質のオミックス解析. 第 54 回 日本結合組織学会学術大会, 大阪, 2022.6.25, 抄録集: 120, 2022.
- 3) Thant L, Kaku M, Kakihara Y, Mizukoshi M, Kitami

M, Kitami K, Kobayashi D, Yoshida Y, Maeda T, Uoshima K, Saito I, Saeki M: Alteration of the ECM composition and fiber organization in periodontal ligament under mechanical loading. 第 54 回日本結合組織学会学術大会, 大阪, 2022.6.25, 抄録集: 110, 2022.

- 4) Sirisereephap K, Maekawa T, Maeda T, Tabeta K: Macrolides promote Del-1 dependent effects on bone metabolisms in the periodontitis-induced mouse model, 第 65 回秋季日本歯周病学会学術大会, 仙台, 2022.9.2.
- 5) 北見 恩美, 加来 賢: プライマリーシリアを介した下顎頭軟骨老化メカニズムの探索. 第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17, 抄録集: 352, 2022.
- 6) 浅見栄里, 北見恩美, 井田貴子, 小林正治, 佐伯万騎男: 2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する. 第 64 回歯科基礎医学会学術大会, 徳島, 2022.9.17, 抄録集: 287, 2022.
- 7) 新井萌生, 加来賢, Thant Lay, 岩間基, 水越優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: 培養歯根膜細胞から分泌された細胞外マトリックスのプロテオーム解析. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会 & 第 9 回日韓ジョイントシンポジウム, 大阪, 2022.10.5, 抄録集: 163, 2022.
- 8) 岩間基, 加来賢, Lay Thant, 新井萌生, 水越優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: 加齢によりマウス臼歯の根尖側セメント質表層に生じる無細胞セメント質様組織の解析. 第 81 回日本矯正歯科学会学術大会 & 第 9 回日韓ジョイントシンポジウム, 大阪, 2022.10.5, 抄録集: 167, 2022.
- 9) 浅見栄里, 北見恩美, 井田貴子, 小林正治, 佐伯万騎男: 2-methoxy-4-vinylphenol の RAW264.7 細胞における抗炎症活性には HO-1 による iNOS 転写抑制が関与する. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022.11.12.
- 10) 新井萌生, 加来賢, Thant Lay, 土橋梓, 岩間基, 水越優, 北見公平, 魚島勝美, 齋藤 功: SPARC の欠失が歯根膜細胞の線維形成に及ぼす影響のプロテオーム解析. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022.11.12.
- 11) 磯野俊仁, 平山 悟, 土門久哲, 前川知樹, 田村 光, 日吉 巧, 竹中彰治, 野杵由一郎, 寺尾 豊: 肺炎球菌性肺炎の新たな治療法と治療標的の探索研究, 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022.11.12.

【研究会発表】

- 1) 日吉 巧:好中球エラスターゼによる歯周炎重症化機序と新規治療法の探索,第4回オーラルサイエンス研究会,長野県松本市,2022.11.13.

【受賞】

- 1) 日吉 巧:好中球エラスターゼの歯内上皮バリア傷害作用による歯周炎重症化メカニズム解析,日本歯周病学会 Young Investigator Award,日本歯周病学会,2022年6月
- 2) 日吉 巧:好中球エラスターゼによる歯周炎重症化機序と新規治療法の探索,優秀発表賞,第4回オーラルサイエンス研究会,2022年11月.

【非常勤講師】

- 1) Maeda T: Adjunct Professor. Faculty of Dental Medicine, Universitas Airlangga, Indonesia.
- 2) 前田健康:朝日大学歯学部客員教授.
- 3) 井上佳世子:人体解剖学. 明倫短期大学.

【公的委員】

- 1) 前田健康:令和4年度医学/歯学教育指導者のためのワークショップコーディネーター. 文部科学省.
- 2) 前田健康:モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会委員. 文部科学省.
- 3) 前田健康:医道審議会臨時委員及び歯科医師分科会員.厚生労働省.
- 4) 前田健康:科学技術政策研究所専門調査委員. 文部科学省科学技術政策研究所.
- 5) 前田健康:大学機関別認証評価委員会専門委員,大学改革支援・学位授与機構.
- 6) 前田健康:科学研究費基盤研究(S)意見書作成委員,日本学術振興会.
- 7) 前田健康:研究支援事業事前評価外部専門家,科学技術振興機構.
- 8) 前田健康:日本学術会議第25期連携会員(歯学委員会).
- 9) 前田健康:日本学術会議第25期連携会員(基礎系歯学分科会).
- 10) 前田健康:全国歯科大学学長歯学部長会議常置委員会委員.
- 11) 前田健康:新潟警察歯科医会顧問.
- 12) 前田健康:スチューデントデンティスト運営協議会座長
- 13) 前川知樹:日本学術会議第25期連携会員(基礎系歯学分科会).
- 14) 前川知樹:日本学術会議第25期連携会員(臨床系歯学分科会).

- 15) 前川知樹:日本学術会議第25期連携会員(病態系歯学分科会).
- 16) 前川知樹:日本学術会議第25期連携会員(若手アカデミー).
- 17) 前川知樹:日本学術会議第25期連携会員(科学者委員会 学術研究振興分科会).

【Editorial Board】

- 1) Maeda T: Archives of Histology and Cytology
- 2) Maeda T: Anatomical Science International
- 3) Maeda T: Biomedical Research
- 4) Maeda T: Journal of Oral Tissue Engineering
- 5) Maeda T: Frontiers in Dental Medicine
- 6) Maeda T: Journal of Clinical Medicine
- 7) Maekawa T: Frontiers in Oral Health

【その他委員】

- 1) 前田健康:新潟歯学会(会頭)
- 2) 前田健康:歯科衛生学シリーズ編集委員

口腔生命福祉学科

【著書】

- 1) 日高勝美編者:荻原明弘:10章 学校保健 デンタルスタッフの衛生学・公衆衛生学、医歯薬出版、東京、2022.
- 2) 前田健康(監修),小野和宏(編集):大学で学ぶための学習ガイドブック 第2版,新潟大学歯学部,新潟,2022.
- 3) 小野和宏,丹原惇:第11章 レポートを書く. 前田健康(監修),小野和宏(編集):大学で学ぶための学習ガイドブック 第2版,182-192頁,新潟大学歯学部,新潟,2022.
- 4) 小野和宏:第2章 歯学部学生の受け入れ. 日本歯科医学教育学会白書作成部会(編集):歯科医学教育白書2021年版(2018~2021年),12-18頁,日本歯科医学教育学会,東京,2023.
- 5) 中村健:生活保護法の概要と役割.最新・はじめて学ぶ社会福祉 貧困に対する支援(中村健 他編),80-95頁,ミネルヴァ書房,京都,2022.
- 6) 中村健:ケースワーク業務の外部委託化に関する報告書.季刊公的扶助研究 第264号(中村健 他),11-15頁,萌文社,東京,2022.
- 7) 中村健:2年連続オンライン開催の全国セミナー.季刊公的扶助研究 第267号(中村健 他),46頁,萌文社,東京,2022.

【論 文】

- 1) Ohkura N, Yoshiba K, Yoshiba N, Oda Y, Edanami N, Ohshima H, Takenaka S, Okiji T, Noiri Y. Prostaglandin E2-Transporting pathway and its roles via EP2/EP4 in cultured human dental pulp. *J Endod.* 2023 doi: 10.1016/j.joen.2023.01.009.
- 2) Edanami N, Belal RSI, Takenaka S, Yoshiba K, Gutierrez REB, Takahara S, Yoshiba N, Ohkura N, Noiri Y. In vivo assessment of the calcium salt-forming ability of a new calcium silicate-based intracanal medicament: Bio-C Temp. *Dent J* 11(4):91, 2023. <https://doi.org/10.3390/dj11040091>
- 3) Ohkura N, Yoshiba K, Yoshiba N, Edanami N, Ohshima H, Takenaka S, Noiri Y. SVCT2-GLUT1-mediated ascorbic acid transport pathway in rat dental pulp and its effects during wound healing. *Sci Rep* 13(1):1251, 2023. doi: 10.1038/s41598-023-28197-9.
- 4) Shalehin N, Seki Y, Takebe H, Fujii S, Mizoguchi T, Nakamura H, Yoshiba N, Yoshiba K, Iijima M, Shimo T, Irie K, Hosoya A. Gli1⁺-PDL cells contribute to alveolar bone homeostasis and regeneration. *J Dent Res* 101(12):1537-1543, 2022.
- 5) Yoshihara A, Nakashima K, Suwama K, Odajima A, Yamaga T, Ogawa H: Interaction between serum vitamin C levels and smoking on the periodontal condition in older adults. *J Periodontal Res* 57: 587-593, 2022.
- 6) Ishiguro-Matsumoto A, Stegaroiu R, Suwama K, Shibata S, Yoshihara A, Ohuchi A: Career outcomes and satisfaction among graduates of a 4-year oral health and welfare baccalaureate program at Niigata University, Japan: A cross-sectional study. *Int J Dent Hygiene* 00:1-12, 2022. <https://doi.org/10.1111/idh.12655>
- 7) Iwasaki M, Yoshihara A, Suwama K, Takashi Zaitzu, Seitaro Suzuki, Hikaru Ihira, Norie Sawada, Jun Aida: A cross-sectional study of the association between periodontitis and physical activity in the Japanese population. *J Periodontal Res* 58: 350-359, 2023.
- 8) Kiswanjaya B, Bachtiar-Iskandar HH, Yoshihara A: Correlations of the Osteoporosis Self-Assessment Tool for Asians (OSTA) and Three Panoramic Indices Using Quantitative Ultrasound (QUS). *Bone Densitometry. Dent J* 11(2): 34, 2023.
- 9) Thwin KM, Tun TZ, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: Clinical and Microbial Evaluation of Dental Caries Status and Associated Factors Among Primary Schoolchildren in Myanmar: A Cross-Sectional Study. *Asia Pac J Public Health* 35(1):42-49,2022.
- 10) Thwin KM, Lin WT, Kaneko N, Nohno K, Ogawa H: Anti-caries and anti-microbial effects of school-based fluoride programs in Myanmar schoolchildren. *Oral Health Prev Dent* 20:165-172, 2022.
- 11) Morozumi T, Nakayama Y, Shirakawa S, Imamura K, Nohno K, Nagano T, Miyazawa H, Hokari T, Takuma R, Sugihara S, Gomi K, Saito A, Ogata Y, Komaki M: Effect of Locally Delivered Minocycline on the Profile of Subgingival Bacterial Genera in Patients with Periodontitis: A Prospective Pilot Study. *Biomolecules* 12 : 719, 2022.
- 12) Mizoguchi N, Nohno K, Yoshihara A, Ito K, Funayama S, Ogawa H : Association of hyper?low-density lipoprotein and hypo-high-density lipoprotein cholesterolemia with low saliva flow rates in Japanese community-dwelling elders. *Int Arch Otorhinolaryngol* 26(3) 0042-1744167, 2022.
- 13) Endo A, Niimi K, Kato Y, Nohno K, Hasebe D, Hayashi T, Saito I, Kobayashi T : Examination of factors affecting condylar bone changes following surgical-orthodontic treatment. *Cranio* 13 : 1-11, 2022.
- 14) Yoshimoto T, Hasegawa Y, Furihata M, Yoshihara A, Shiramizu M, Maria MTS, Hori S, Morikawa M, Marito P, Kaneko N, Nohno K, Nose H, Masuki S, Ono T: Effects of Interval Walking Training on Oral Health Status in Middle-Aged and Older Adults: A Case-Control Study. *Int J Environ Res Public Health* 19: 14465, 2022
- 15) Karawekpanyawong R, Nohno K, Kubota Y, Ogawa H: Oral Health and Nutritional Intake in Community-Dwelling 90-Year-Old Japanese People: A Cross-Sectional Study. *Gerodontology* 40(1):100-111,2023.
- 16) 大塚 紘未, 柴田 佐都子, ステガロユ ロクサーナ, 大内 章嗣: 介護保険施設における栄養・口腔衛生管理に係る介護報酬請求算定状況と歯科専門職等の参画状況との関連. *新潟歯学会誌* 52(1):11-18, 2022.
- 17) 古田彩佳, 柴田佐都子, 池田吉史, ステガロユ ロクサーナ, 小川友里奈, 松本明日香, 大内章嗣: 通所型障害者福祉施設の知的障害者における口腔の健康状態・保健行動および実行機能の質問紙評価. *新潟歯学会誌* 52(2): 19-28, 2022.
- 18) 柴田 佐都子, 由利由依, ステガロユ ロクサーナ, 大内 章嗣: 新潟県の通所型障害者福祉施設における歯科との連携状況ー連携状況および従事者の連携必要性認識との関連因子ー. *日本歯科衛生学会雑誌* 17(2):29-36, 2023.
- 19) 森尾郁子, 關奈央子, 富士谷盛興, 藤井万紀子,

ステガロユ ロクサーナ, 川口陽子: 歯学領域における国際的人材育成について～日本歯科医学会連合会員学会における国際活動の実態と課題～. 日本歯科医学会連合雑誌 1(1):22-26, 2023.

- 20) 興地隆史, 重谷佳見, 吉羽邦彦, 大島勇人: GaAlAs 半導体レーザーの象牙質・歯髄複合体に対する硬組織形成促進作用. 日本レーザー医学会誌 43(2): 113-119, 2022.
- 21) 小田島あゆ子, 葭原明弘, 石上和男: 地域在住高齢者を対象とした口腔機能訓練が与える頸部可動域の改善効果. 口腔衛生会誌 72: 11-17, 2022.
- 22) 木村有子, 柴田由美, 小田島あゆ子, 隅田好美, 福島正義, 大内章嗣: 歯科大学病院に勤務する中堅歯科衛生士の成長過程に関する質的研究 「配置転換」および「役割追加」に対するリフレクシヨンの変遷. 日歯衛会誌 17 (1) : 24-33, 2022.
- 23) 諏訪間加奈, 野上有紀子, 葭原明弘: 小学生における口唇閉鎖力の年齢による変化と関連要因についての研究. 口腔衛生会誌 72: 92-99, 2022.
- 24) 大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光, 結城龍太郎, 永井孝宏, 小林亮太, 小林孝憲, 飯田明彦, 濃野要, 宮田昌幸, 小林正治, 齋藤功, 高木律男, 富原圭: 二段階口蓋形成手術法における幼児期前期の言語管理に関する検討 口蓋化構音と硬口蓋残遺裂の関連性にもとづいて. 日口蓋裂会誌 47(1): 20-29, 2022.
- 25) 濃野要: 公衆衛生におけるフッ化物応用のこれから—集団フッ化物洗口の長期効果と日本における食事摂取基準—. 新潟歯会誌 52(1):1-9, 2022.
- 26) 結城龍太郎, 児玉泰光, Andrea Rei Estacio Salazar, 大湊麗, 永井孝宏, 山田茜, 小林亮太, 市川佳弥, 丹原惇, 加藤純也, 朝日藤寿一, 飯田明彦, 小野和宏, 齋藤功, 高木律男: 片側性唇顎口蓋裂児の二段階口蓋形成手術後の 5-Year-Olds' Index での評価—軟口蓋形成法および硬口蓋閉鎖時期の影響—. 日本口蓋裂学会雑誌 47 (3) : 200-209, 2022.
- 27) 小野和宏, 松下佳代, 齋藤有吾: 専門教育で身につけた問題解決スキルの汎用性の検討—遠い転移に着目して—. 日本教育工学会論文誌 47 (1) : 27-46, 2023.
- 28) 小野和宏, 齋藤有吾, 松下佳代: 問題解決スキルの学習におけるオンライン PBL の有効性—直接評価による対面との比較—. 名古屋高等教育研究 23: 71-90, 2023.

【科研費獲得】

- 1) 吉羽邦彦, 吉羽永子, 枝並直樹, 細矢明宏, 入江一元: 歯髄の創傷治癒・再生過程における Gli1 陽性幹細胞の動態と分化誘導機構の解明. 日本学術振興

会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 21K09914, 2022.

- 2) 吉羽永子, 吉羽邦彦, 前田健康, 前川知樹: マクロファージの表現型に影響する細胞外基質ラミニンの機能解析. 科学研究費助成事業 (科学研究費補助金) 基盤研究 (B) 22H03259, 2022.
- 3) 細矢明宏, 吉羽邦彦, 荒川俊成, 建部廣明, 溝口利英: 株化歯根膜幹細胞の樹立と骨芽細胞分化メカニズムの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 22K10019, 2022.
- 4) 吉羽永子, 吉羽邦彦, 大倉直人, 枝並直樹: ヒト歯髄の創傷治癒過程における M2 マクロファージとシュワン細胞の相互作用の解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 19K10146, 2022.
- 5) 大倉直人, 吉羽永子, 吉羽邦彦, 柿原嘉人, 大島勇人: アスコルビン酸輸送担体を介した象牙芽細胞分化を促進させる歯髄再生メカニズムの解明. 日本学術振興会学術研究助成基金助成金 基盤研究 (C) 19K10147, 2022.
- 6) 米澤大輔, 葭原明弘 (分担) 他: 全部床義歯または両側遊離端義歯新製時の栄養指導が高齢者の栄養状態と咀嚼能力に与える影響, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(C), 20K10290, 2022.
- 7) 葭原明弘 (代表) 他: 歯周組織および口蓋扁桃の病態からみた慢性腎臓病に対する多角的発症メカニズムの解明, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(B), 18H03013, 2022.
- 8) 小坂 健, 葭原明弘 (分担) 他: 成人期における口腔の健康と全身の健康の関係性の解明のための研究, 厚生労働科学研究費補助金 (循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業), 21FA1013, 2022.
- 9) 成田一衛, 葭原明弘 (分担): 腎性老化現象における粘膜免疫の役割, 日本学術振興会科学研究補助金, 基盤研究(B), 19H03674H, 2022.
- 10) 葭原明弘 (代表) 他: 口腔および口蓋扁桃マイクロバイオームが慢性腎臓病に及ぼす包括的メカニズムの解明, 日本学術振興会科学研究費補助金, 基盤研究 (C), 22K10337, 2022.
- 11) 小田島あゆ子: 高齢者における頭頸部の機能維持による平衡機能低下の抑制効果. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 19K19327, 2019-2023.
- 12) 隅田好美, 小田島あゆ子 (分担) 他: 「社会参加」を促進する地域づくりの課題と主観的・客観的意義: 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 19H01588, 2019-2022.
- 13) 松本明日香: 実行機能評価を活用した知的障害者の

歯磨き改善支援の試み.日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 22K17287, 2022.

- 14) 諏訪間加奈: 大規模前向き調査によるアルコール摂取と歯科疾患・口腔健康状態との関連の解明. 日本学術振興会科学研究費助成事業 若手研究, 22K17286, 2023.
- 15) 濃野要: 超高齢期における口腔機能低下を栄養摂取と身体的フレイルから考える. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10287, 2022.
- 16) 小川祐司, 濃野要: 糖尿病患者の脳梗塞リスクに対する抗菌的歯周治療の有用性に関するランダム化比較試験. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10291, 2022.
- 17) 船山さおり, 濃野要: 自発性異常味覚の苦味の正体にせまる. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 20K10264, 2022.
- 18) 金子昇, 濃野要: 口腔細菌叢のメタゲノム解析によるドライマウスの病態解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10338, 2022.
- 19) 伊藤加代子, 濃野要: エクオールは口腔乾燥症, 味覚障害, 舌痛症の新たな治療法となりうるか?. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K10310, 2022.
- 20) 小野和宏, 井上誠, 真柄仁, 伊藤加代子: 生体と食品へのアプローチによる新たな咀嚼嚥下機能の理解. 基盤研究 (C) (一般), 22K10073, 2022-2024.
- 21) 松下佳代, 小野和宏, 斎藤有吾, 深堀聰子, 丹原惇, 石井英真: 分野固有性と汎用性の関係に着目した知識・能力(スキル)の形成と評価. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 18H00975, 2018-2022. (コロナ特例による繰越)
- 22) 松下佳代, 小野和宏, 斎藤有吾, 伊藤通子, 平山朋子, 丹原惇: コンピテンシーの形成・評価の検討ー統合性・分野固有性・エージェンシーに着目してー. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (B), 22H00965, 2022-2025.
- 23) Stegaroiu Roxana, 荒井良明, 黒川孝一, 田中茂雄: 骨梁三次元有限要素モデルの応力からインプラント過重負担と辺縁骨吸収との関連を探索, 日本学術振興会科学研究費補助金研究、基盤研究(C), 20K10031, 2022.
- 24) 柴田佐都子, Stegaroiu Roxana, 池田 吉史, 大内章嗣: 知的障害者の口腔保健行動を支援する包括的アセスメントツールの開発, 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 課題番号 22K10288, 2022.
- 25) 柴田佐都子, Stegaroiu Roxana, 池田 吉史, 大内章嗣: 知的障害者向け口腔保健支援プログラムの開発、

日本学術振興会科学研究費補助金研究、基盤研究 (C), 課題番号 18K09875, 2023.

- 26) 小澤薫, 中村健, 小池由佳: 低所得世帯の子どもに対する子育て支援環境の整備に関する実証的研究. 基盤研究 (C), 21K01976, 2021.
- 27) 中村健, 米澤大輔, 小澤薫: 生活保護利用をためらわない政策モデルの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究 (C), 22k01973, 2022.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) Stegaroiu R: Development of effective methods for dental hygiene improvement in persons with intellectual disabilities. The Congress of the University of Medicine and Pharmacy Carol Davila Bucharest, Hybrid: Bucharest (Romania)&Web, November 12, 2022.
- 2) Stegaroiu R: Evidence-based occlusion in implant prosthodontics. Special online course for residents and teaching staff from the Department of Prosthodontics of the Faculty of Dentistry Carol Davila University of Medicine and Pharmacy, September 14, 2022.
- 3) Stegaroiu R: Digital approach in prosthetic dentistry. Special online course for residents and teaching staff from the Department of Prosthodontics of the Faculty of Dentistry Carol Davila University of Medicine and Pharmacy, March 15, 2023.
- 4) 葭原明弘: 口腔と他臓器との関連 その医学的根拠ー新潟市高齢者コホート研究ー 日本老年歯科医学会第33回学術大会、新潟市、2022年6月12日.
- 5) 濃野要: 日本における集団フッ化物洗口の成人への効果: 弥彦調査から. 第71回日本口腔衛生学会・総会(鹿児島市) 2022年5月14日, 口腔衛会誌 72(増刊): 37, 2022.
- 6) 小野和宏: ディプロマポリシーの到達度をどう評価するのかー新潟大学歯学部を取り組むー. 東北医科薬科大学FD・SD推進委員会 薬学部FD部会・医学部FD部会共催 令和4年度FD講演会, オンライン開催, 2022年5月16日.

【学会発表】

- 1) Sugita N, Komatsu S, Lyu H, Yoshihara A, Kobayashi T, Tabeta K: Uncoupling protein 2 gene polymorphism associated with severe periodontitis in Japanese adults. Europerio10, Copenhagen, 2022年6月15-18日.
- 2) Matsushita K, Ono K, Saito Y: Curriculum and Assessment Linking Courses and a Program: The Theory of PEPA and a Case Study of Niigata University. International Symposium on Higher Education: Learner-Centered Education and Higher Education Quality

Assurance Amid COVID-19, Feb. 23, 2022 (Online).

- 3) 枝並直樹, イブンベラル・ラジサイフラー, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 大倉直人, 吉羽永子, 野杵由一郎: 生体活性はケイ酸カルシウム系セメントに普遍的な特性か? -18 種のケイ酸カルシウム系セメントの生体内評価-. 日本歯科保存学会 2020 年度春季学術大会(第 156 回), 2022 年 6 月 16~29 日, Web 開催. 日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集 156 回: 24 頁, 2022.
- 4) 大倉直人, 吉羽邦彦, 枝並直樹, 竹中彰治, 野杵由一郎: 歯根形成時におけるピロリン酸および無機リン酸の影響. 第 43 回日本歯内療法学会学術大会, 2022 年 7 月 9 日~25 日. Web 開催 (オンデマンド配信). 日本歯内療法学会学術大会プログラム・抄録集 43 回: 67 頁, 2022.
- 5) 高原信太郎, 枝並直樹, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 大倉直人, 吉羽永子, 野杵由一郎. 根尖孔外に漏出したバイオセラミック系シーラーと歯周組織の相互作用. 日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会(第 157 回), 2022 年 11 月 10, 11 日, 岡山市. 日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集 157 回: 125 頁, 2022.
- 6) 枝並直樹, 竹中彰治, 吉羽邦彦, 大倉直人, 吉羽永子, 高原信太郎, 野杵由一郎. ケイ酸カルシウム系貼薬剤と水酸化カルシウム系貼薬剤の Biom mineralization Ability の比較. 日本歯科保存学会 2022 年度秋季学術大会(第 157 回), 2022 年 11 月 10, 11 日, 岡山市. 日本歯科保存学会学術大会プログラムおよび講演抄録集 157 回: 126 頁, 2022.
- 7) 筒井紀子, 諏訪間加奈, 柴田佐都子, 葭原明弘: 歯科診療所通院患者における不安の要因に関する研究 - Modified Dental Anxiety Scale 日本語版 (MDAS-J) を用いた分析 - 令和 4 年度新潟歯学会総会. 新潟市, 2022 年 4 月 16 日.
- 8) 中村夢衣, 諏訪間加奈, 柴田佐都子, 岩崎正則, 葭原明弘: 脳卒中と現在歯数および身体活動の関連: 魚沼コホート研究, 第 71 回, 日本口腔衛生学会・総会, Web 開催, 2022 年 5 月 13 日~5 月 27 日, 口腔衛生学会誌 72 (Suppl): 80, 2022.
- 9) 三鍋尚子, 葭原明弘, 土屋信人, 桑原恵美子, 篠田由華, 宮島沙友里, 横山幸子: 燕市における在宅高齢者歯科保健事業について~笑顔の宅配プロジェクト~, 甲信越北陸口腔保健研究会, 第 33 回総会・学術大会, 松本歯科大学, 2022 年 11 月 19 日.
- 10) Han L, Sugita N, Yoshihara A, Kobayashi T, Yoshie H, Tabeta K: UCP2 polymorphisms, teeth number and daily step count associated with mortality in Sado City, 日本歯周病学会春季大会, 2023.
- 11) 田村浩平, 濃野要, 小川祐司: 地域在住後期高齢者の臼歯部咬合支持喪失と 10 年間の生命予後. 第 71 回日本口腔衛生学会・総会 (鹿児島市) 2022 年 5 月 14 日, 口腔衛会誌 72(増刊): 95, 2022.
- 12) 田中梓, 皆川久美子, 濃野要, 小川祐司: 2 型糖尿病患者における脳梗塞発症リスクと歯周炎との関連. 第 71 回日本口腔衛生学会・総会 (鹿児島市) 2022 年 5 月 14 日, 口腔衛会誌 72(増刊): 99, 2022.
- 13) 伊藤加代子, 泉直子, 濃野要, 船山さおり, 金子昇, 井上誠: 薬剤性口腔乾燥症患者の特性および治療による自覚症状改善に関する検討. 日本老年歯科医学会第 33 回学術大会 (新潟市) 2022 年 6 月 11 日, 老年歯科医学 37(2): 175-176, 2022.
- 14) 田村浩平, 濃野要, 小川祐司: 地域在住 80 歳健常高齢者における咬合支持の 10 年間の生命予後への影響. 令和 4 年度新潟歯学会第二回例会(新潟市) 2022 年 11 月 12 日 新潟歯会誌 52(2): 101-102, 2022.
- 15) 高昇将, 米澤大輔, 渡辺真光, 濃野要, 小川祐司: 地域在住の部分床義歯装着高齢者の食習慣に関する質的検討. 令和 4 年度新潟歯学会第二回例会(新潟市) 2022 年 11 月 12 日 新潟歯会誌 52(2): 102, 2022.
- 16) 大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光, 濃野要, 飯田明彦, 高木律男, 富原圭: 二段階口蓋形成手術法における軟口蓋形成術後の後方裂幅と幼児期前期の言語機能関連. 第 46 回日本口蓋裂学会総会・学術集会, 鹿児島市, 2022 年 5 月 26-27 日, 日本口蓋裂学会雑誌 47 (2): 153 頁, 2022.
- 17) 小野和宏, 斎藤有吾, 松下佳代: 問題解決スキルの学習におけるオンライン PBL の有効性 - 直接評価による対面 PBL との比較 -. 大学教育学会第 44 回大会, 岡山市, 2022 年 6 月 4-5 日.
- 18) Stegaroiu Roxana, 黒川孝一, 荒井良明, 山崎裕太, 田中茂雄. 口腔内スキャナーを活用したインプラント咬合負荷解析用 3 次元有限要素モデルの構築. 日本補綴歯科学会 第 131 回学術大会, 大阪市, 2022 年 7 月 15-17 日, 日本補綴歯科学会雑誌 14 (131 回学術大会特別号): 252 頁, 2022.
- 19) 小川友里奈, 柴田佐都子, 松本明日香, 池田吉史, ステガロユ ロクサーナ, 大内章嗣. 某障害者福祉施設通所知的障害者の実行機能を考慮した歯磨き指導の効果. 日本歯科衛生学会第 17 回学術大会, Web 開催, 2022 年 9 月 18 日~10 月 18 日, 日本歯科衛生学会雑誌 17(1): 81 頁, 2022.
- 20) 中村健: ケースワーカーを支える組織運営. 全国公的扶助研究会・公的扶助研究オンラインセミナー, オンライン, 2022 年 10 月 2 日.

- 21) 小澤薫, 中村健, 小池由佳: 福祉事務所における自立支援プログラムの到達点と課題. 貧困研究会第15回研究大会, 佐久市, 2022年10月30日.
- 22) 中村健: 7月26日付通知の解説と問題提起. 全国公的扶助研究会・公的扶助研究オンラインセミナー, オンライン, 2022年12月4日.

【研究会発表】

- 1) 松下佳代, 小野和宏, 斎藤有吾: PBL カリキュラムと学生の学び. 公開勉強会 学修成果の可視化の取り組みを通して、大学はどう変わるのか 欧州ローニャ・プロセスの実質化を目指す Tuning の取り組みから学ぶ, 九州大学, 2023年1月28日.

【受賞】

- 1) 中村 夢衣, 諏訪間 加奈, 柴田 佐都子, 岩崎 正則, 葭原 明弘: 脳卒中と現在歯数および身体活動量の関連 魚沼コホート研究. 第71回日本口腔衛生学会発表優秀賞, 2022年6月9日.
- 2) 特定非営利活動法人は一もに一プロジェクト(代表理事: 葭原明弘): 公衆衛生活動功労者表彰, 2022.
- 3) 大湊麗, 小野和宏, 児玉泰光, 濃野要, 飯田明彦, 高木律男, 富原圭: 二段階口蓋形成手術法における軟口蓋形成術後の後方裂幅と幼児期前期の言語機能関連. 第46回日本口蓋裂学会学術集会 ポスター賞, 2022.

【その他】

- 1) 小野和宏, 新美奏恵, 西山秀昌, 辻村恭憲, 田中裕, 山崎学, 斎藤直朗, 上野山敦士: 第3章 学習方略・評価 方略・評価の事例⑦. モデル・コア・カリキュラム改訂に関する連絡調整委員会(編集): 歯学教育モデル・コア・カリキュラム 令和4年度改訂版, 92-93 頁, 2023. (https://www.mext.go.jp/content/20230208-mxt_igaku-000026781_00001.pdf) (2023年4月11日閲覧).
- 2) 葭原明弘: は〜と健康相談室、燕三条エフエム放送 2022年4月6日、5月4日,
- 3) 葭原明弘: 「知ってる? 『歯科衛生士』の仕事. 長生きの秘訣は口の中の健康!」、にいがた通信、2022年6月3日.
- 4) 葭原明弘: 住民参加の歯科保健推進、新潟日報、2022年6月8日.
- 5) 葭原明弘: 公衆衛生活動功労者表彰受賞、新潟日報、2022年6月17日.
- 6) 葭原明弘: 児童虐待、テレビ新潟 新潟一番、2022年11月30日.

- 7) Stegaroiu R: Dental Hygiene Education at the Department of Oral Health and Welfare: Training Dental Hygienists as Valuable Work Partners of Dentists, 新潟大学歯学部(マヒドン大学生向け講義), 2023年3月16日.
- 8) 研修会講師: 中村健, 新潟で一番よくわかるケースワーカー講座, 新潟県主催, オンライン, 2022.
- 9) 研修会講師: 中村健, 新潟で一番よくわかる査察指導の話, 新潟県主催, オンライン, 2022
- 10) 研修会ファシリテーター: 中村健, ソーシャルワーカーデイにいがた 2022, 公益社団法人新潟県社会福祉士会主催, オンライン, 2022
- 11) 研修会講師: 中村健, よくわかるケースワーク講座, 千葉県社会福祉協議会主催, オンライン, 2022.
- 12) 研修会講師: 中村健, ヤングケアラーについて, 新潟市五十嵐地区民生委員児童委員協議会主催, 新潟, 2022.
- 13) 研修会講師: 中村健, 生きづらさを抱えた方への支援におけるネットワーク連携の重要性, 新潟市西蒲区社会福祉協議会主催, 新潟, 2022
- 14) 研修会講師: 中村健, アディクトのための生活保護制度, NPO 法人三重ダルク主催, オンライン, 2022.
- 15) 研修会講師: 中村健, 生活保護学習会, 新潟市地域包括支援センターふなえ主催, 新潟, 2022
- 16) 研修会講師: 中村健, これからのひきこもり支援, 柏崎市主催, 新潟, 2022.
- 17) 研修会ファシリテーター: 中村健, ひきこもる心を理解する, 新発田市社会福祉協議会主催, 新潟, 2022.
- 18) 研修会ファシリテーター: 中村健, 続 新潟で一番よくわかる生活保護の話, 新潟市地域包括支援センター山潟主催, 新潟, 2022.
- 19) 研修会ファシリテーター: 中村健, 医・衣・食・美・住に着目したケアプランを考える, 一般社団法人新潟県介護支援専門員協会主催, 新潟(ハイブリット方式), 2022.
- 20) 研修会ファシリテーター: 中村健, 令和4年度生活保護就労支援員全国研修会, 厚生労働省主催, オンライン, 2022.
- 21) 研修会講師: 中村健, 新潟県内の状況報告, 給付型奨学金シンポジウム実行委員会主催, 新潟, 2022.
- 22) 研修会ファシリテーター: 中村健, Cafe4610 に何が求められているか, 若者応援おせっかいサポーター主催, オンライン, 2023.
- 23) 研修会パネラー: 中村健, 地域共生社会における住まいの確保について, 新潟県主催, 新潟, 2023.
- 24) 研修会講師: 中村健, 誰もが安心して暮らせる地域社会を共に考える, 新発田市主催, 新潟, 2023.
- 25) 研修会講師: 中村健, 子どもの貧困と奨学金問題, 新

潟地区労働者福祉協議会主催,新潟,2023.

- 26) 研修会ファシリテーター:中村健, 地域の高齢者を支えるためにできること,新潟市地域包括支援センター小針主催,新潟,2023.
- 27) 研修会ファシリテーター:中村健,みんなで地域でできること,関川村主催,新潟,2023.
- 28) 研修会講師:中村健, 伴走型支援, 新潟市地域包括支援センター山潟主催, 新潟, 2023.

歯科臨床教育学/歯科総合診療科

【論文】

- 1) Miyamoto A, Minagawa K, Nohno K, Kaneko N, Ichikawa Y, Hoshino T, Ito H, Yoshihara A: Prevalence and Cause of Enamel Hypoplasia in Primary Teeth among 1-year-old Japanese Children. *Open Dent J.* 17 : e187421062303021, 2023.
- 2) Hasegawa M, Piriyastrasath K, Otake M, Kamimura R, Saito I, Fujii N, Yamamura K, Okamoto K: Effect of daily treadmill running exercise on masseter muscle nociception associated with social defeat stress in mice. *Eur J Oral Sci* 130(4) : DOI: 10.1111/eos.12882, 2022.
- 3) 宮本 茜, 葭原 明弘: 根面う蝕管理のためのフッ化物応用について フッ化ジアンミン銀, フッ化物パニッシュを中心に. *口腔衛生学会雑誌* 72(3), 152-157, 2022.
- 4) 佐藤拓実, 都野さやか, 中村太, 野村みずき, 長谷川真奈, 藤井規孝: 下顎全部床義歯圧接と下顎第1 大臼歯全部金属冠装着動作の力のコントロールについての検討. *日本総合歯科学会雑誌* 14(1) : 19-29, 2022.
- 5) 伊藤晴江, 長谷川真奈, 中村太, 佐藤拓実, 都野さやか, 野村みずき, 藤井規孝: 卒後研修における同僚評価が研修歯科医の意識に与える影響. *日本歯科医学教育学会雑誌* 38(1) : 52-62, 2022.

【商業誌】

- 1) 長谷川真奈, 岡本圭一郎, Piriyastrasath Kajita, 藤井規孝, 山村健介: エクササイズは顎顔面部の慢性痛を軽減する? 歯界展望, 140(2): 217-220, 2022.

【研究費獲得】

- 1) 藤井規孝: “視野の共有＝プロの目の借用” が歯科治療技術向上に与える影響の解明. 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(C), 22K02281, 2022.
- 2) 長谷川真奈: 運動療法が顎顔面部のストレス誘発痛を改善する脳神経メカニズムの解明. 日本学術振興

会科学研究費補助金 若手研究, 21K17133, 2021.

- 3) 佐藤拓実: 歯科治療における invisible technical tips の科学的分析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 21K13639, 2021.
- 4) 中村太: モーションキャプチャ・システムを用いた歯科診療動作の定量的解析. 日本学術振興会科学研究費補助金 若手研究, 20K18802, 2020.

【学会発表】

- 1) Kajita Piriyastrasath, Mana Hasegawa, Noritaka Fujii, Kensuke Yamamura, Keiichiro Okamoto: Effects of the contagion of social defeat stress on masseter muscle nociception in male mice. 第100回生理学会大会, 京都, 2022年3月14日.
- 2) 長谷川真奈, 伊藤晴江, 佐藤拓実, 中村太, 都野さやか, 野村みずき, 藤井規孝: 本学歯学部3年次学生に対する早期臨床実習2の教育効果について-学生アンケート調査. 第41回日本歯科医学教育学会, web開催, 2022年7月23日～8月20日.
- 3) 佐藤拓実, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 中村太, 都野さやか, 野村みずき, 藤井規孝: 早期臨床実習Iのオンライン対応についてのアンケート調査. 第41回日本歯科医学教育学会, web開催, 2022年7月23日～8月20日.
- 4) 中村太, 伊藤晴江, 長谷川真奈, 佐藤拓実, 都野さやか, 野村みずき, 藤井規孝: 本院研修歯科医に対する臨床研修における教育効果についてのアンケート調査報告. 第41回日本歯科医学教育学会, web開催, 2022年7月23日～8月20日.
- 5) 野村みずき, 佐藤拓実, 中村太, 都野さやか, 長澤伶, 長谷川真奈, 藤井規孝: 下顎全部床義歯の適合診査時に加える力のコントロールに関する教育ツールの検討. 新潟歯学会, 新潟, 2022年11月12日.
- 6) 長澤伶, 佐藤拓実, 中村太, 長谷川真奈, 都野さやか, 野村みずき, 宮本茜, 田島稜子, 藤井規孝: ミラーテクニックによる切削技能評価の検討. 第15回日本総合歯科学会学術大会, 小倉, 2022年11月5日.
- 7) 相澤知里, 中村太, 長谷川真奈, 佐藤拓実, 都野さやか, 藤井規孝: 全身疾患を考慮したヘミセクションの術式とその後の補綴方法について検討した症例. 第15回日本総合歯科学会学術大会, 小倉, 2022年11月5日.
- 8) 清野貴仁, 佐藤拓実, 長谷川真奈, 中村太, 都野さやか, 藤井規孝: 前歯部ブリッジ製作を通じて, 患者の下顎運動を咬合器上に再現することの重要性を実感した一症例. 第15回日本総合歯科学会学術大会, 小倉, 2022年11月5日.

- 9) 嶋田ひかり, 長谷川真奈, 佐藤拓実, 中村太, 都野さやか, 藤井規孝: 義歯使用経験のないすれ違い咬合患者に対し暫間義歯で口腔機能の回復を図った症例. 第 15 回日本総合歯科学会学術大会, 小倉, 2022 年 11 月 5 日.
- 10) 岩本佑耶, 佐藤拓実, 長谷川真奈, 中村太, 都野さやか, 藤井規孝: 上顎右側大臼歯に対し歯根の分割抜去を行い, 義歯の支持および把持に利用した症例. 第 15 回日本総合歯科学会学術大会, 小倉, 2022 年 11 月 5 日.

【受 賞】

- 1) 佐藤拓実: 下顎全部床義歯圧接と下顎第 1 大臼歯全部金属冠装着動作の力のコントロールについての検討. 一般社団法人日本総合歯科学会 学会論文賞, 2022 年 11 月 5 日.
- 2) 長澤伶, 佐藤拓実, 中村太, 長谷川真奈, 都野さやか, 野村みずき, 宮本茜, 田島稜子, 藤井規孝: ミラーテクニックによる切削技能評価の検討. 第 15 回日本総合歯科学会学術大会 優秀口演賞, 2022 年 11 月 5 日.
- 3) 嶋田ひかり, 長谷川真奈, 佐藤拓実, 中村太, 都野さやか, 藤井規孝: 義歯使用経験のないすれ違い咬合患者に対し暫間義歯で口腔機能の回復を図った症例. 第 15 回日本総合歯科学会学術大会 若手ポスター発表最優秀賞, 2022 年 11 月 5 日.
- 4) 岩本佑耶, 佐藤拓実, 長谷川真奈, 中村太, 都野さやか, 藤井規孝: 上顎右側大臼歯に対し歯根の分割抜去を行い, 義歯の支持および把持に利用した症例. 第 15 回日本総合歯科学会学術大会 若手ポスター発表優秀賞, 2022 年 11 月 5 日.

顎口腔インプラント治療部

【論 文】

- 1) Makiko Takashima, Yoshiaki Arai, Nanaka Matsuzaki, Yuta Yamazaki, Hideyoshi Nishiyama, Kaname Nohno. Masseter muscle cross-sectional area and late implant failure: a case-control study. Clin Implant Dent Relat Res. 2023; 25(2): 313- 320. doi:10.1111/cid.13189
- 2) Endo S, Niimi K, Kato Y, Nohno K, Hasebe D, Hayashi T, Saito I, Kobayashi T: Examination of factors affecting condylar bone changes following surgical-orthodontic treatment. Cranio, 13;1-11, 2022.
- 3) 山崎裕太. 下顎第一大臼歯部遊離端欠損に対しインプラント補綴治療を行った 1 例. 日本口腔インプラント学会誌, 2022; 35(4) E227.

- 4) 上野山敦士, 児玉泰光, 大貫尚志, 新國 農, 西山秀昌, 高木律男: 顎関節強直症を呈した SAPHO 症候群の 1 例. 日口外誌 68(9): 370-377, 2022.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 荒井良明. 補綴的視点からアプライアンス療法を深掘りする. シンポジウム「アプライアンス療法を掘り下げる」第 35 回日本顎関節学会総会・学術大会, Web 配信, 2022 年 7 月 2 日~7 月 3 日. 日本顎関節学会雑誌 33 巻 Suppl. Page68, 札幌市.
- 2) 高嶋真樹子. 咬合力はインプラントの長期予後に関連する. シンポジウム「インプラント治療の長期的成功のために一基礎と応用」日本口腔インプラント学会関東・甲信越支部第 12 回学術大会. 2022 年 8 月 7 日, 抄録集 Page11, WEB 開催
- 3) 荒井良明. 本当はやさしい顎関節症の治療一歯科医に易しく患者にも優しい一. 令和 4 年度新潟県歯科医学大会学術大会, 2022 年 10 月 30 日, 抄録集 Page10, 新潟市

【学会発表】

- 1) 池田 順行, 上野山敦士, 高嶋真樹子, 山崎 裕太, 松崎奈々香, 高田 翔, 荒井 良明, 西山 秀昌, 高木 律男, 富原 圭. 外耳道内にも腫脹を伴った非感染性顎関節炎の 1 例 第 35 回日本顎関節学会総会・学術大会, Web 配信, 2022 年 7 月 2 日~日. 日本顎関節学会雑誌 33 巻 Suppl. Page148, 札幌市.
- 2) 齋藤 大輔1, 片桐 渉1, 2, 須田 大亮1, 西山 秀昌3, 林 孝文3, 小林 正治 多発性筋炎が疑われた咀嚼筋・膜過形成症の 1 例, 第 35 回日本顎関節学会総会・学術大会, Web 配信, 2022 年 7 月 2 日~7 月 3 日. 日本顎関節学会雑誌 33 巻 Suppl. Page144, 札幌市.
- 3) Roxana Stegaroiu, 黒川孝一, 荒井良明, 山崎裕太, 田中茂雄. 口腔内スキャナーを活用したインプラント咬合負荷解析用 3 次元有限要素モデルの構築, 日本補綴歯科学会第 131 回記念学術大会, ハイブリッド開催, 2022 年 7 月 15 日 (金)~17 日 (日).
- 4) 石丸智也, 山口泰彦, 齋藤大嗣, 服部佳功, 小野高裕, 荒井良明, 長谷川陽子, 志賀博, 玉置勝司, 田中順子, 津賀一弘, 安部倉仁, 三上紗季, 後藤田章人, 佐藤華織. 補綴学会東北・北海道支部学術大会. 10 月 16 日, WEB 開催
- 5) 林孝文, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 新國農, 勝良剛詞, 西山秀昌: CT の顎関節円板転位診断精度の再評価. 第 128 回新潟臨床放射線学

会, web 開催, 2022 年 12 月 10 日.

- 6) 祁君容、児玉泰光、池田順行、永井孝宏、小林亮太、富原圭：下顎頭過形成による顎変形と咬合不全に対し下顎頭切除術と sliding vertical-ramus osteotomy を行った 1 例. 第 32 回日本顎変形症学会総会・学術大会. 新潟市. 2022 年 6 月 9-10 日
- 7) 山田 茜、飯田明彦、小林孝憲、成松花弥：関節突起を含む小児下顎骨多発骨折の 2 例, 第 60 回特定非営利活動法人日本口腔科学会北日本地方部会・第 48 回公益社団法人日本口腔外科学会北日本支部学術集会, 札幌市, 2022 年 7 月 9-10 日.
- 8) 笠原 映、永田昌毅、小林太一、山田 葵、小川 信、勝見祐二、永井孝宏、富原 圭：培養自家骨膜細胞移植を用いた上顎洞挙上術における歯槽骨再生の評価法としての三次元 CT 画像解析システムの有用性. 第 76 回 NPO 法人日本口腔科学会学術集会, ハイブリッド(福岡), 2022 年 4 月 22-23 日
- 9) 山田 葵、永田昌毅、永井孝宏、都野隆博、中田 光、富原 圭：培養自家骨膜細胞移植を用いた顎口腔領域における再生医療, 関東形成外科学会・第 112 回新潟地方会, 新潟市, 2022 年 7 月 22 日
- 10) 永井孝宏、笠原 映、山田 葵、永田昌毅、富原圭：当科における培養自家骨膜細胞移植を用いた上顎洞定挙上術, 第 26 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, ハイブリッド(東京), 2022 年 11 月 26-27 日. 第 26 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会プログラム・抄録集 241 頁, 2022.
- 11) 山本悠、長澤麻沙子、張桐桐、魚島勝美: アバットメント締め付けトルク値が動的荷重付与後のインプラント周囲骨組織に与える影響. 令和 4 年度新潟歯学会第 2 回例会, 新潟, 2022 年 11 月 12 日, 同学術大会プログラム・抄録集:16 頁, 2022.
- 12) 勝見祐二、星名秀行、鶴巻 浩、富原 圭：口蓋正中粘膜を用いた顎堤形成術の臨床的検討. 第 26 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, ハイブリッド(東京), 2022 年 11 月 26-27 日.
- 13) 鶴巻 浩、児玉泰光、勝見祐二：後期高齢者におけるインプラント埋入手術の実態調査. 第 26 回日本顎顔面インプラント学会総会・学術大会, ハイブリッド(東京), 2022 年 11 月 26-27 日.

【商業誌】

- 1) 林 孝文: 歯科医院のための実践! 超音波診断 歯科臨床で超音波診断装置を有効活用するために 第 5 回 顎関節・咀嚼筋の超音波診断. 補綴臨床 5 月号. 55(3):317-341, 2022 年 5 月 15 日.

【研究費獲得】

- 1) 荒井良明: 日本学術振興会科学研究費補助金研究, 基盤研究(C), 2022-2024 年度, 計千円. 課題番号
- 2) 荒井良明: 顎関節治療に関する研究助成. サンメディカル (株) 寄付金 2022 年 5 月

【受賞】

- 1) 令和 4 年度新潟大学優秀論文表彰: Yoshiaki Arai, Mutsumi Inanobe-Takatsuka, Makiko Takashima, Shin Ogawa, Atsushi Kawamura, Kaname Nohno, Katsumi Uoshima, Reducing bacterial counts around the abutment following professional mechanical plaque removal at the implant bridge: A randomized crossover comparison of removing or not removing the superstructure, Journal of Prosthodontic Research, https://doi.org/10.2186/jpr.JPOR_2019_431

医療連携口腔管理治療部

【論文】

- 1) Suwabe T, Fuse K, Katsura K, Soga M, Katagiri T, Shibasaki Y, Narita M, Sone H, Masuko M: Intensive oral care can reduce bloodstream infection with coagulase-negative staphylococci after neutrophil engraftment in allogeneic hematopoietic stem-cell transplantation. Supportive Care in Cancer. 30:475-485, 2022
- 2) Kobayashi T, Hayashi T, Takamura M, Soga M, Nikkuni Y, Katsura K: A phantom study regarding the formation mechanism of mucosal epithelial echo on intraoral ultrasonography. Oral Sci Int. 19(3):147-153, 2022.
- 3) Kishimoto N, Kanemaru H, Nakajima I, Seo K: Tele-monitoring during dental treatment for homebound patients using a smartphone and a small vital sign measuring device. J Dent Sci. Apr 17(2):1071-1072, 2022
- 4) Toru Yamamoto, Tatsuru Tsurumaki, Hiroko Kanemaru, Kenji Seo. Tracheal bronchus detected during general anesthesia: A case report. Under review in Anesthesia Progress, 2022.
- 5) Katsura K, Tanabe S, Nakano H, Sakai M, Ohta A, Kaidu M, Soga M, Kobayashi T, Takamura M, Hayashi T: The relationship between the contouring time of the metal artifacts area and metal artifacts in head and neck radiotherapy. Tomography. 9(1):98-104, 2023.
- 6) 田中裕, 弦巻立, 倉田行伸, 金丸博子, 佐藤由美子, 岸本直隆, 瀬尾憲司: 新潟大学医歯学総合病院における最近13年間の院内歯科救急体制の分析, 新潟歯

学会雑誌, 52(1);19-27, 2022.

- 7) 今井有蔵, 岸本直隆, 倉田行伸, 田中裕, 弦巻立, 金丸博子, 山本徹, 瀬尾憲司: 自動カフ圧コントローラーSmartCuff®によりカフ圧損傷を早期に発見しえた1症例, 日本歯科麻酔学会雑誌, 50(3); 122-124, 2022

【研究費獲得】

- 1) 山下萌: 鎮痛薬としてのプレガバリンによる歯肉増殖症誘発の可能性の検討. 日本学術振興会科学研究費補助金 研究活動スタート支援, 22K21010, 2022
- 2) 金丸博子: 末梢組織損傷部位のスフィンゴシン1リン酸は神経障害性疼痛の発生に関与するか. 科学研究費 若手研究, 課題番号 21K17109, 2021-2023
- 3) 勝良剛詞, 曾我麻里恵: 放射線治療後の歯槽骨密度変化と線量との関係一硬組織定量解析による放射線顎骨壊死のリスク予測の創出を目指して一. 一般社団法人日本歯科医学会連合 令和4年度研究課題, 課題番号 JDSF-FPC1-2022-01.

【シンポジウム】

- 1) 黒川 亮: 癌化学療法患者の口腔粘膜炎予防対策-病院・アカデミア連携で取り組む口腔支持療法-, 第15回日本緩和医療薬学会年会 シンポジウム, 口腔粘膜炎対策における現状-免疫チェックポイント阻害薬を中心に-Web 2022年5月13日

【学会発表】

- 1) Nishiyama H, Takamura M, Soga M, Kobayashi T, Nikkuni Y, Ike M, Katsura K, Saez JE, Hayashi T: Transparency and background effect on robustness in deep learning for object detection in X-ray images. The 13th Asian Congress of Oral and Maxillo-Facial Radiology, Gifu, Japan (On-demand), June 3-20, 2022.
- 2) Kurokawa A, Niimi K, Soga M, Sakuma H, Tomihara K, Sato Y, Tanaka K, Ishiyama M, Ueki M, Kobayashi T: Usages of immune checkpoint inhibitors and the onset of oral irAE at the Niigata University Medical and Dental Hospital. The 2nd Annual Meeting of the International Society of Oral Care, 23-24 April 2022, Osaka.
- 3) 黒川 亮, 新美奏恵, 曾我麻里恵, 佐久間英伸, 富原圭, 佐藤由美子, 田中恵子, 石山茉祐佳, 植木麻有子, 小林正治: 新潟大学医歯学総合病院における免疫チェックポイント阻害薬の使用と免疫関連有害事象の口腔領域への発症状況について. 第19回日本口腔ケア学会総会・学術大会, ハイブリッド(大阪), 2022年4月23-24日.
- 4) 曾我麻里恵, 新美奏恵, 黒川亮, 田中恵子, 石山茉

佑佳, 小林正治: 周術期口腔機能管理に伴う口腔衛生状態の変化と術後合併症の発生状況. 第31回日本有病者歯科医療学会学術大会, 沖縄・web開催(ハイブリッド), June 3-20, 2022.

- 5) 勝良剛詞, 山崎恵介, 吉田謙介, 曾我麻里恵, 田中雄介, 植木雄志, 正道隆介, 高橋剛史, 小林太一, 高村真貴, 林 孝文: 頭頸部化学放射線治療におけるエピシロ口腔用液の予防的使用の有効性に関する前向き観察研究. 第46回日本頭頸部癌学会, 奈良(ハイブリッド), 2022年6月17日-18日.
- 6) 氏田倫章, 岸本直隆, 田中裕, 弦巻立, 倉田行伸, 金丸博子, 佐藤由美子, 山本徹, 小山祐平, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 術中・術後に口腔周囲に浮腫を生じたCostello症候群患者の麻酔経験, 第38回関東臨床歯科麻酔懇話会・学術集会, 2022年7月30日, 横浜市, 抄録集, 18, 2022.
- 7) 西山秀昌, 高村真貴, 曾我麻里恵, 小林太一, 新國農池真樹子, 勝良剛詞, Saez Jorge, 林孝文: CT-DICOM データ利用時の各種ソフトウェアでのピットフォールと対処法について. NPO 法人日本歯科放射線学会第3回秋季学術大会, Web開催, 2022年10月7-9日.
- 8) 金丸博子, 田中裕, 倉田行伸, 弦巻立, 瀬尾憲司: 三叉神経痛に対して漢方治療を行なった症例報告の文献的検討. 第50回日本歯科麻酔学会総会・学術集会, 2022年10月28-29日, 東京都, 日本歯科麻酔学会雑誌, 第50巻抄録集 200, 2022.
- 9) 倉田行伸, 岸本直隆, 田中裕, 弦巻立, 金丸博子, 山本徹, 瀬尾憲司: 当科の卒前臨床実習のビデオ・シミュレーション実習における学生への効果. 第50回日本歯科麻酔学会, 2022年10月28-29日, 東京都, 日本歯科麻酔学会雑誌, 第50巻抄録号, 198, 2022.
- 10) 田中裕, 弦巻立, 倉田行伸, 金丸博子, 瀬尾憲司: 三叉神経におけるSEP測定のための基礎的研究, 第50回日本歯科麻酔学会総会学術集会, 2022年10月27-29日, 東京都, 第50巻抄録集 131, 2022.
- 11) 佐藤由美子, 岸本直隆, 田中裕, 弦巻立, 倉田行伸, 金丸博子, 山本徹, 瀬尾憲司: 当院中央手術室での小児患者の抜歯における気道管理方法についての統計学的検討, 第50回日本歯科麻酔学会総会学術集会, 2022年10月27-29日, 東京都, 日本歯科麻酔学会雑誌, 第50巻抄録号, 194, 2022
- 12) 齋藤夕子, 黒川 亮, 大石章寛, 富原 圭: 口腔内多発血腫を契機に Helicobacter pylori 菌感染による急性ITPと診断された1例, 第67回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会, 千葉市, 2022年11

月 4-6 日．第 67 回公益社団法人日本口腔外科学会総会・学術大会抄録集 59 頁, 2022.

- 13) 今井有蔵, 倉田行伸, 岸本直隆, 田中裕, 弦巻立, 金丸博子, 佐藤由美子, 山本徹, 小山祐平, 氏田倫章, 沢田詠見, 瀬尾憲司: 麻酔善投薬の麻酔導入中の嘔吐により換気困難となった小児全身麻酔の 1 例, 第 39 回日本障害者歯科学会総会学術講演会, 2022 年 11 月 4-6 日, 倉敷市, 抄録集, 38.
- 14) 林孝文, 高村真貴, 小林太一, 曾我麻里恵, 池真樹子, 新國農, 勝良剛詞, 西山秀昌: CT の顎関節円板転位診断精度の再評価. 第 128 回新潟臨床放射線学会, web 開催, 2022 年 12 月 10 日.
- 15) 小林太一, 高村真貴, 曾我麻里恵, 新國農, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林孝文: Deep learning を用いた頸部領域リンパ節転移の超音波画像診断精度に対する検討. 第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術大会, web 開催, 2023 年 1 月 26 日-2 月 28 日.
- 16) 藤原優輝, 清海杏奈, 吉田謙介, 黒川亮, 山崎京祐, 星野直人, 齋藤千愛, 曾我麻理恵, 新美奏恵, 鈴木直人, 外山聡, 杉浦宗敏: がん患者の口腔粘膜炎と唾液中炎症性メディエーター及び口腔内水分量の関連性に関する検討, 日本薬学会第 143 年会, 北海道, 2023 年 3 月 27 日
- 17) 黒川 亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下 萌, 新美奏恵, 佐藤由美子, 田中恵子, 石山茉佑佳, 勝良剛詞, 富原 圭, 佐久間英伸, 小林正治. 新潟大学医歯学総合病院における経カテーテル的大動脈弁置換術施行患者に対する周術期口腔管理の状況について. 第 32 回有病者歯科医療学会学術大会, 2023 年 3 月 18-19 日, 長野県, プログラム 25 頁, 2023.

【研究会発表】

- 1) 西山秀昌, 高村真貴, 曾我麻里恵, 小林太一, 新國農, 池真樹子, 勝良剛詞, Jorge Saez, 林孝文: 物体検出 (SSD) でのデンタル撮影部位の同定における透過度、バックグラウンドおよび学習方法の影響について. 第 4 回歯科人工知能(AI)研究会, Web 開催, 2022 年 2 月 27 日.
- 2) 金丸博子, 田中裕, 倉田行伸, 瀬尾憲司: 漢方治療が行われた三叉神経痛患者に関する症例報告のシステマティックレビュー, 第 34 回日本疼痛漢方研究会学術集会, 2022 年 7 月 23 日, 東京, 2022.

【受賞】

- 1) 小林太一, 高村真貴, 曾我麻里恵, 新國農, 池真樹子, 勝良剛詞, 西山秀昌, 林孝文: Deep learning を用いた頸部領域リンパ節転移の超音波画像診断精度に対する検討. 第 41 回日本口腔腫瘍学会総会・学術

大会, 優秀ポスター賞, 2023 年 1 月 26 日-2 月 28 日.

- 2) 黒川 亮, 金丸博子, 曾我麻里恵, 山下 萌, 新美奏恵, 佐藤由美子, 田中恵子, 石山茉佑佳, 勝良剛詞, 富原 圭, 佐久間英伸, 小林正治. 新潟大学医歯学総合病院における経カテーテル的大動脈弁置換術施行患者に対する周術期口腔管理の状況について. 第 32 回有病者歯科医療学会学術大会, 一般演題 優秀発表賞, 2023 年 3 月 18-19 日.

【社会貢献、教育活動、など】

- 1) 瀬尾憲司, 田中裕, 弦巻立, 金丸博子, 山本徹, 小山祐平, 氏田倫章, 沢田詠見: 新潟県歯科医師会主催救急講習会, 2022年9月11日, 新潟市.
- 2) 瀬尾憲司, 田中裕, 弦巻立, 金丸博子, 山本徹, 小山祐平, 氏田倫章: 徳真会主催救急蘇生講習会, 2022 年 10 月 22 日, 新潟市
- 3) 瀬尾憲司, 金丸博子: 災害歯科医療支援研修～災害歯科医療について、新潟県での連携を考える～ セミナー, 2023 年 3 月 27 日, 新潟市